

亘理町高齢者保健福祉計画  
および介護保険事業計画策定に向けた  
アンケート調査  
—結果報告書—

令和5年4月

亘理町



# 目次

1 調査目的 .....	1
2 調査の実施状況.....	1
3 報告書の見方.....	2
4 調査結果の概要と考察.....	3
5 日常生活圏域ニーズ調査の分析 .....	12
6 在宅介護実態調査の分析 .....	45
7 介護人材実態調査の分析 .....	64

# 1 調査目的

---

本調査は令和5年度から始まる「第9期亶理町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定するにあたり、高齢者の方や介護者の方の実態と高齢者福祉サービス等に対するご意見やニーズ等を把握することを目的として実施したものです。

## 2 調査の実施状況

---

### ①調査期間

(1)日常生活圏域ニーズ調査

令和5年1月27日～令和5年2月20日

(2)在宅介護実態調査

令和5年1月27日～令和5年2月20日

### ②調査方法

(1)日常生活圏域ニーズ調査

郵送による配布・回収

(2)在宅介護実態調査

郵送による配布・回収

(3)介護人材実態調査

郵送による配布・回収

### ③回収状況

調査名	対象	配布数	回収数	回収率
日常生活圏域ニーズ調査	65歳以上の 一般高齢者	2,000件	1,473件	73.7%
在宅介護実態調査	在宅の要介護認定者	1,300件	705件	54.2%
介護人材実態調査	介護事業者	100部	63件	63.0%

### 3 報告書の見方

---

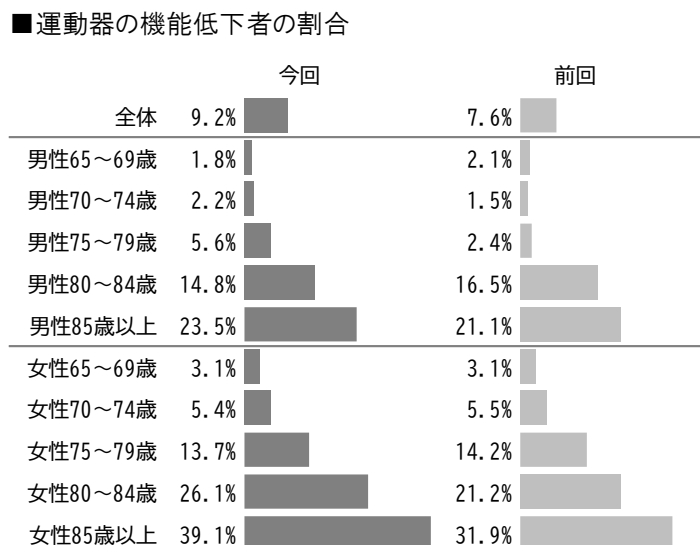
- 回答結果の割合「%」は有効回答数(集計対象者総数)に対して、それぞれの回答数の割合を小数点第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ形式)であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の n 数(number of case)は、サンプル数(集計対象者総数、もしくは回答者限定設問の限定条件に該当する人数)を表しています。
- クロス集計のグラフ・表は分析軸となる設問に「不明・無回答」がある場合は表示していません。よって、分析軸の n(回答者数)の合計が全体の合計と一致しない場合があります。

## 4 調査結果の概要と考察

### ①生活機能におけるリスク判定について（日常生活圏域ニーズ調査）

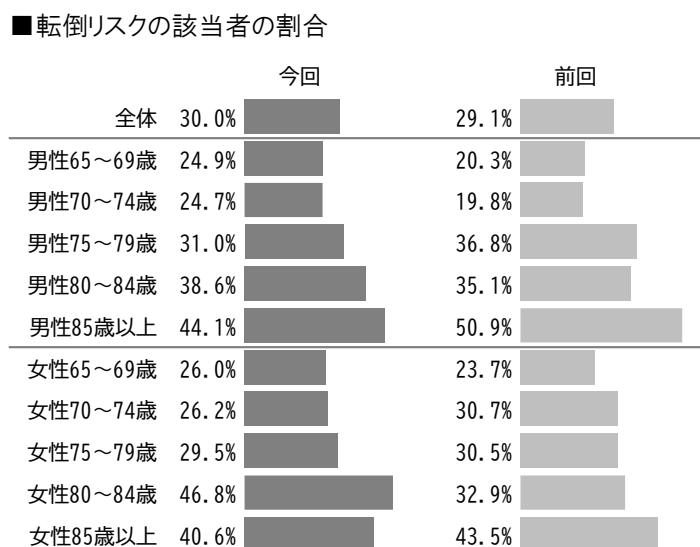
- 運動器の機能低下者の割合については、男女ともに年齢が上がるにつれて割合が高くなっています。

- 前回調査と比較すると、特に女性 85 歳以上で増加しています。



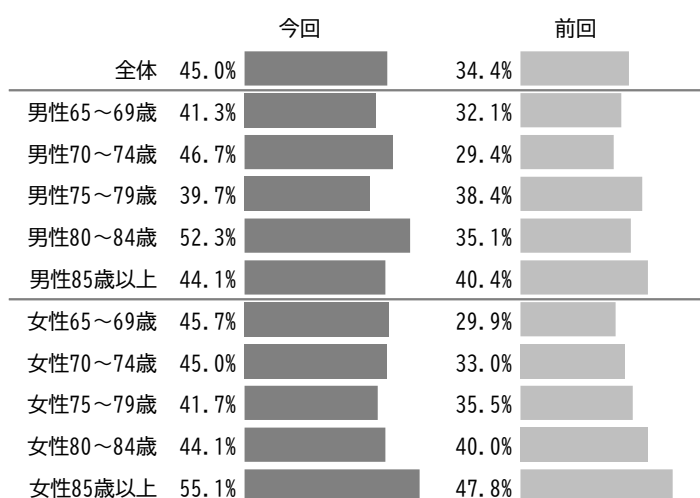
- 転倒リスクの該当者の割合については、男女ともに年齢が上がるにつれて割合が高く、特に男女 80 歳以上では 3 割後半から 4 割台となっています。

- 前回調査と比較すると、特に女性 80～84 歳で増加しています。



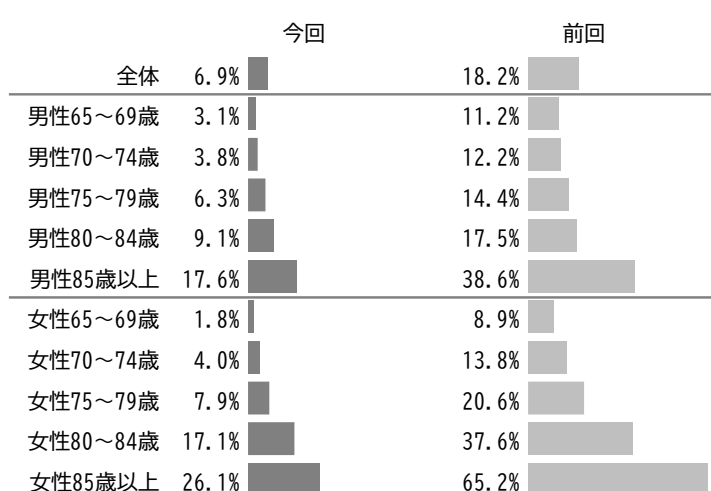
- 口腔機能の機能低下者の割合については、女性 85 歳以上で 5 割半ばと高くなっています。
- 前回調査と比較すると、すべての年代で増加しています。

■ 口腔機能の機能低下者の割合



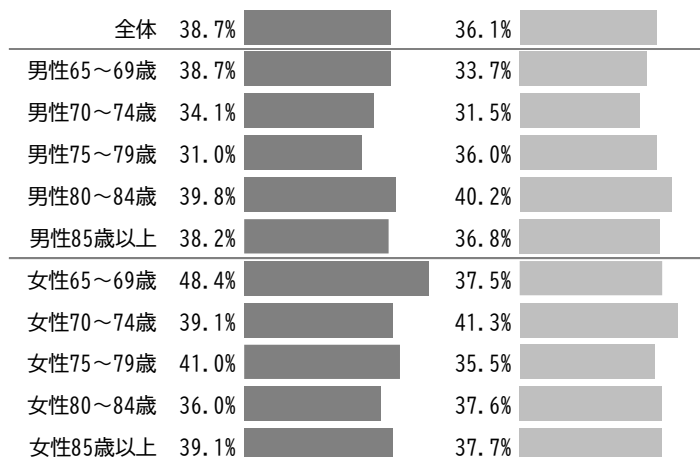
- 閉じこもりリスクの該当者の割合については、男女ともに年齢が上がるにつれて割合が高く、特に男性 85 歳以上と女性 80 歳以上では 1 割を超えています。
- 前回調査と比較すると、すべての年代で減少しています。新型コロナウイルス感染拡大が収まったことなどが影響していると考えられます。

■ 閉じこもりリスクの該当者の割合



- うつリスクの該当者の割合については、全体で 4 割弱となっており、特に 65～69 歳女性で高くなっています。
- 前回調査と比較すると、男女ともに 65～69 歳で増加しています。

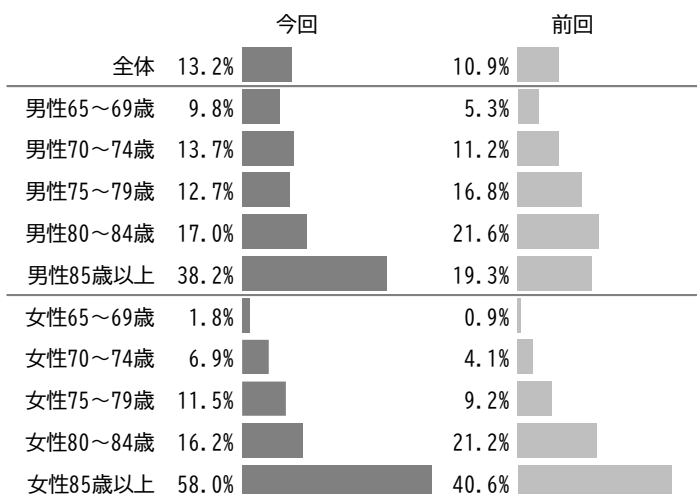
■ うつリスクの該当者の割合



- IADL の機能低下者の割合については、男女ともに年齢が上がるにつれて割合が高くなっています。
- 前回調査と比較すると、男女ともに 85 歳以上で増加しています。

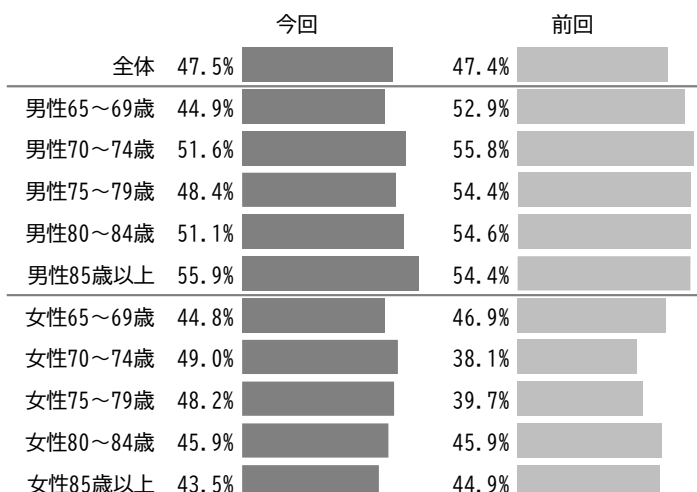
※IADL(手段的日常生活動作):とは、電話の使い方、買い物、家事、移動、外出、服薬の管理、金銭の管理など、日常生活動作ではとらえられない高次の生活機能の水準を測定するものである。

■ IADL の機能低下者の割合



- 社会的役割の機能低下者の割合については、男女各年代とも 4～5 割台となっています。
- 前回調査と比較すると、男性 65～69 歳で減少している一方で、女性 70～74 歳、女性 75～79 歳で増加しています。

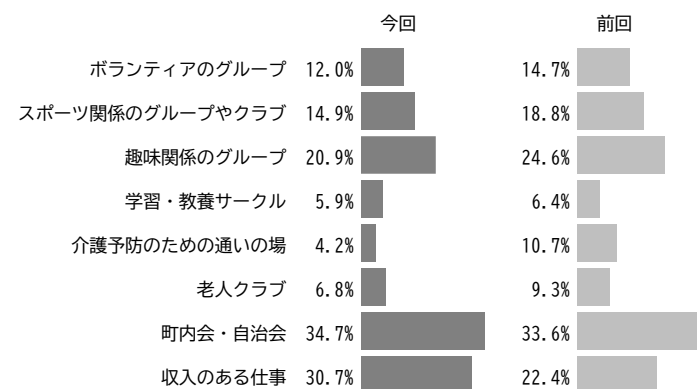
■ 社会的役割の機能低下者の割合



## ②地域とのつながりについて（日常生活圏域ニーズ調査）

- 各活動に「参加している人の割合」の割合については、〈町内会・自治会〉〈収入のある仕事〉が 3 割を超え、他の項目より高くなっています。
- 前回調査と比較すると、ほとんどの項目で減少している一方で、〈町内会・自治会〉〈収入のある仕事〉は増加しています。

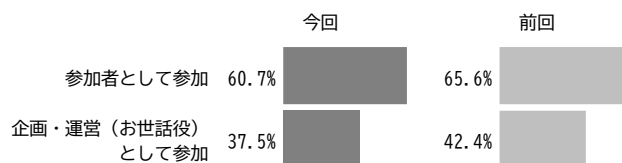
■ 各活動に「参加している人の割合」の割合





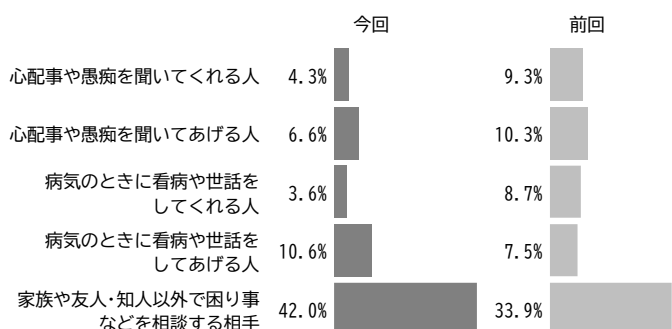
- 地域住民の有志による活動に「すでに参加している」「参加意向ある」については、〈参加者として参加〉では、約6割、〈企画・運営(お世話役として参加)〉では3割半ばとなっています。
- 前回調査と比較すると、両項目とも減少しています。

■地域住民の有志による、健康づくり活動や趣味などのグループ活動に「すでに参加している」「参加意向ある」の割合



- 〈心配事や愚痴を聞いてくれる人〉〈病気のと看病や世話をしてくれる人〉がいない割合は5%未満となっています。一方で、〈心配事や愚痴を聞いてあげる人〉〈病気のと看病や世話をしてあげる人〉がいない割合は1割弱～約1割となっています。
- 前回調査と比較すると、ほとんどの項目で減少している一方で、〈家族や友人・知人以外で困り事などを相談する相手〉が増加しています。

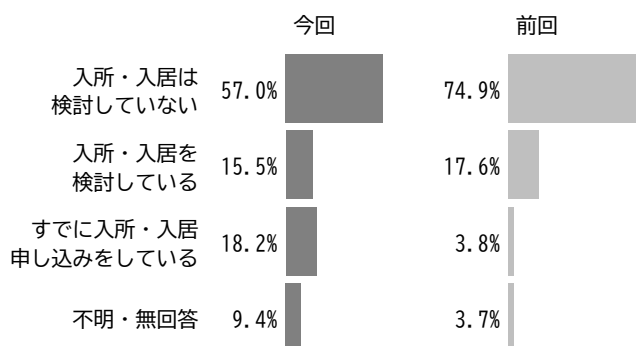
■以下の項目の人が「いない」割合



### ③在宅介護者の状況について（在宅介護実態調査）

- 在宅で生活する要介護者のうち、施設等の検討状況は、「検討していない」が5割半ばとなっている一方で、「検討中」「申請済み」を合わせると、3割半ばが施設利用を検討・意向していることがうかがえます。

■施設等検討の状況



- 現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービスについては、いずれの項目も1割未満の利用となっています。前回調査と比較すると、「利用していない」が減少しています。
- さらなる充実が必要と感じる介護保険サービス以外の支援・サービスについては、「移送サービス」が2割半ばで最も高く、次いで、「見守り・声かけ」「掃除・洗濯」となっています。

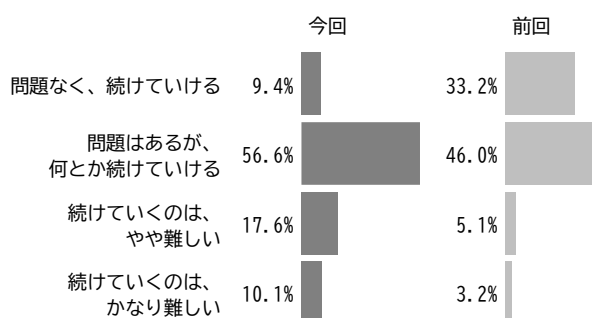
■現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービスとさらなる充実が必要と感じる介護保険サービス以外の支援

	現在利用している		さらなる充実が必要と感じる	
	今回	前回	今回	前回
配食	4.4%	4.7%	12.6%	7.8%
調理	4.0%	3.0%	8.5%	8.3%
掃除・洗濯	6.1%	3.9%	13.9%	10.9%
買い物	4.1%	1.7%	9.5%	7.6%
ゴミ出し	5.4%	2.5%	11.1%	8.9%
外出同行	5.4%	2.7%	13.2%	17.3%
移送サービス	7.1%	4.2%	23.0%	17.5%
見守り、声かけ	5.0%	5.1%	15.3%	13.3%
サロンなどの定期的な 通いの場	2.3%	3.2%	6.2%	7.6%
利用していない	61.3%	74.2%		

#### ④介護者の状況について（在宅介護実態調査）

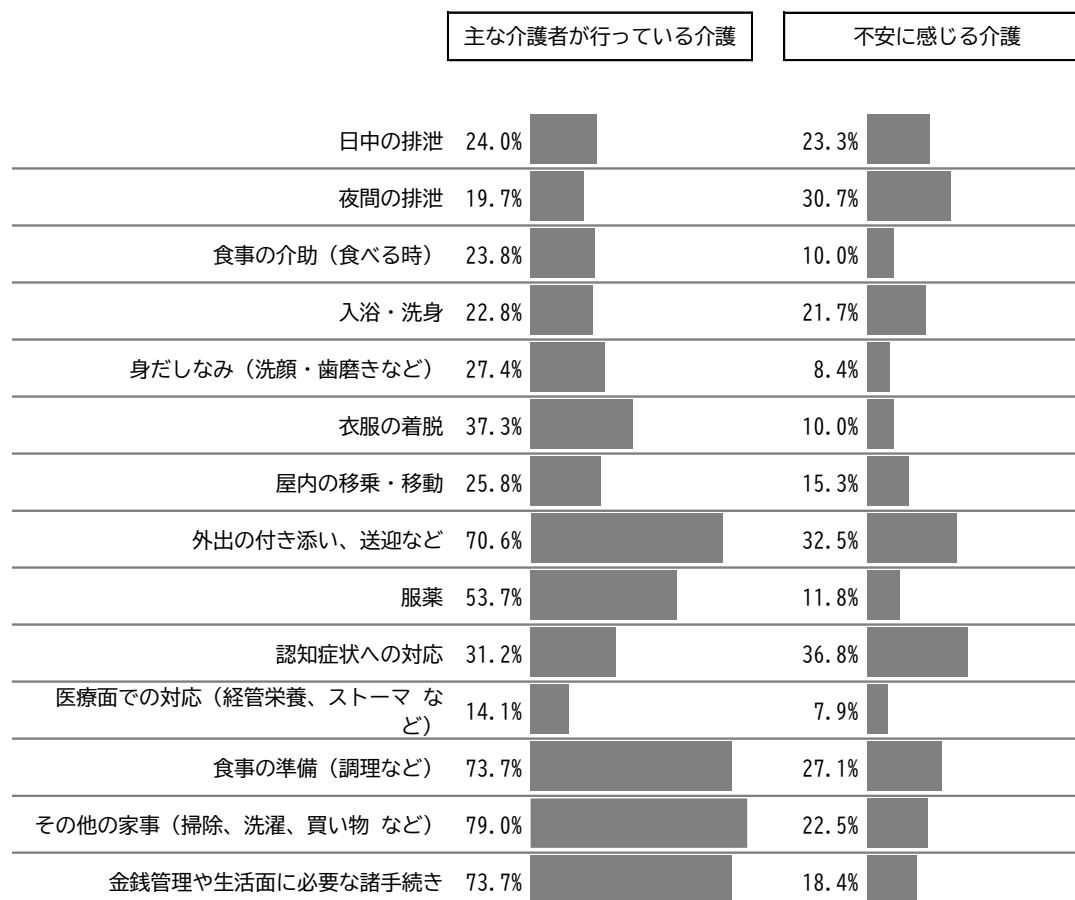
- 主な介護者が今後も働きながら介護を続けていけそうかについては、「問題なく、続けていける」は約1割となっています。
- 前回調査と比較すると、「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた割合は、約20ポイント増加しています。

■主な介護者が今後も働きながら介護を続けていけそうか



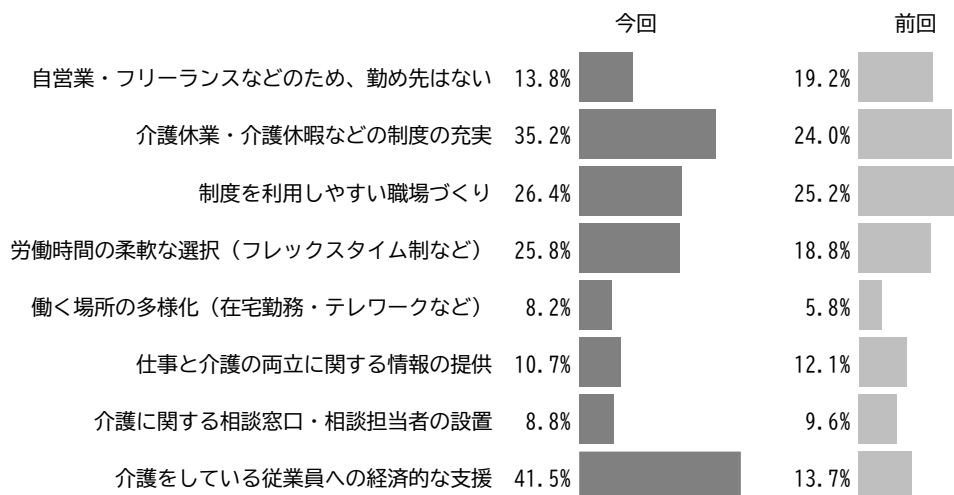
- 主な介護者が行っている介護については、「外出の付き添い、送迎など」「食事の準備(調理など)」「その他の家事(掃除、洗濯、買い物など)」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」で7割を超えています。
- 不安を感じる介護については、「夜間の排泄」「外出の付き添い、送迎など」「認知症状への対応」で3割を超えて高くなっており、特に「夜間の排泄」「認知症状への対応」ではく主な介護者が行っている介護)よりも高い割合となっています。

■主な介護者が行っている介護及び不安を感じる介護



- 仕事と介護の両立に効果があると思う支援については、「介護をしている従業員への経済的な支援」が約4割と最も多く、次いで「介護休業・介護休暇などの制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」となっています。
- 前回調査と比較すると、「介護をしている従業員への経済的な支援」「介護休業・介護休暇などの制度の充実」で増加しています。

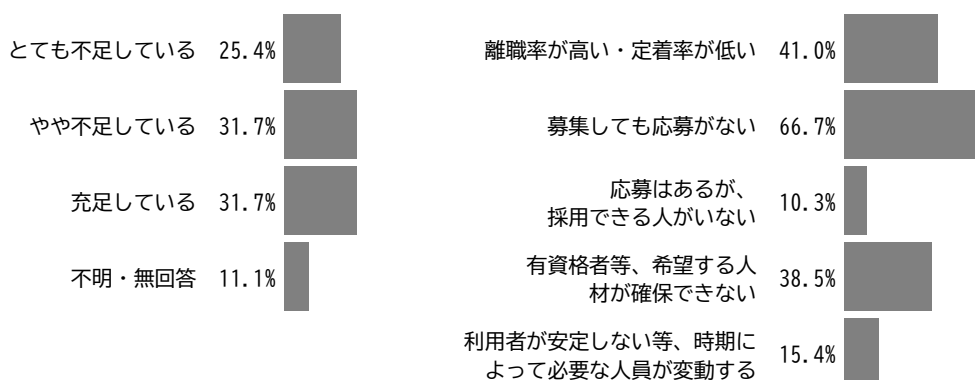
■仕事と介護の両立に効果があると思う支援



⑤介護人材の確保について（介護人材実態調査）

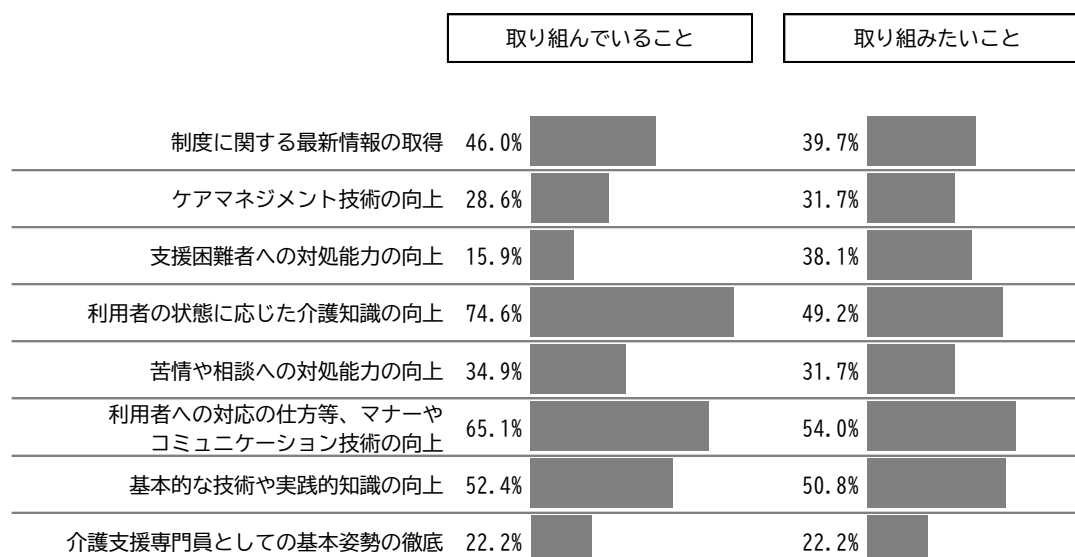
- 事業所における介護人材の確保についてみると、「とても不足している」「やや不足している」を合わせた割合が5割半ばとなっています。
- 介護人材が不足している主な理由についてみると、「募集しても応募がない」が6割半ばで最も高く、次いで「離職率が高い・定着率が低い」「有資格者等、希望する人材が確保できない」となっています。

■事業所における介護人材の確保の状況 ■介護人材が不足している主な理由



- 事業の質を高めるために「取り組んでいること」についてみると、「利用者の状態に応じた介護知識の向上」が 7 割半ばと最も高く、次いで「利用者への対応の仕方等、マナーやコミュニケーション技術の向上」「基本的な技術や実践的知識の向上」となっています。
- 事業の質を高めるために「取り組みたいこと」についてみると、「利用者への対応の仕方等、マナーやコミュニケーション技術の向上」が 5 割半ばと最も高くなっています。また、「支援困難者への対応能力の向上」では取り組んでいることを約 20 ポイント以上上回っています。

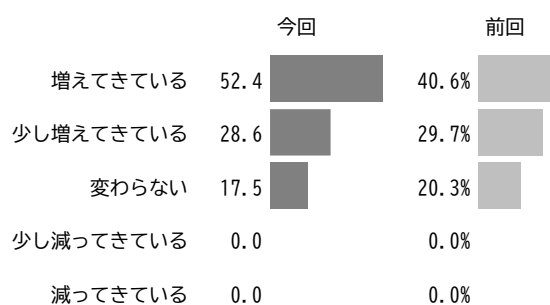
■事業の質を高めるために「取り組んでいること」「取り組みたいこと」



⑥認知症について（介護人材実態調査）

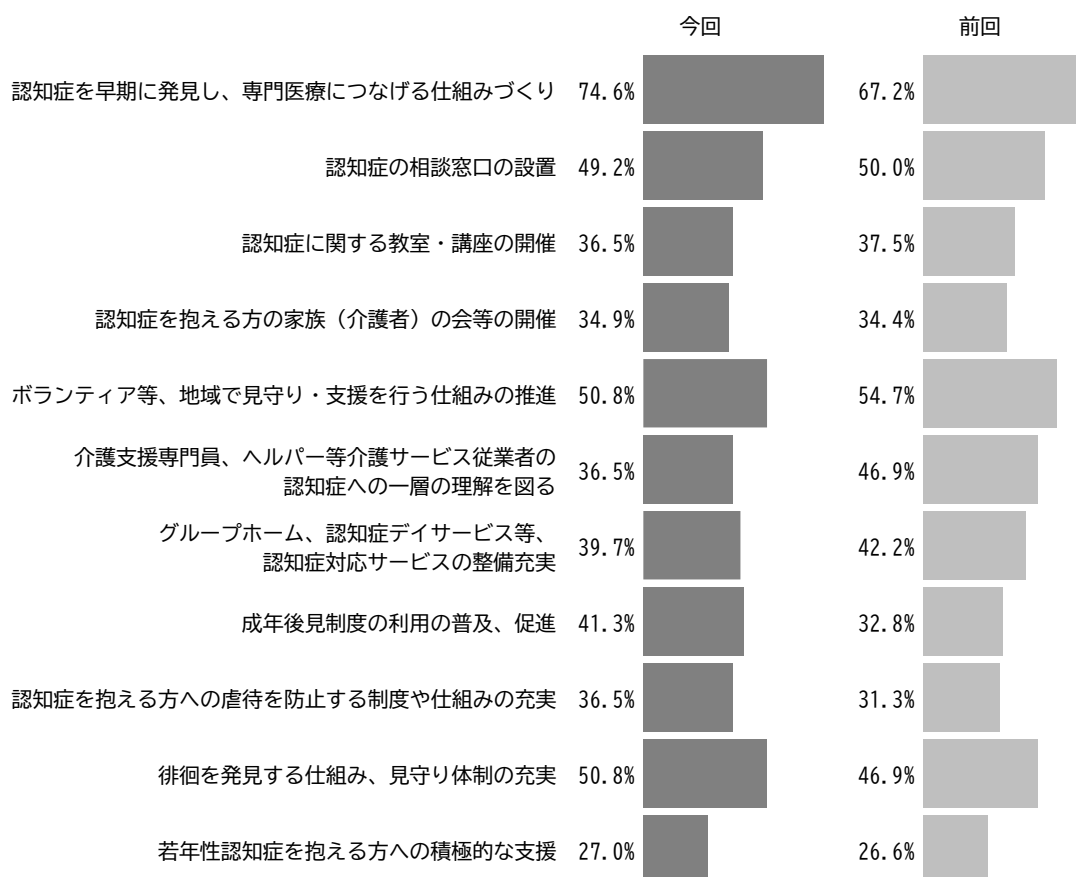
- サービス利用者の中の認知症の方の状況については、「増えてきている」が 5 割半ばとなっており、前回調査から増加しています。
- 前回調査と比較すると、「少し増えてきている」「変わらない」が減少している一方で、「増えてきている」が増加しています。

■サービス利用者の中の認知症の方の状況



- 今後の認知症対策として重要だと思うことについては、「認知症を早期に発見し、専門医療につなげる仕組みづくり」が 7 割半ばと最も高く、次いで「ボランティア等、地域で見守り・支援を行う仕組みの推進」「徘徊を発見する仕組み、見守り体制の充実」「認知症の相談窓口の設置」となっています。
- 前回調査と比較すると、「成年後見制度の利用の普及、促進」「認知症を早期に発見し、専門医療につなげる仕組みづくり」で増加しています。

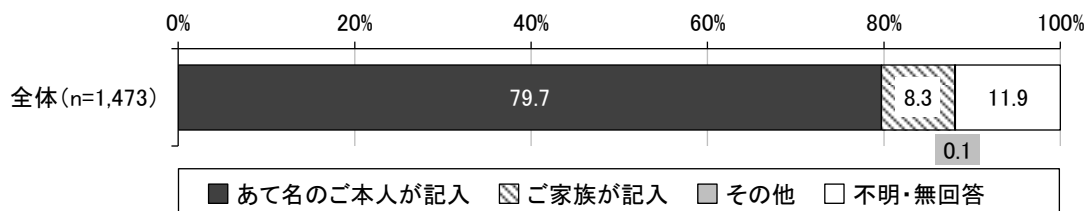
■今後の認知症対策として重要だと思うこと



## 5 日常生活圏域ニーズ調査の分析

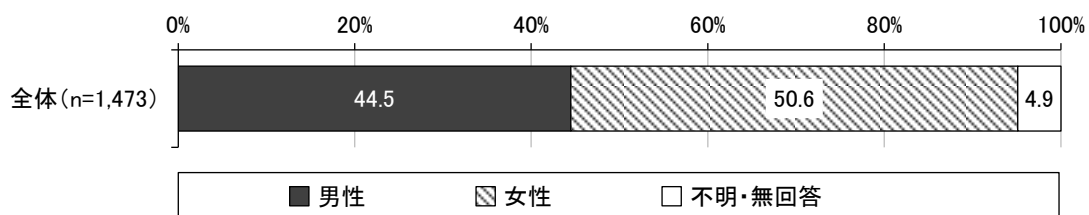
この調査票に記入されたのは、どなたですか（1つに○）

調査票の記入者についてみると、「あて名のご本人が記入」が 79.7%と最も多く、次いで「ご家族が記入」が 8.3%、「その他」が 0.1%となっています。



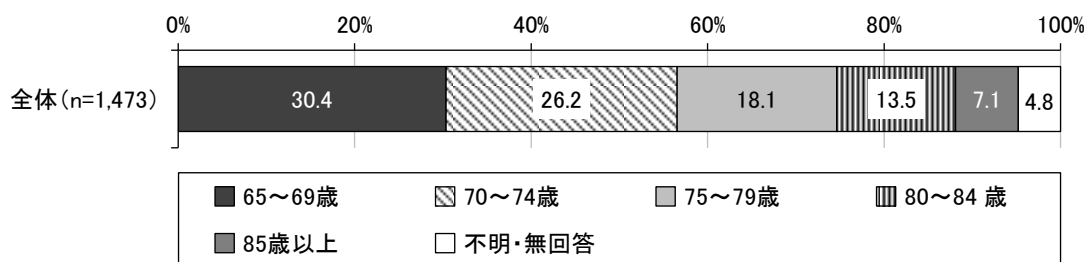
### 問1 (1) あなたの性別をお教えてください (1つに○)

性別についてみると、「女性」が50.6%、「男性」が44.5%となっています。



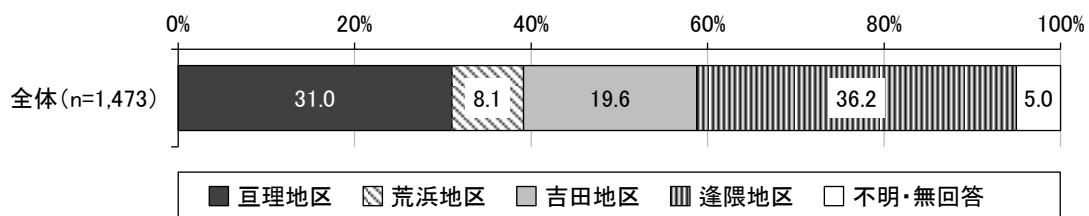
### 問1 (2) あなたの年齢をお教えてください (1つに○)

年齢についてみると、「65～69歳」が30.4%と最も多く、次いで「70～74歳」が26.2%、「75～79歳」が18.1%となっています。



### 問1 (3) あなたは現在どの地区にお住まいですか (1つに○)

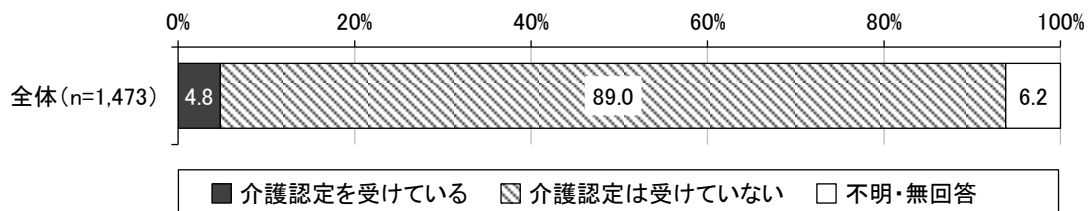
お住まいの地区についてみると、「逢隈地区」が36.2%と最も多く、次いで「亘理地区」が31.0%、「吉田地区」が19.6%となっています。





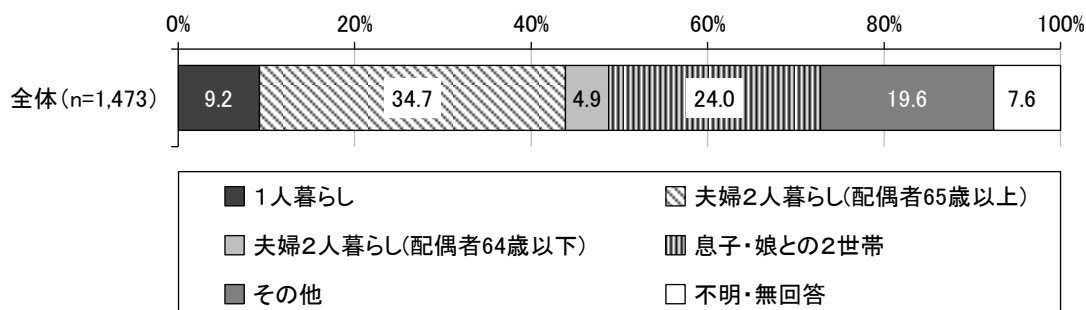
問1 (4) あなたは要支援認定を受けていますか (1つに○)

介護認定の状況についてみると、「介護認定は受けていない」が89.0%、「介護認定を受けている」が4.8%となっています。



問2 (1) 家族構成をお教えてください (1つに○)

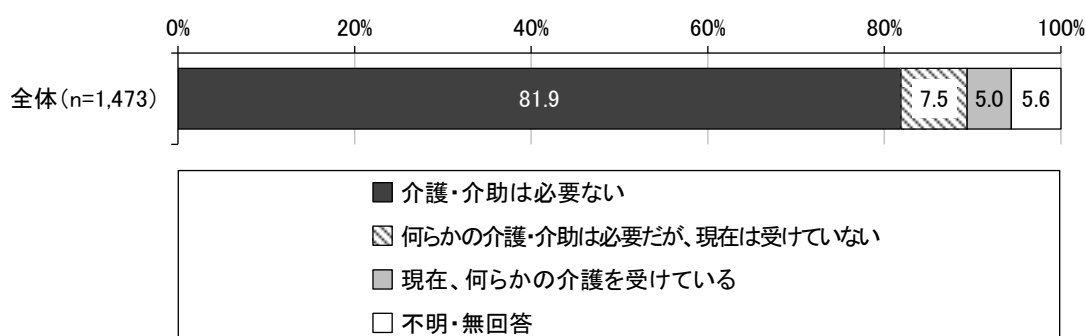
家族構成についてみると、「その他」をのぞくと「夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上)」が34.7%と最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が24.0%、「1人暮らし」が9.2%となっています。



問2 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (1つに○)

※選択肢「現在、何らかの介護を受けている」は、介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む

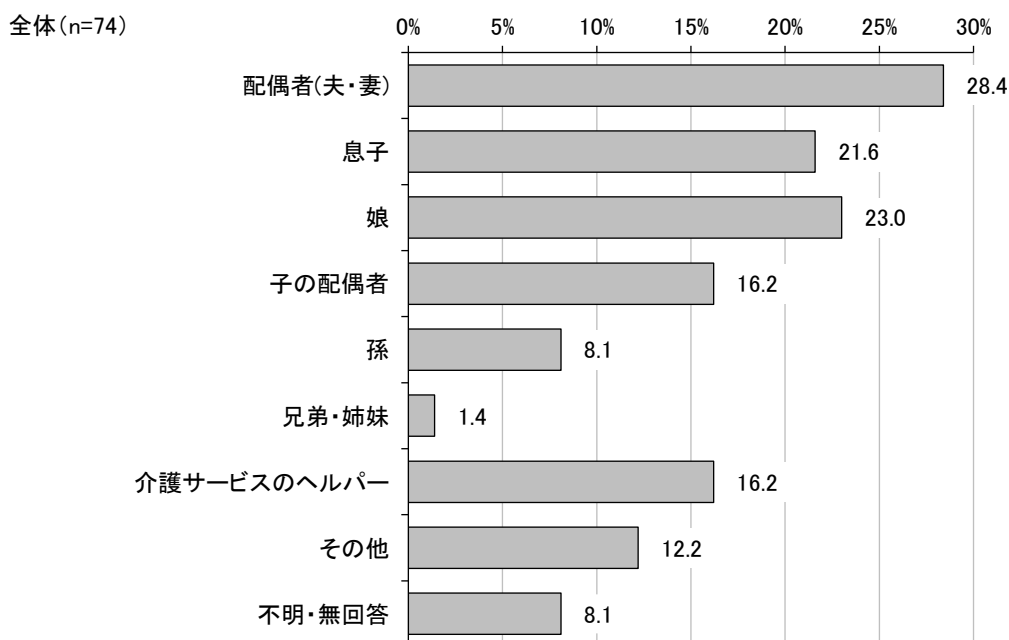
介護・介助の必要性についてみると、「介護・介助は必要ない」が81.9%と最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が7.5%、「現在、何らかの介護を受けている」が5.0%となっています。



【(2)において「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方のみ】

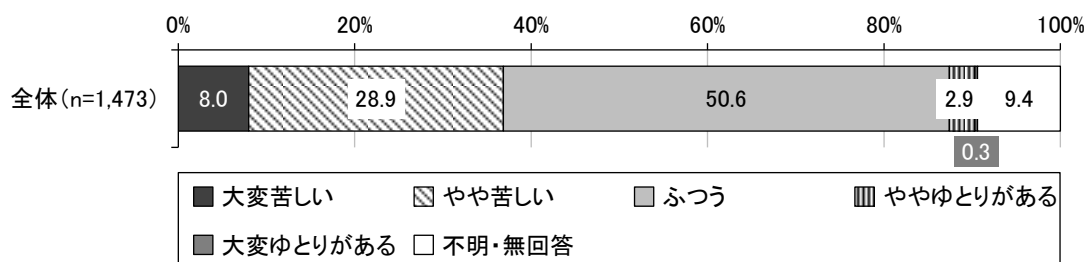
問2(2)①主にどなたから介護、介助を受けていますか(いくつでも)

主な介護者についてみると、「配偶者(夫・妻)」が28.4%と最も多く、次いで「娘」が23.0%、「息子」が21.6%となっています。



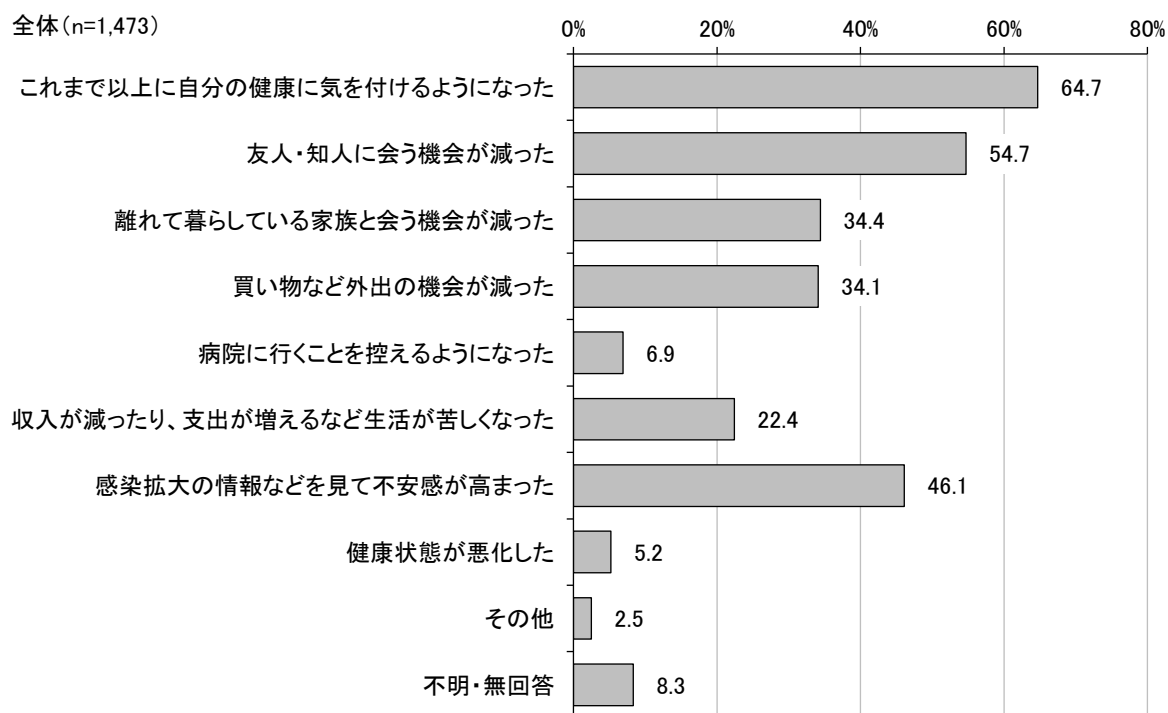
問2(3)現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか(1つに○)

現在の暮らしの経済的な状況についてみると、「ふつう」が50.6%と最も多く、次いで「やや苦しい」が28.9%、「大変苦しい」が8.0%となっています。「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』は36.9%となっています。



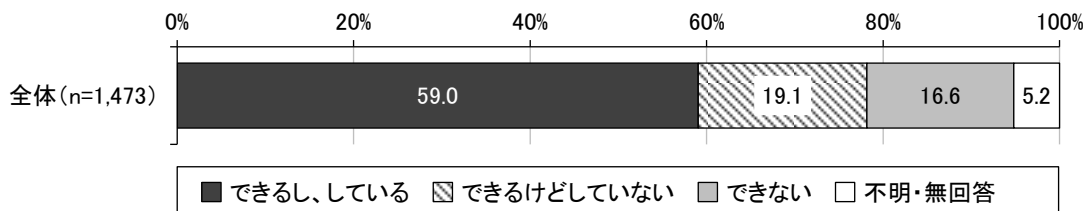
## 問2（4）新型コロナウイルス感染症の流行以降、あなたの生活や心身の状態はどう変わりましたか（いくつでも）

新型コロナウイルス感染症の流行以降、生活や心身の状態がどう変わったかについてみると、「これまで以上に自分の健康に気を付けるようになった」が64.7%と最も多く、次いで「友人・知人に会う機会が減った」が54.7%、「感染拡大の情報などを見て不安感が高まった」が46.1%となっています。



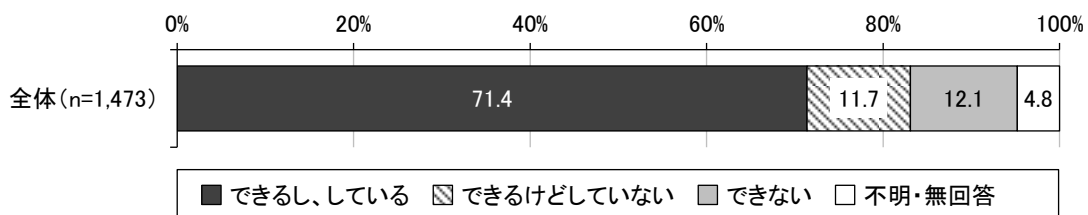
### 問3 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができますか (1つに○)

階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができるかについてみると、「できるし、している」が59.0%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が19.1%、「できない」が16.6%となっています。



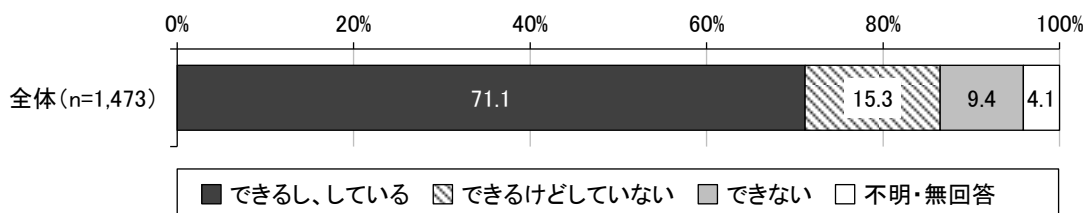
### 問3 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができますか (1つに○)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができるかについてみると、「できるし、している」が71.4%と最も多く、次いで「できない」が12.1%、「できるけどしていない」が11.7%となっています。



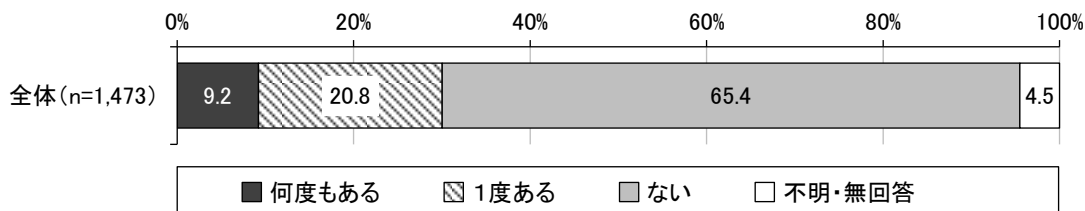
### 問3 (3) 15分位続けて歩くことができますか (1つに○)

15分位続けて歩くことができるかについてみると、「できるし、している」が71.1%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が15.3%、「できない」が9.4%となっています。



### 問3 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (1つに○)

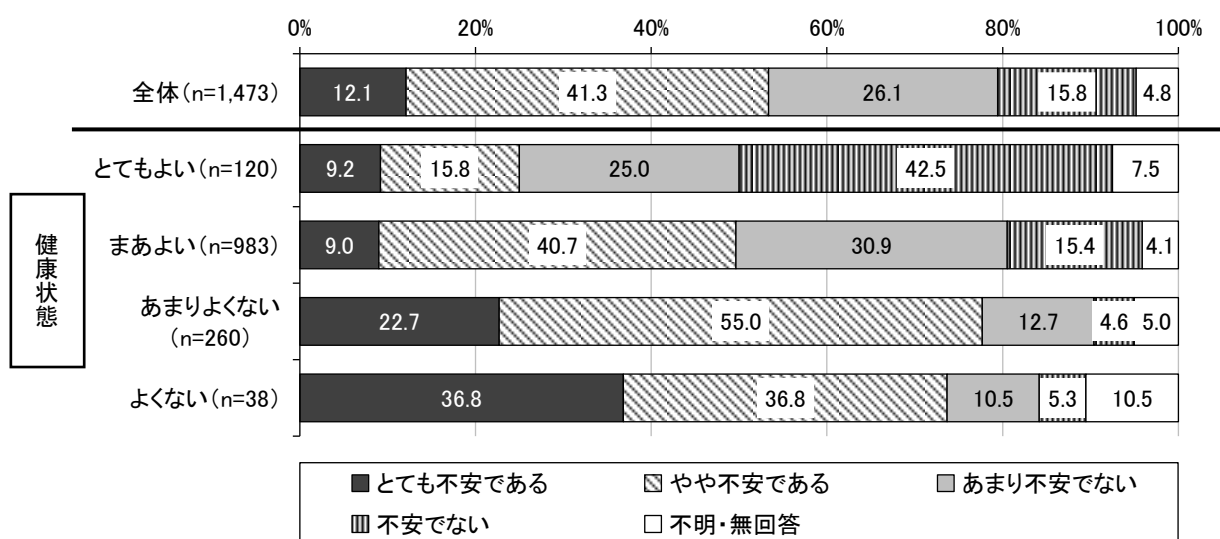
過去1年間の転倒経験についてみると、「ない」が65.4%と最も多く、次いで「1度ある」が20.8%、「何度もある」が9.2%となっています。



### 問3 (5) 転倒に対する不安はどの程度感じますか (1つに○)

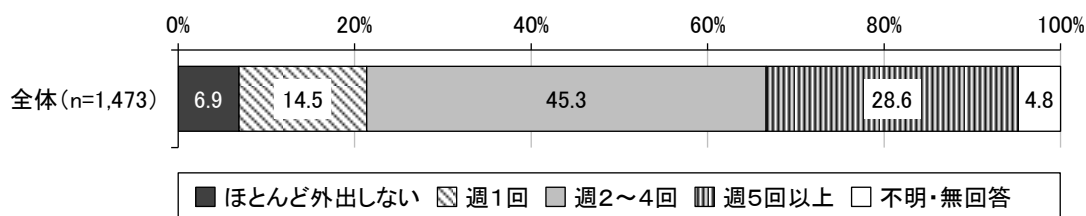
転倒に対する不安の割合についてみると、「やや不安である」が41.3%と最も多く、次いで「あまり不安でない」が26.1%、「不安でない」が15.8%となっています。「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『不安である』は53.4%となっています。

健康状態別で比較すると、健康状態が「よい」ほど、「あまり不安でない」と「不安でない」を合わせた『不安でない』が多い傾向にあります。



### 問3（6）週にどの程度外出していますか（1つに○）

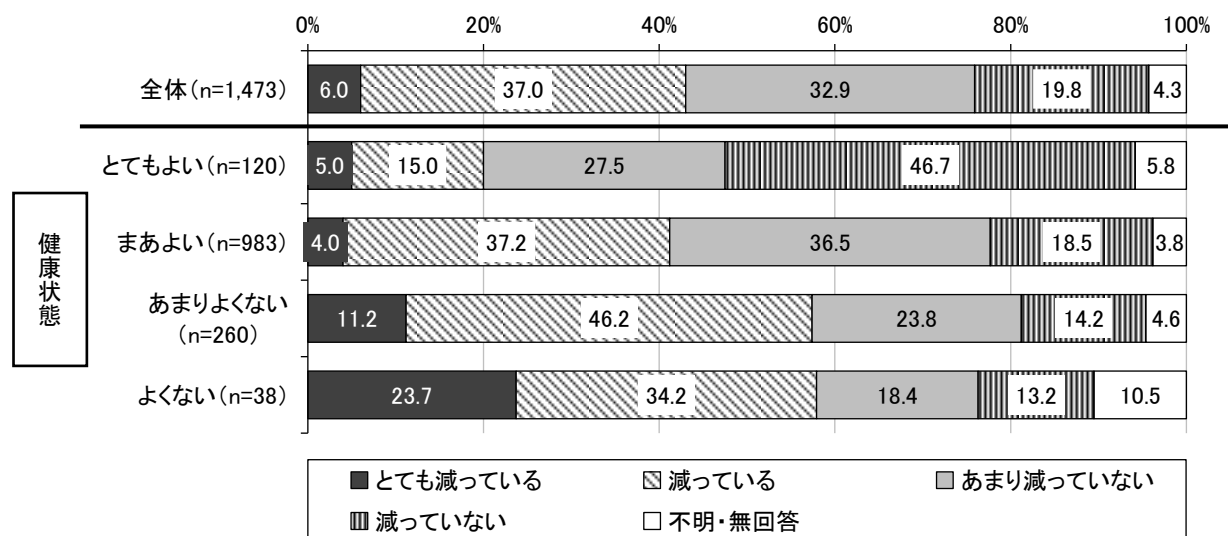
外出状況についてみると、「週2～4回」が45.3%と最も多く、次いで「週5回以上」が28.6%、「週1回」が14.5%となっています。「週2～4回」と「週5回以上」を合わせた『週2回以上外出している』は73.9%となっています。



### 問3（7）昨年と比べて外出の回数が減っていますか（1つに○）

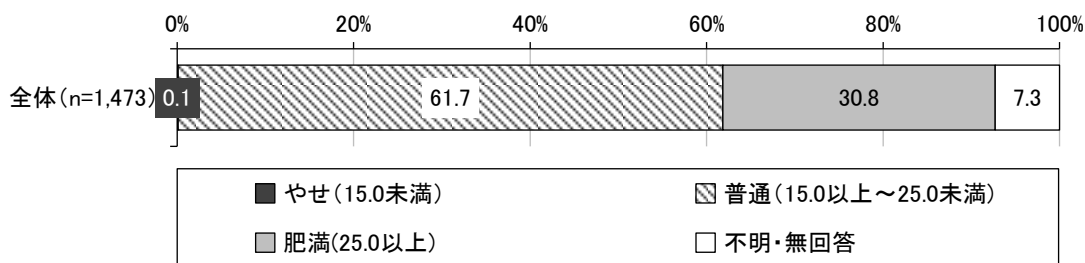
昨年との外出回数の比較についてみると、「減っている」が37.0%と最も多く、次いで「あまり減っていない」が32.9%、「減っていない」が19.8%となっています。「とても減っている」と「減っている」を合わせた『減っている』は、43.0%となっています。

健康状態別で比較すると、健康状態が[よい]ほど、「減っていない」が多い傾向にあります。



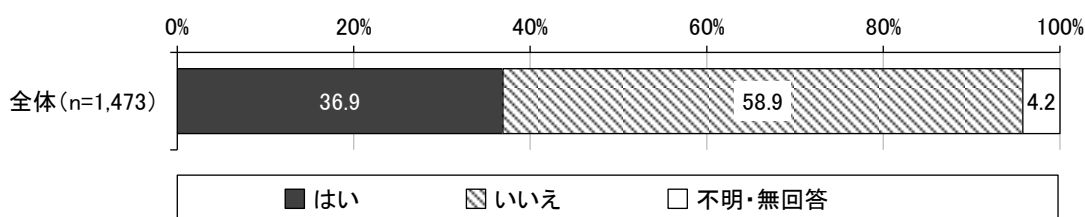
#### 問4 (1) BMI

BMI判定についてみると、「普通(15.0以上～25.0未満)」が61.7%と最も多く、次いで「肥満(25.0以上)」が30.8%、「やせ(15.0未満)」が0.1%となっています。



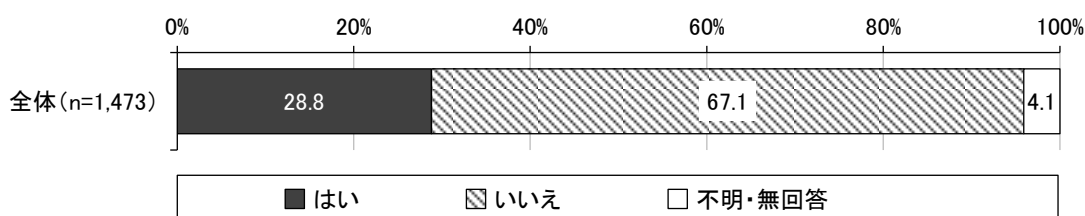
#### 問4 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (1つに○)

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについてみると、「いいえ」が58.9%、「はい」が36.9%となっています。



#### 問4 (3) お茶や汁物などでむせることがありますか (1つに○)

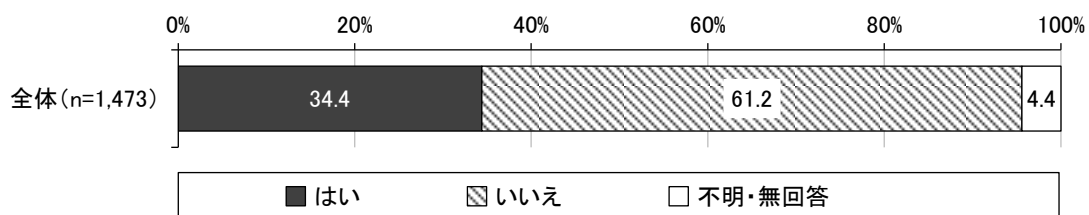
お茶や汁物などでむせることがあるかについてみると、「いいえ」が67.1%、「はい」が28.8%となっています。





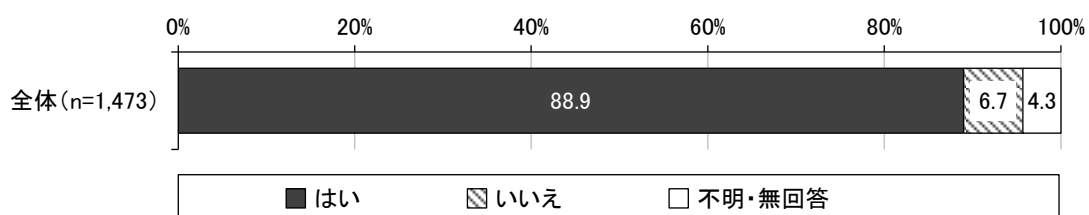
#### 問4（4）口の渇きが気になることはありますか（1つに○）

口の渇きが気になるかについてみると、「いいえ」が61.2%、「はい」が34.4%となっています。



#### 問4（5）毎日口腔ケア（入れ歯や歯磨き）を行っていますか（1つに○）

毎日口腔ケアを行っているかについてみると、「はい」が88.9%、「いいえ」が6.7%となっています。

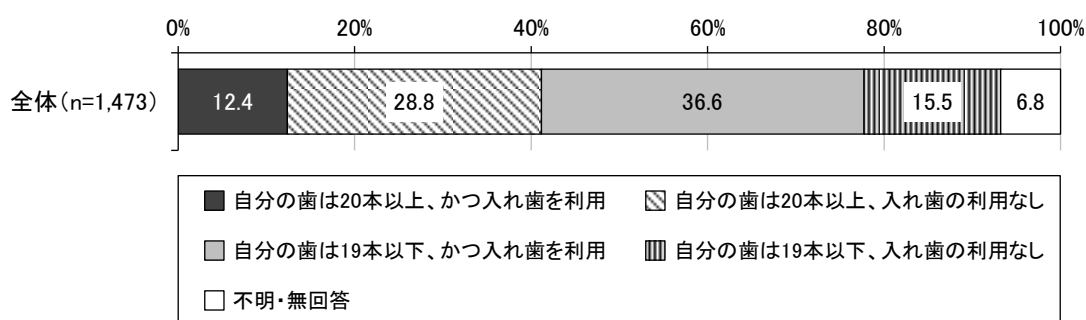


問4 (6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (1つに○)  
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

歯の数と入れ歯の利用状況についてみると、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が36.6%と最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が28.8%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が15.5%となっています。

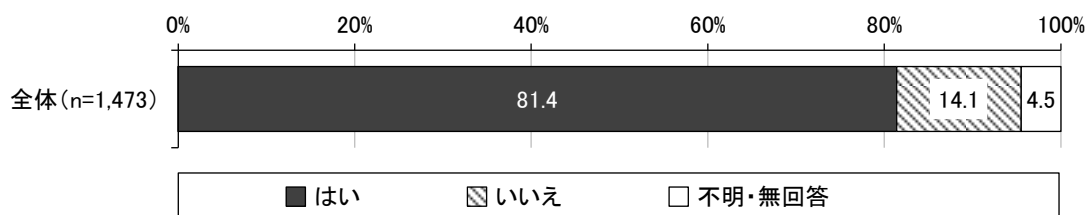
「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」と「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」を合わせた『自分の歯は20本以上』は41.2%となっています。「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」と「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を合わせた『自分の歯は19本以下』は52.1%となっています。

「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を合わせた『入れ歯を利用』は49.0%となっています。「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」と「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」を合わせた『入れ歯の利用なし』は44.3%となっています。



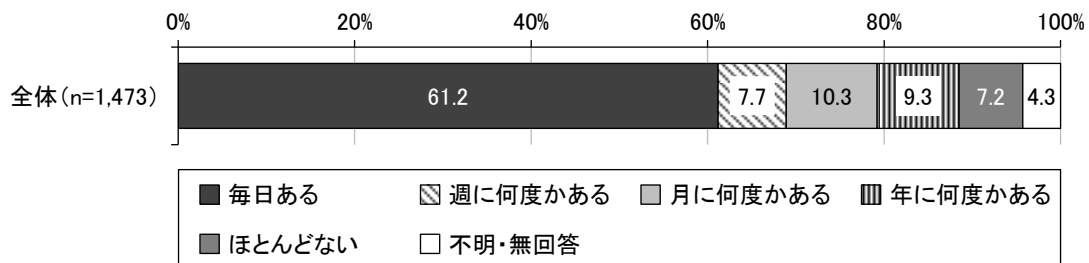
問4 (7) 食事の際、しっかりかんで、食べる事はできますか (1つに○)

しっかりかんで、食べる事はできるかについてみると、「はい」が81.4%、「いいえ」が14.1%となっています。



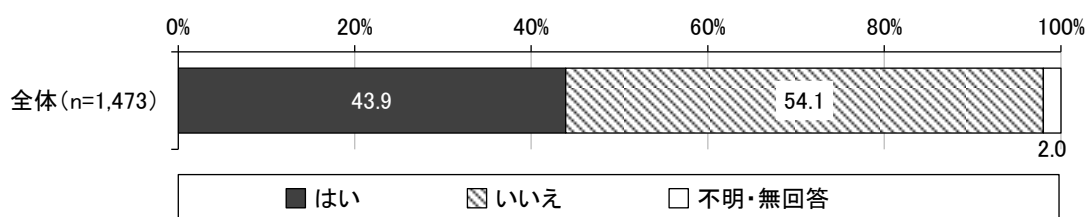
問4（8）どなたかと食事をとにもする機会がありますか（1つに○）

共食の機会についてみると、「毎日ある」が61.2%と最も多く、次いで「月に何度かある」が10.3%、「年に何度かある」が9.3%となっています。



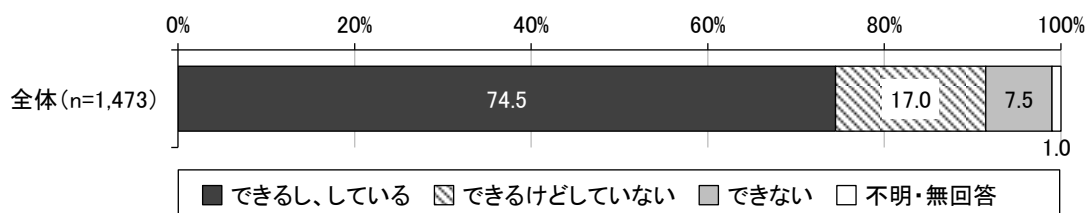
### 問5（1）物忘れが多いと感じますか（1つに○）

物忘れが多いと感じるかについてみると、「いいえ」が54.1%、「はい」が43.9%となっています。



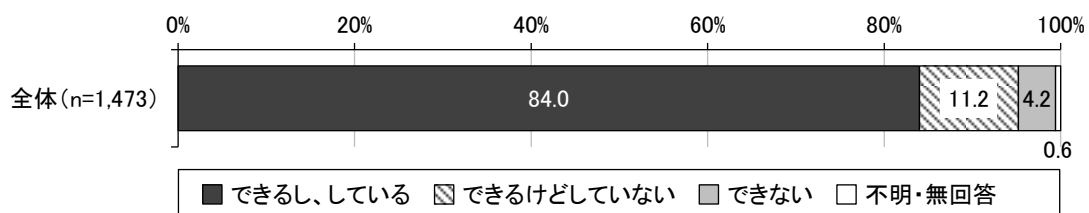
### 問5（2）バスや電車を使って1人で外出ができますか（自家用車でも可）（1つに○）

バスや電車を使って1人で外出できるかについてみると、「できるし、している」が74.5%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が17.0%、「できない」が7.5%となっています。



### 問5（3）自分で食品・日用品の買物ができますか（1つに○）

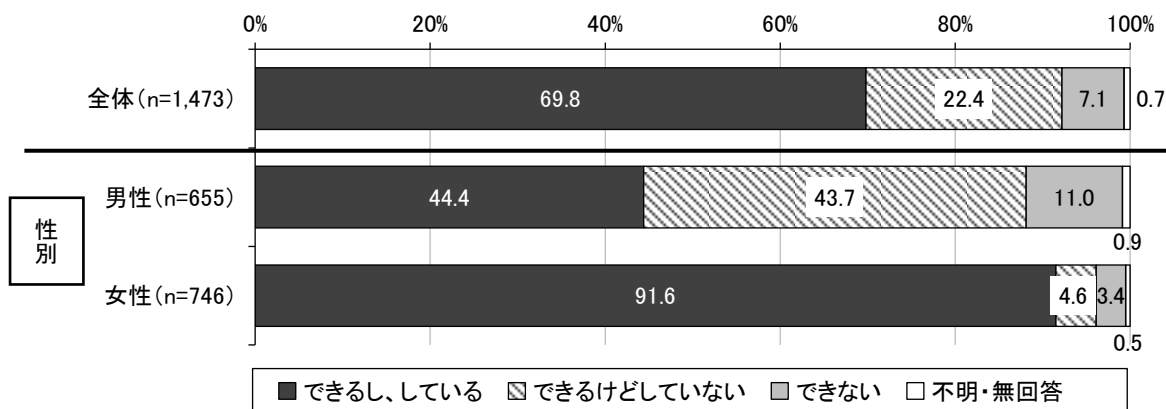
自分で食品・日用品の買物ができるかについてみると、「できるし、している」が84.0%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.2%、「できない」が4.2%となっています。



### 問5（4）自分で食事の用意ができますか（1つに○）

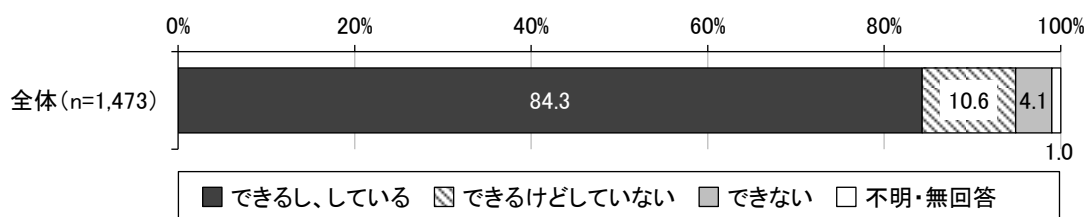
自分で食事の用意ができるかについてみると、「できるし、している」が69.8%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が22.4%、「できない」が7.1%となっています。

性別で比較すると、男性で「できるけどしていない」が女性に比べて多くなっています。一方で、女性で「できるし、している」が男性に比べて多くなっています。



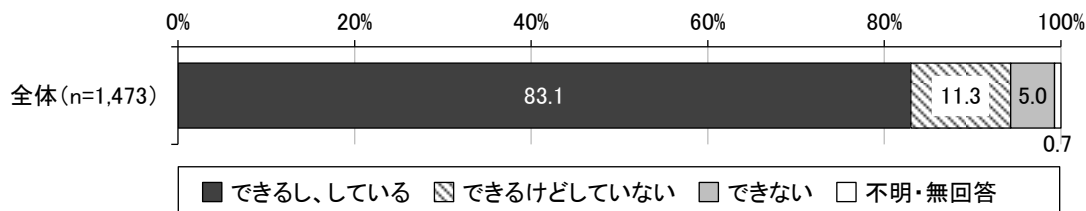
### 問5（5）自分で請求書の支払いができますか（1つに○）

自分で請求書の支払いができるかについてみると、「できるし、している」が84.3%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が10.6%、「できない」が4.1%となっています。



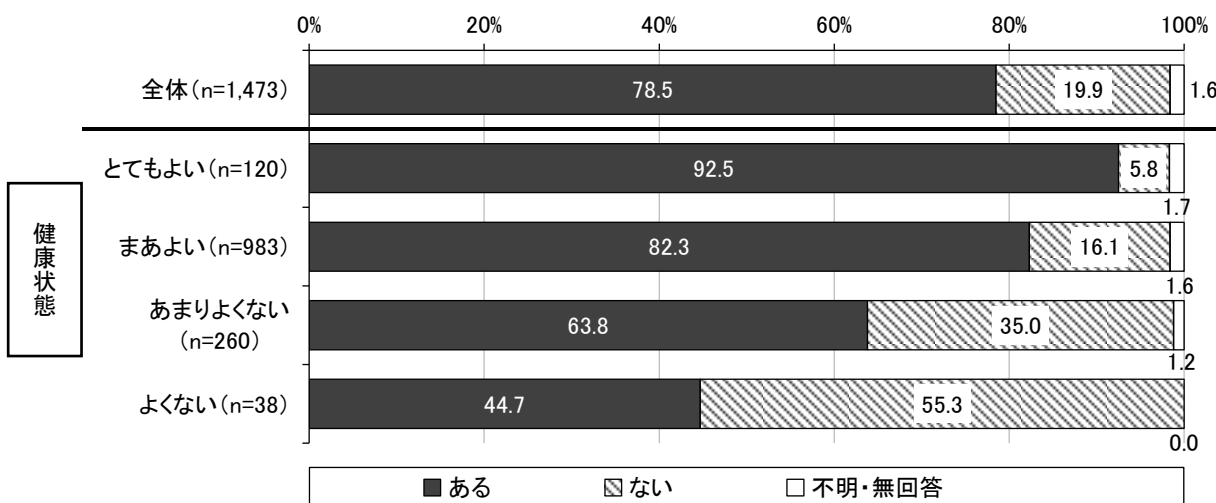
問5 (6) 自分で預貯金の出し入れができますか (1つに○)

自分で預貯金の出し入れができるかについてみると、「できるし、している」が83.1%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.3%、「できない」が5.0%となっています。



問5 (7) 趣味や生きがいがありますか (1つに○)

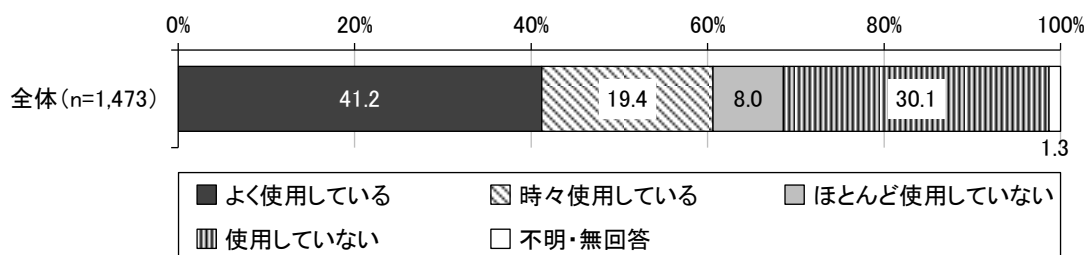
趣味や生きがいがあるかについてみると、「ある」が78.5%、「ない」が19.9%となっています。健康状態別で比較すると、健康状態が「よくない」ほど、「趣味がある」が少ない傾向にあります。



問5（8）あなたは、パソコン、スマートフォンやタブレット端末などの情報通信機器を使用していますか（1つに○）

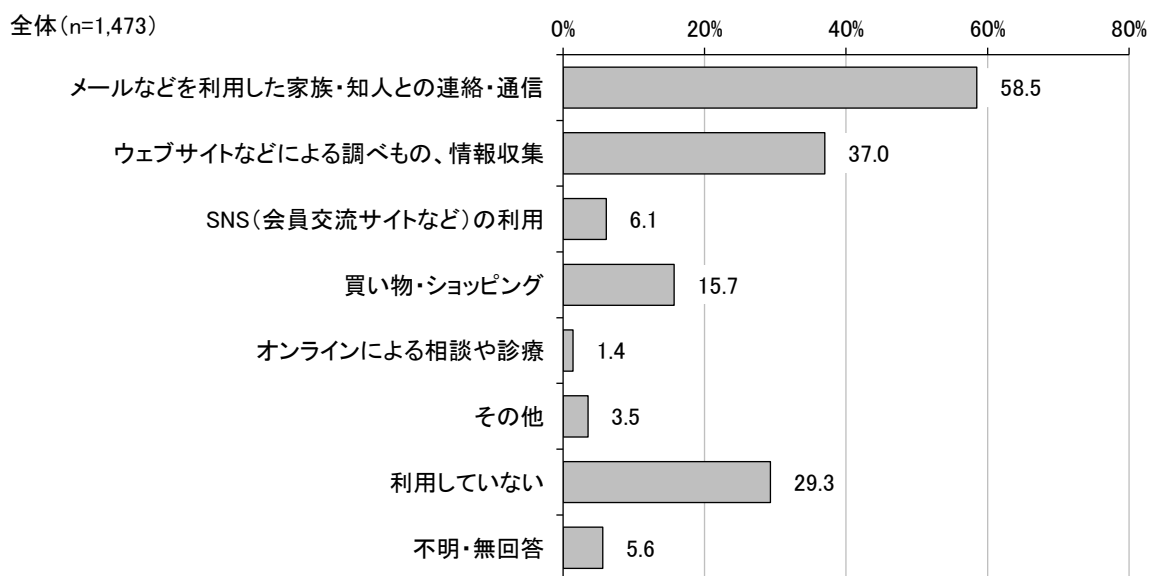
情報通信機器の使用状況についてみると、「よく使用している」が41.2%と最も多く、次いで「使用していない」が30.1%、「時々使用している」が19.4%となっています。

「よく使用している」と「時々使用している」を合わせた『使用している』は60.6%となっています。「ほとんど使用していない」と「使用していない」を合わせた『使用していない』は38.1%となっています。



問5（9）あなたは普段、パソコンやスマートフォンなどの情報通信機器を利用して、次のようなことをしていますか（いくつでも）

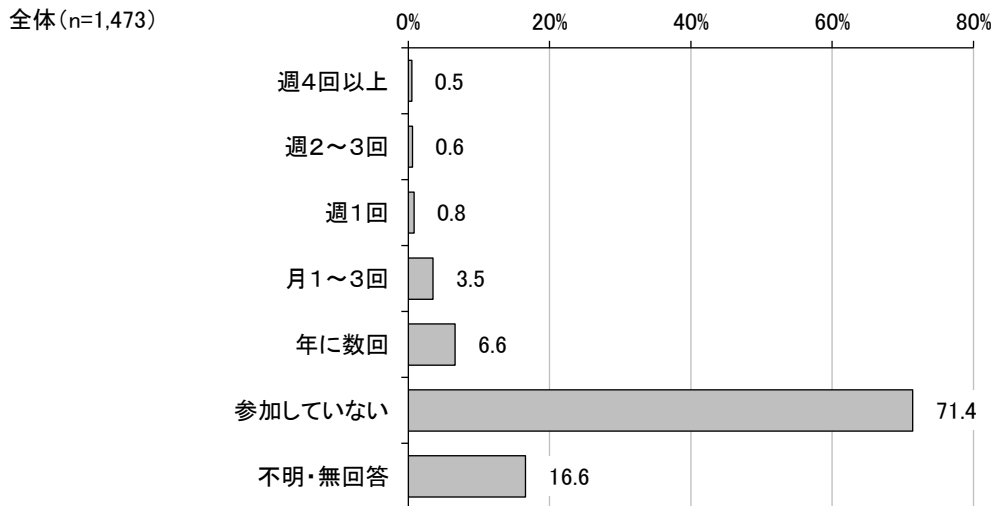
情報通信機器の利用目的についてみると、「利用していない」をのぞくと「メールなどを利用した家族・知人との連絡・通信」が58.5%と最も多く、次いで「ウェブサイトなどによる調べもの、情報収集」が37.0%、「買い物・ショッピング」が15.7%となっています。



問6 (1) 以下のような会・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか  
(1つに○)

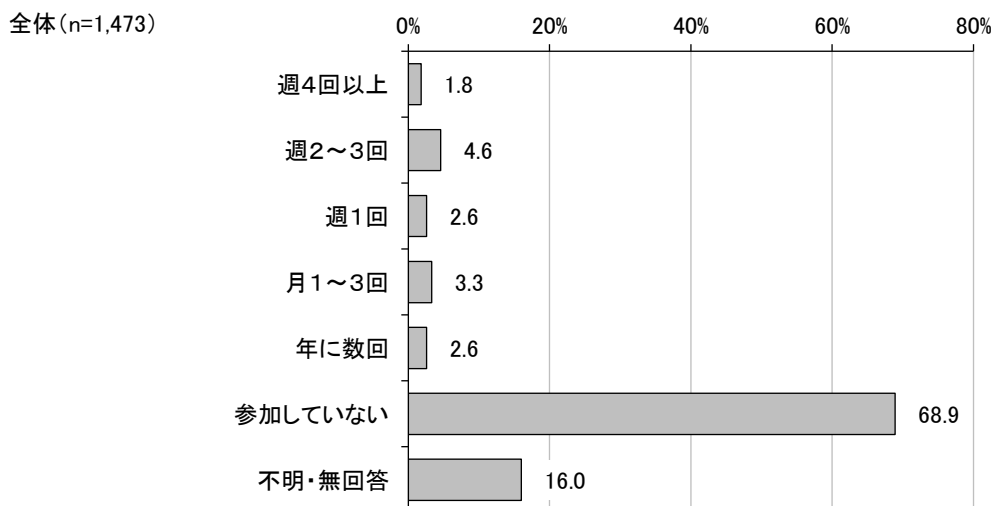
①ボランティアのグループ

ボランティアのグループへの参加状況についてみると、「参加していない」が71.4%と最も多く、次いで「年に数回」が6.6%、「月1～3回」が3.5%となっています。



②スポーツ関係のグループやクラブ

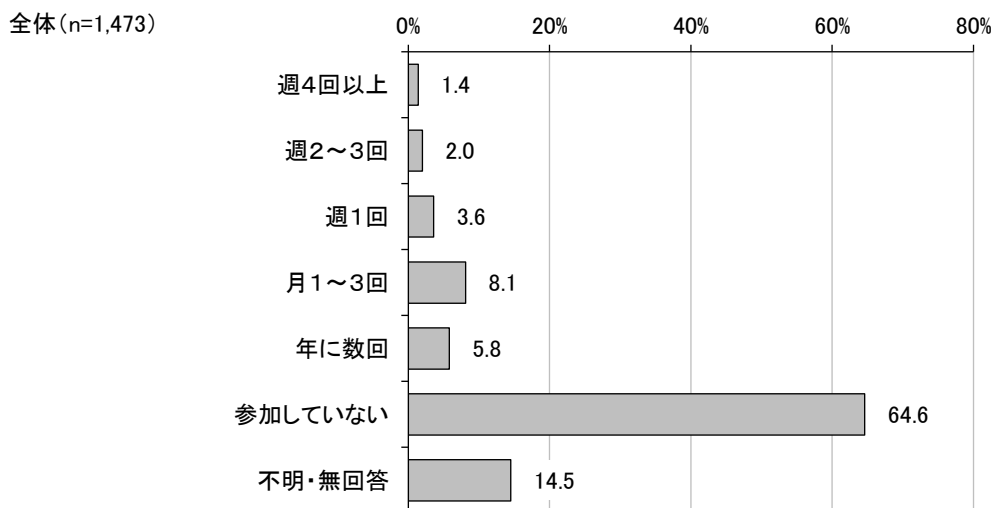
スポーツ関係のグループやクラブへの参加状況についてみると、「参加していない」が68.9%と最も多く、次いで「週2～3回」が4.6%、「月1～3回」が3.3%となっています。





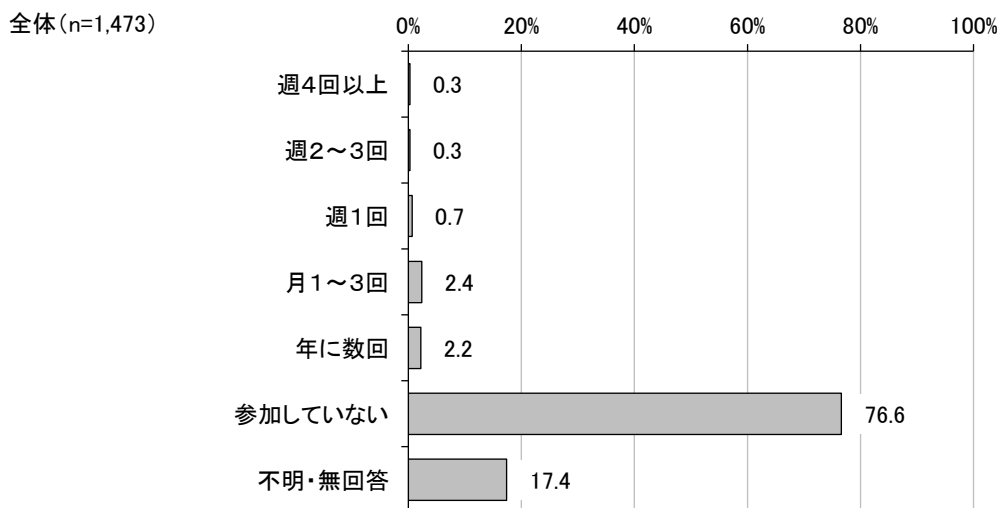
### ③趣味関係のグループ

趣味関係のグループへの参加状況についてみると、「参加していない」が 64.6%と最も多く、次いで「月1～3回」が 8.1%、「年に数回」が 5.8%となっています。



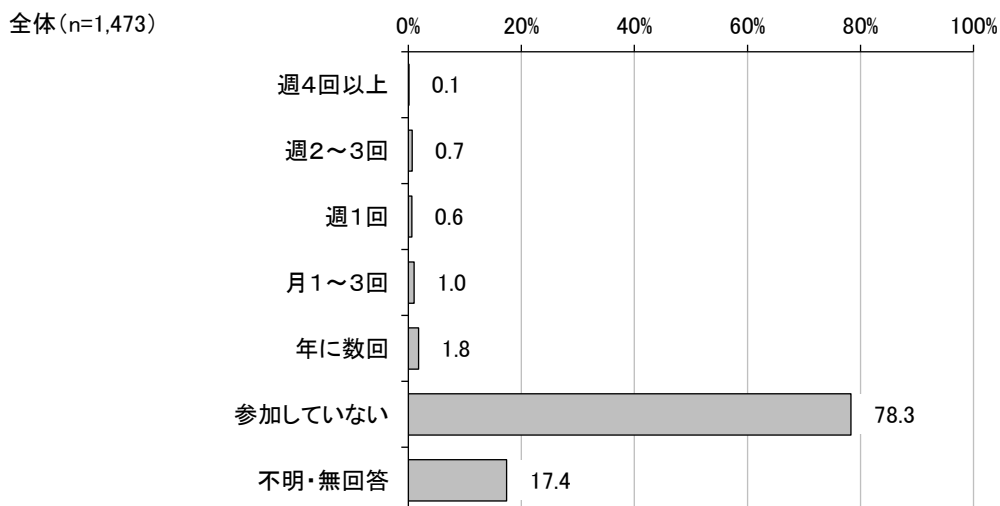
### ④学習・教養サークル

学習・教養サークルへの参加状況についてみると、「参加していない」が 76.6%と最も多く、次いで「月1～3回」が 2.4%、「年に数回」が 2.2%となっています。



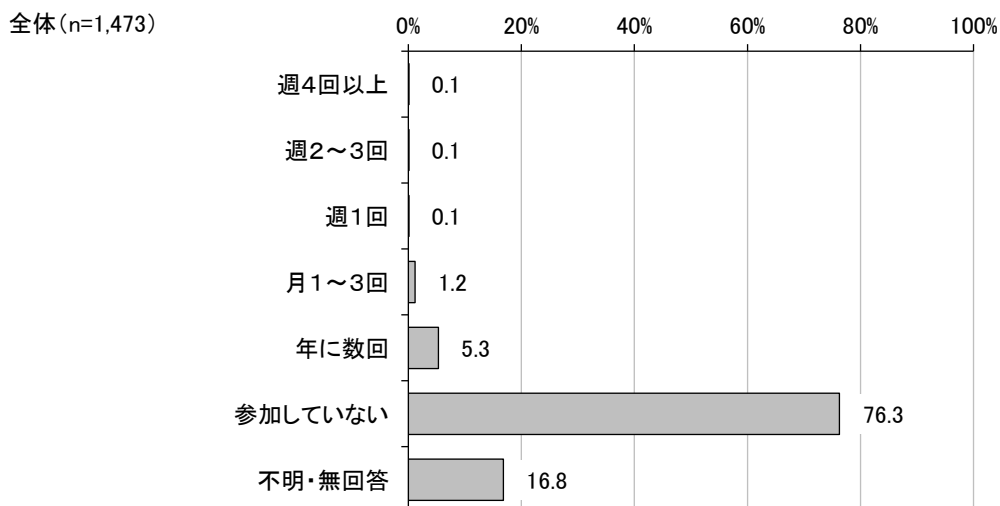
### ⑤健康づくり茶話会などの介護予防のための通いの場

健康づくり茶話会など介護予防のための通いの場への参加状況についてみると、「参加していない」が78.3%と最も多く、次いで「年に数回」が1.8%、「月1～3回」が1.0%となっています。



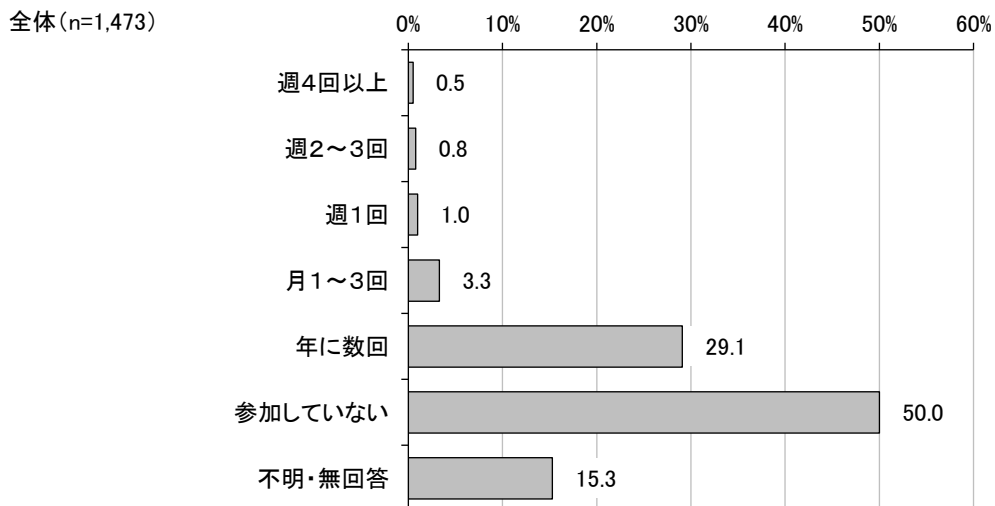
### ⑥老人クラブ

老人クラブへの参加状況についてみると、「参加していない」が76.3%と最も多く、次いで「年に数回」が5.3%、「月1～3回」が1.2%となっています。



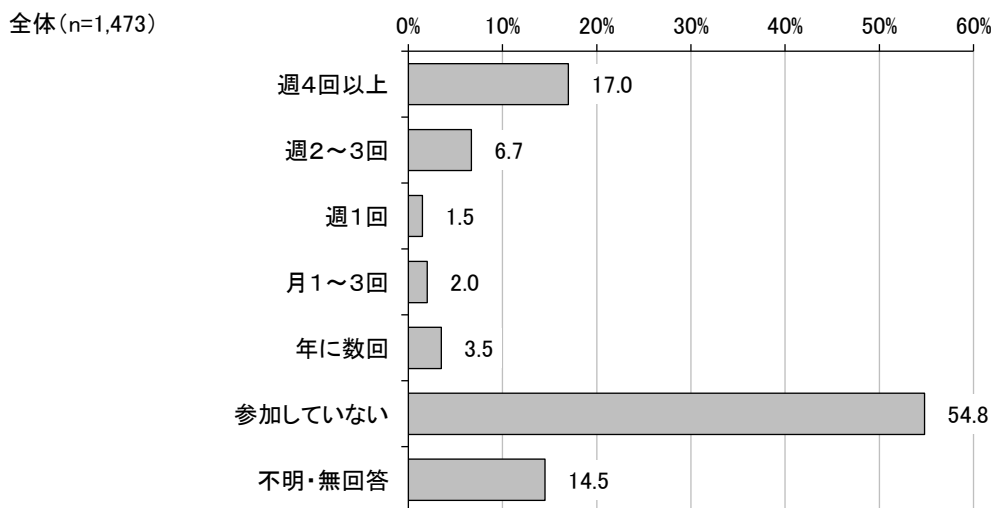
### ⑦町内会・自治会

町内会・自治会への参加状況についてみると、「参加していない」が 50.0%と最も多く、次いで「年に数回」が 29.1%、「月1～3回」が 3.3%となっています。



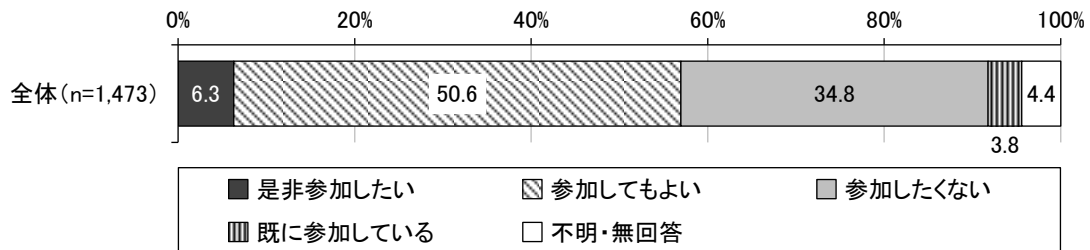
### ⑧収入のある仕事

収入のある仕事への参加状況についてみると、「参加していない」が 54.8%と最も多く、次いで「週4回以上」が 17.0%、「週2～3回」が 6.7%となっています。



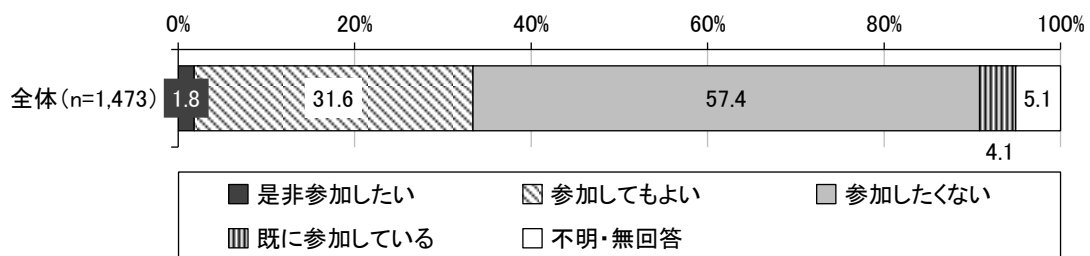
問6 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (1つに○)

健康づくり活動や趣味などの活動に参加者として参加してみたいかについてみると、「参加してもよい」が50.6%と最も多く、次いで「参加したくない」が34.8%、「是非参加したい」が6.3%となっています。



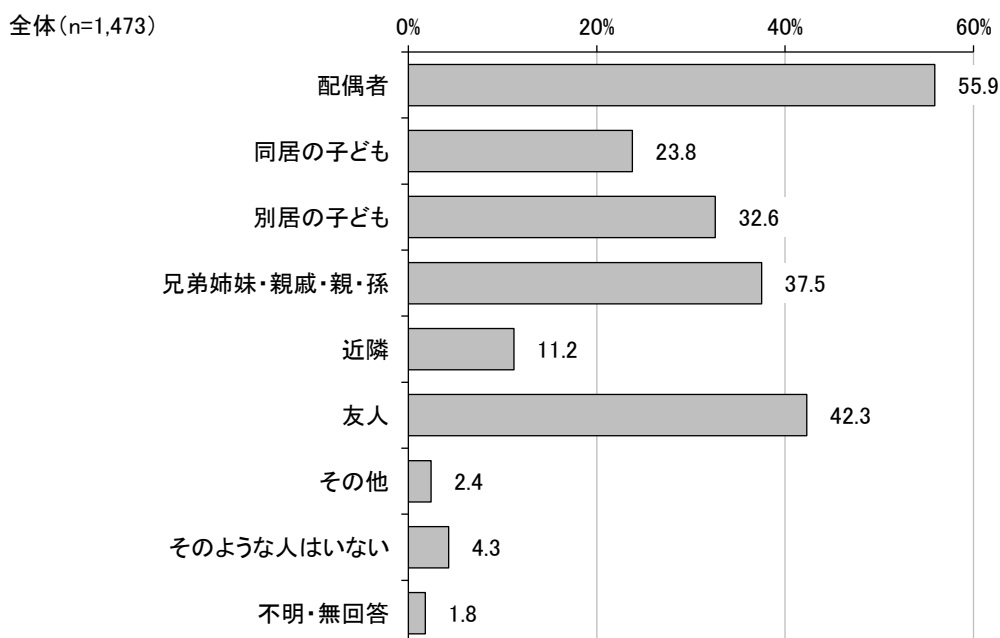
問6 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか (1つに○)

健康づくりや趣味などの活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいかについてみると、「参加したくない」が57.4%と最も多く、次いで「参加してもよい」が31.6%、「既に参加している」が4.1%となっています。



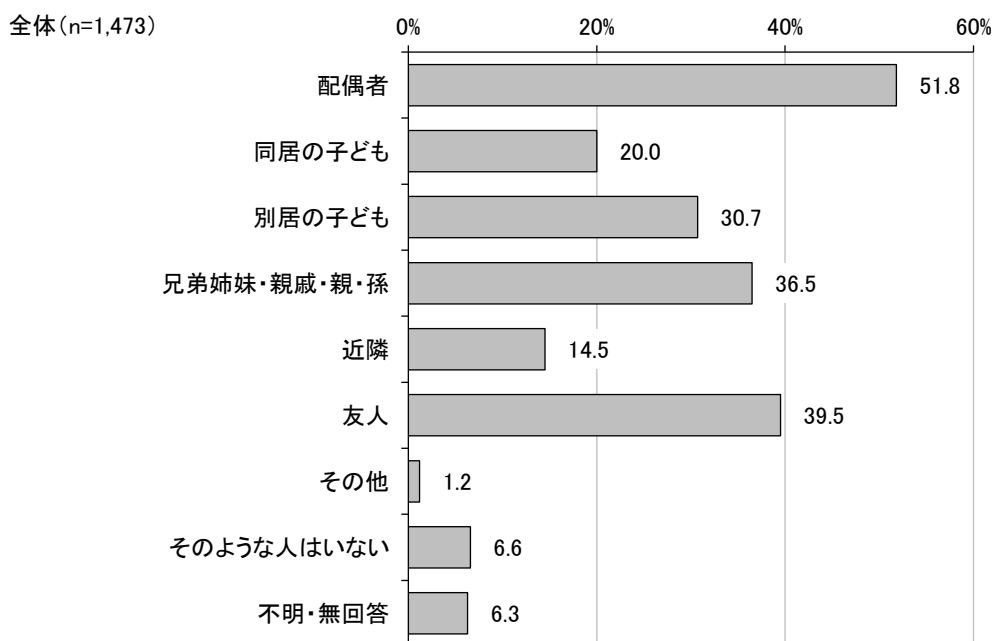
問7(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人をお教えてください(いくつでも)

あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人についてみると、「配偶者」が55.9%と最も多く、次いで「友人」が42.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が37.5%となっています。



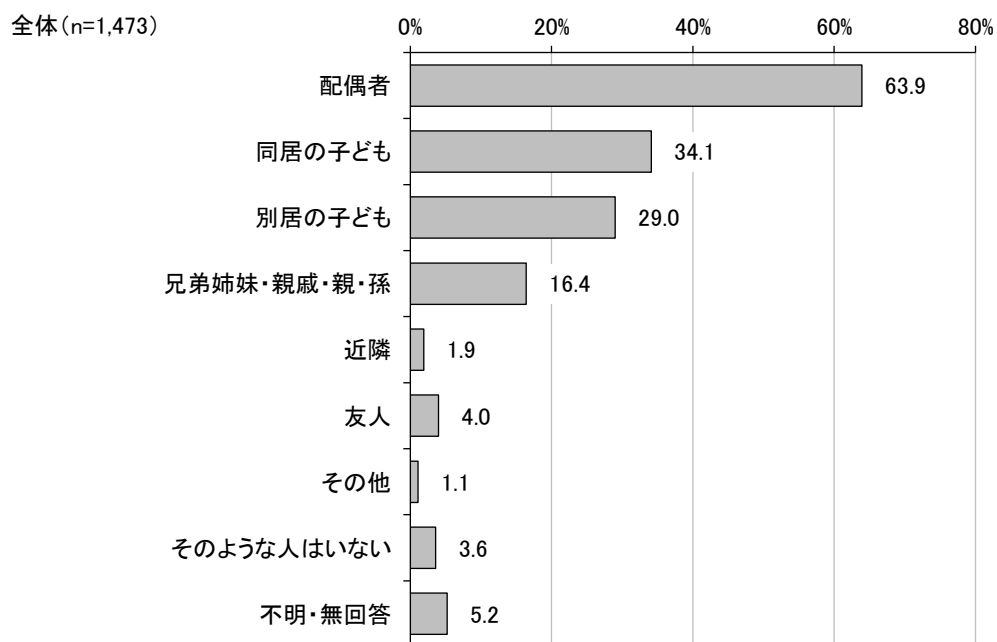
問7(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人をお教えてください(いくつでも)

あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人についてみると、「配偶者」が51.8%と最も多く、次いで「友人」が39.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が36.5%となっています。



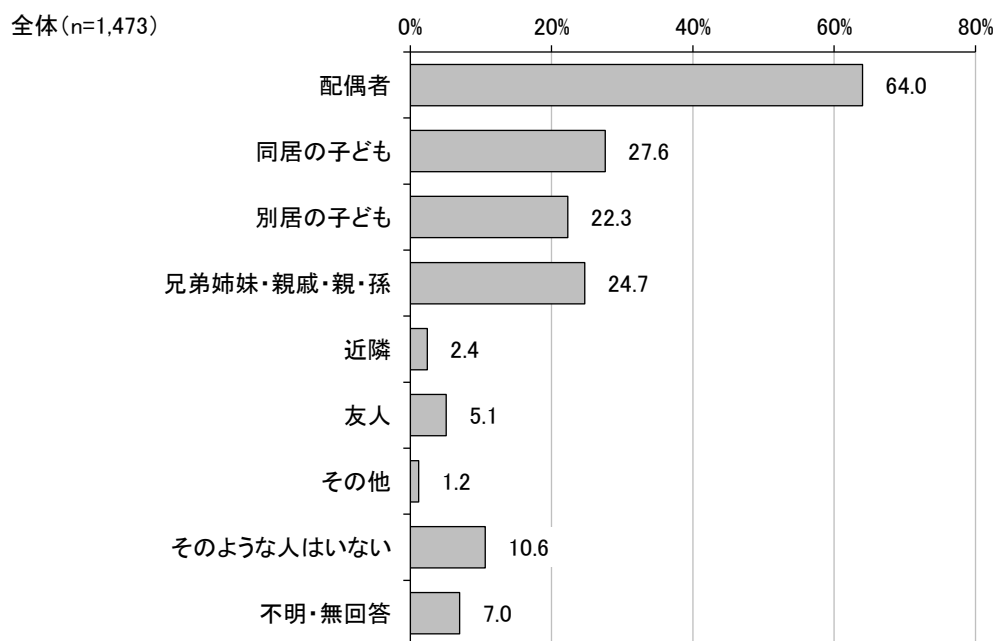
問7(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人をお教えてください(いくつでも)

看病や世話をしてくれる人についてみると、「配偶者」が63.9%と最も多く、次いで「同居の子ども」が34.1%、「別居の子ども」が29.0%となっています。



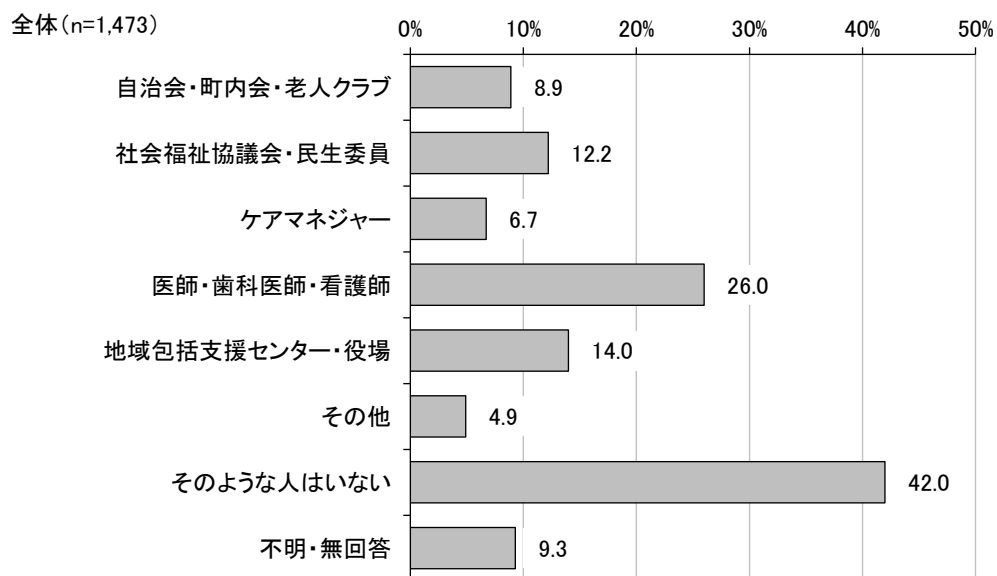
問7（4）反対に、看病や世話をししてあげる人をお教えてください（いくつでも）

看病や世話をししてあげる人についてみると、「配偶者」が64.0%と最も多く、次いで「同居の子ども」が27.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が24.7%となっています。



問7 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手をお教えてください  
(いくつでも)

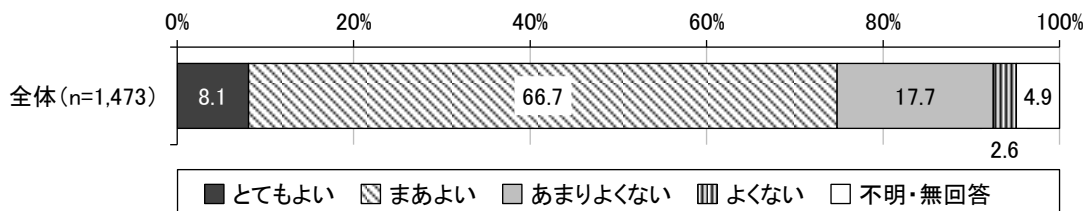
家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手についてみると、「そのような人はいない」が42.0%と最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が26.0%、「地域包括支援センター・役場」が14.0%となっています。





問8 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (1つに○)

現在の健康状態についてみると、「まあよい」が 66.7%と最も多く、次いで「あまりよくない」が 17.7%、「とてもよい」が 8.1%となっています。

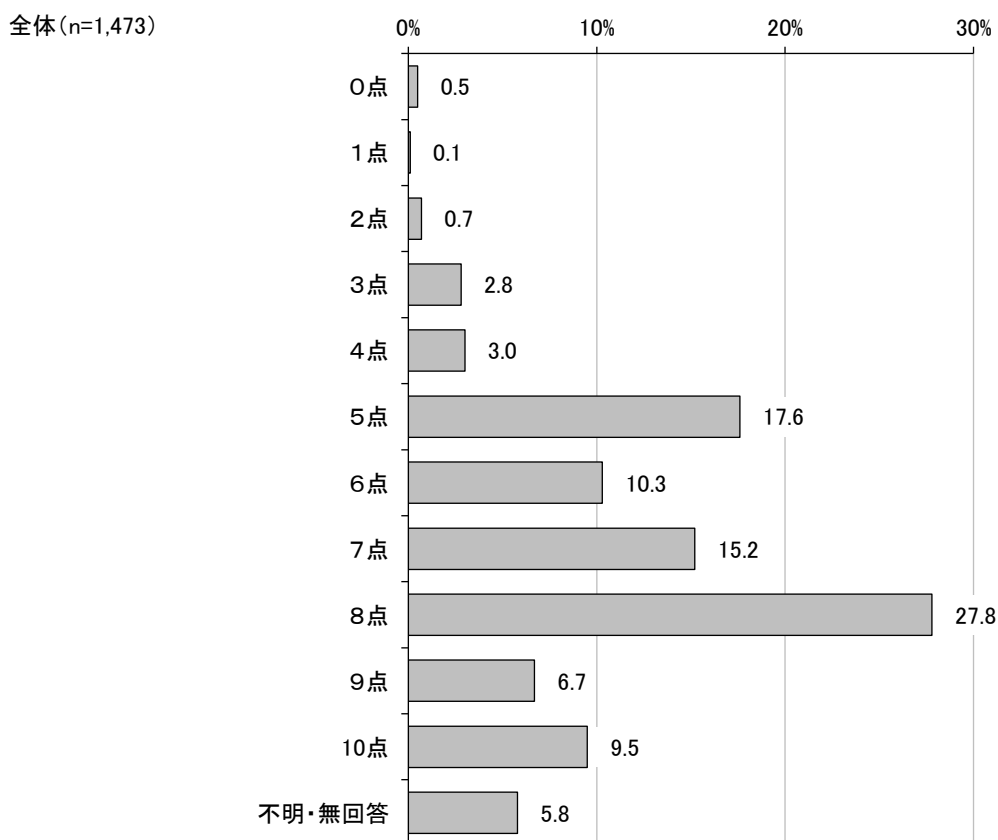


問8 (2) あなたは、現在どの程度幸せですか

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数に○をつけてください)

現在の幸せ度合についてみると、「8点」が 27.8%と最も多く、次いで「5点」が 17.6%、「7点」が 15.2%となっています。

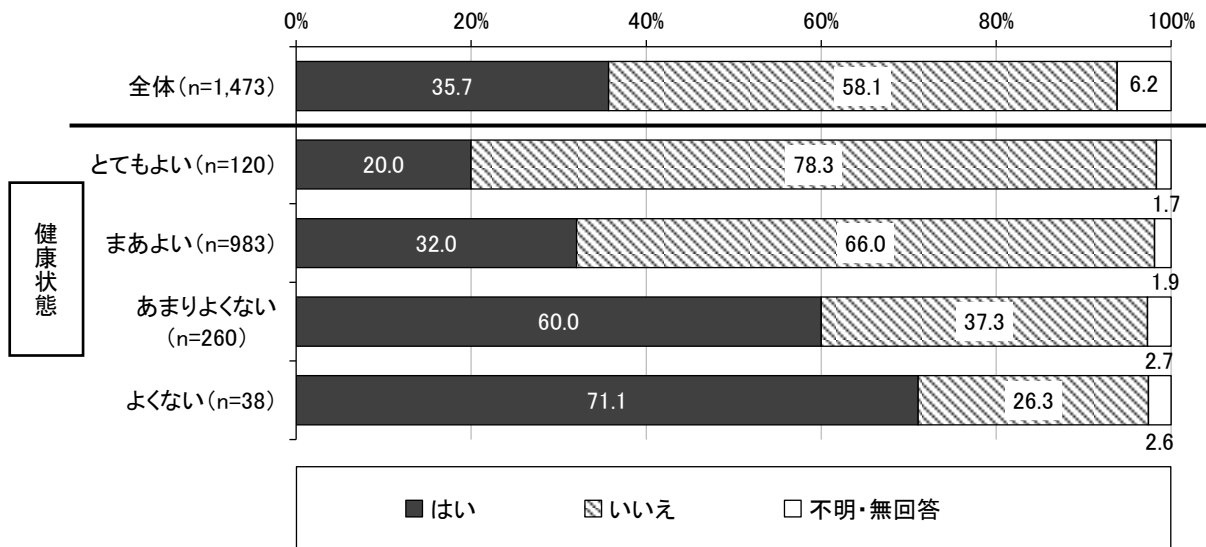
平均は、7.0点となっています。



問8 (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (1つに○)

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについてみると、「いいえ」が58.1%、「はい」が35.7%となっています。

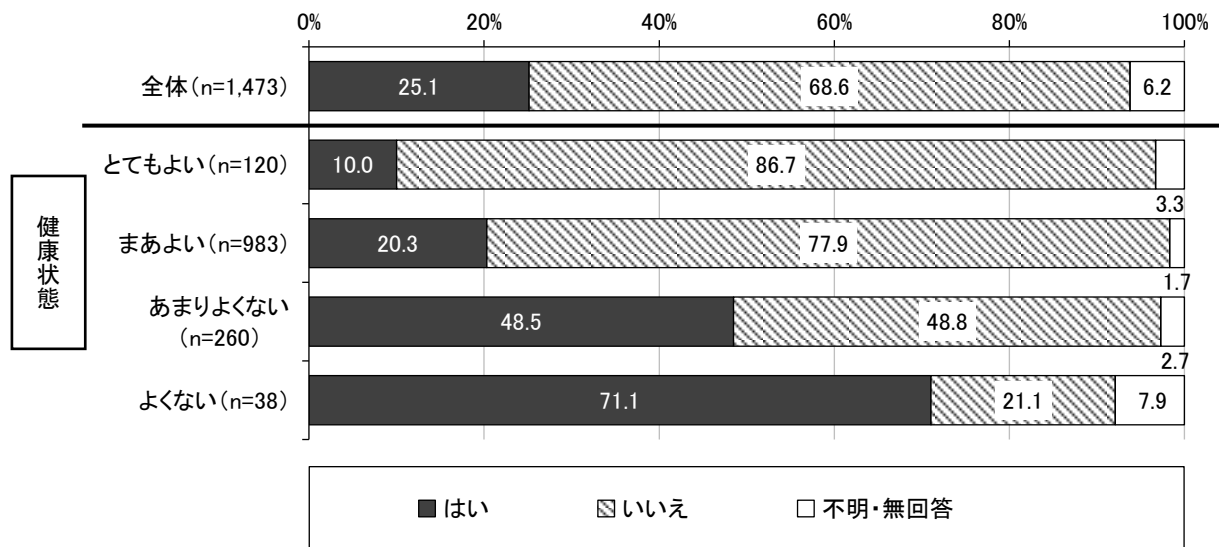
健康状態別で比較すると、健康状態が[よくない]ほど、「はい」が多い傾向にあります。



問8 (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (1つに○)

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについてみると、「いいえ」が68.6%、「はい」が25.1%となっています。

健康状態別で比較すると、健康状態が[よくない]ほど、「はい」が多い傾向にあります。

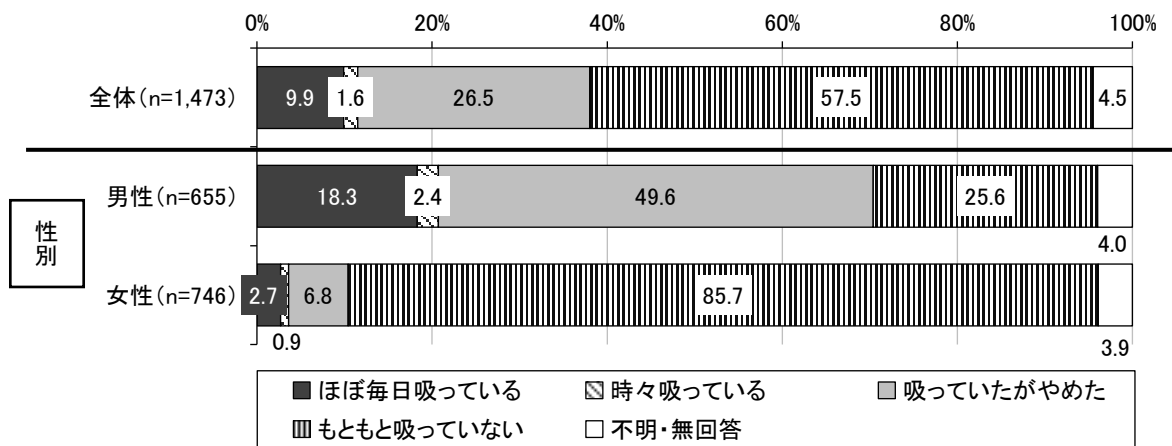


### 問8 (5) タバコは吸っていますか (1つに○)

喫煙状況についてみると、「もともと吸っていない」が 57.5%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が 26.5%、「ほぼ毎日吸っている」が 9.9%となっています。

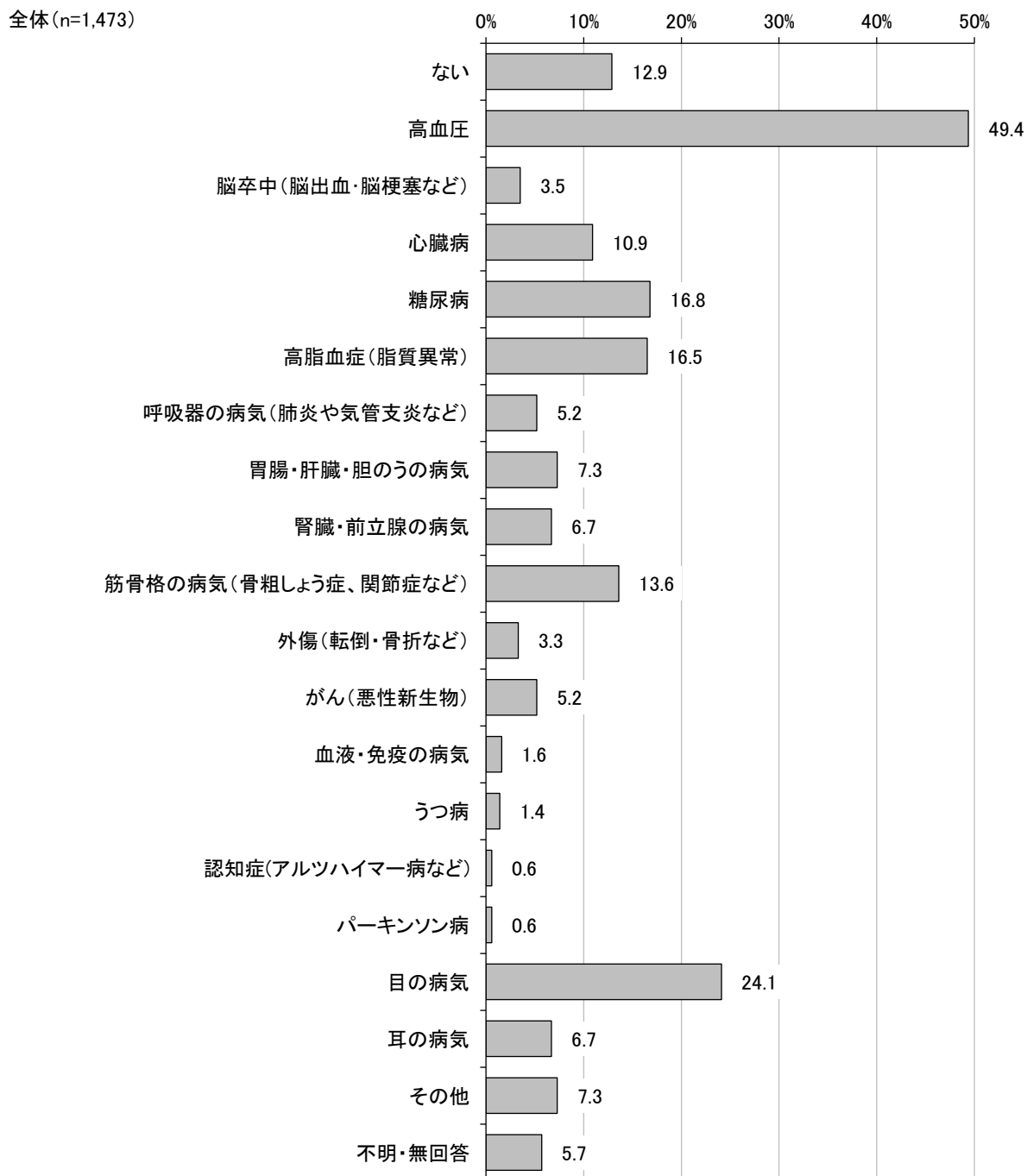
「吸っていたがやめた」と「もともと吸っていない」を合わせた『吸っていない』は 84.0%となっています。「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『吸っている』は 11.5%となっています。

性別で比較すると、男性で「吸っていたがやめた」が女性に比べて多くなっています。一方で、女性で「もともと吸っていない」が男性に比べて多くなっています。



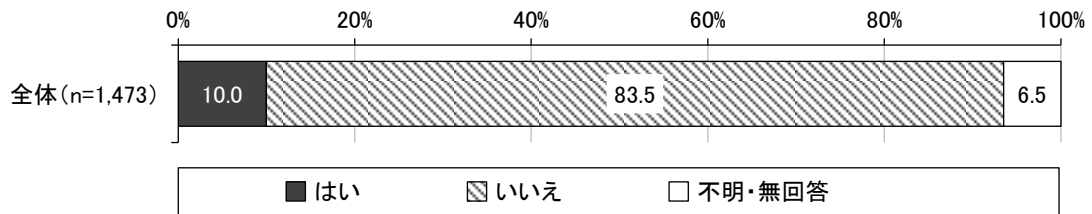
問8 (6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

現在治療中、または後遺症のある病気はあるかについてみると、「高血圧」が 49.4%と最も多く、次いで「目の病気」が 24.1%、「糖尿病」が 16.8%となっています。「ない」は 12.9%となっています。



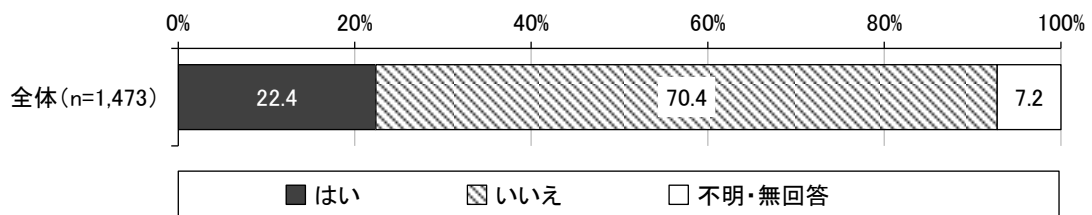
問9（1）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか（1つに○）

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについてみると、「いいえ」が 83.5%、「はい」が 10.0%となっています。



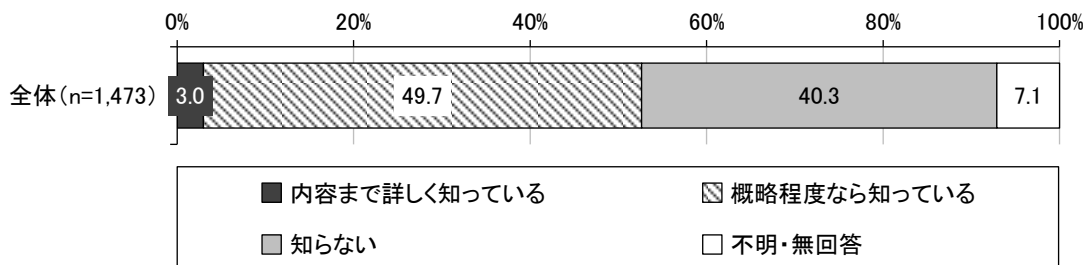
問9（2）認知症に関する相談窓口を知っていますか（1つに○）

認知症に関する相談窓口を知っているかについてみると、「いいえ」が 70.4%、「はい」が 22.4%となっています。



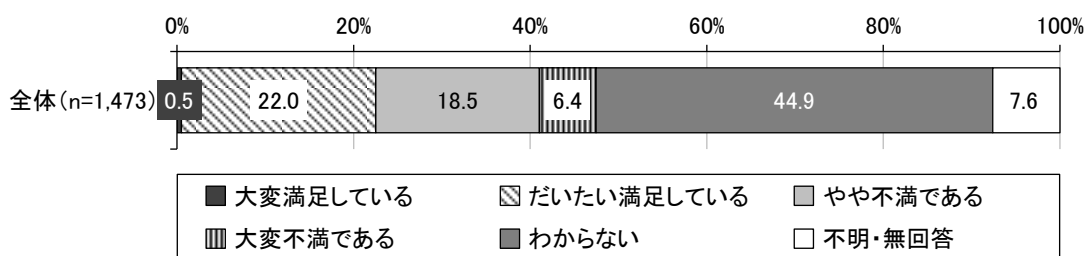
問 10（1）介護保険制度の仕組みなどについて、どの程度知っていますか（1つに○）

介護保険制度の知識についてみると、「概略程度なら知っている」が 49.7%と最も多く、次いで「知らない」が 40.3%、「内容まで詳しく知っている」が 3.0%となっています。



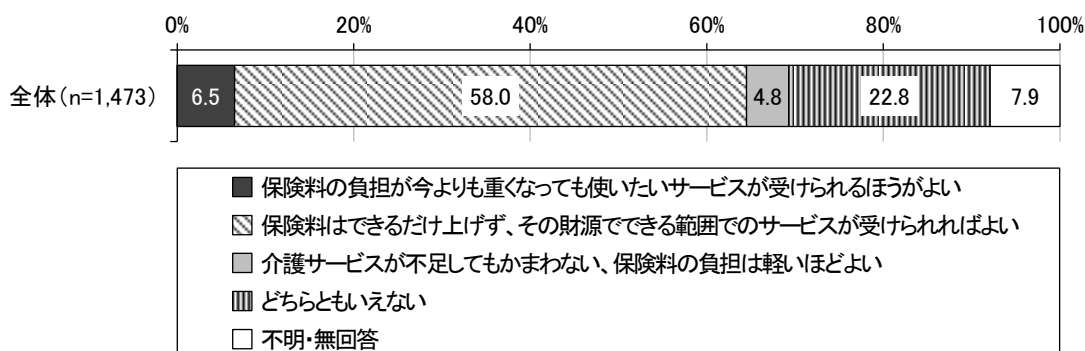
問 10（2）現行の介護保険制度に対して、あなたはどのように感じますか（1つに○）

現行の介護保険制度に対してどのように感じるかについてみると、「わからない」が 44.9%と最も多く、次いで「だいたい満足している」が 22.0%、「やや不満である」が 18.5%となっています。



問 10（3）介護保険料と介護サービスについて、お考えに近いものはどれですか（1つに○）

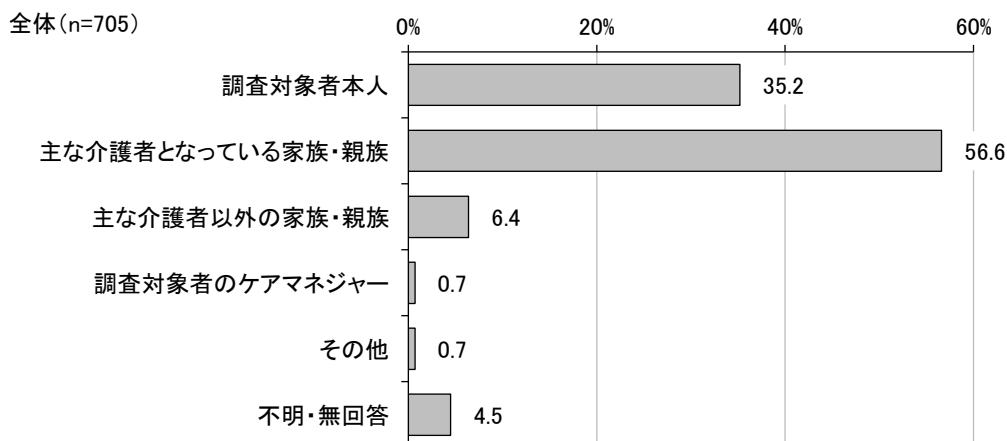
介護保険料と介護サービスの考えについてみると、「保険料はできるだけ上げず、その財源でできる範囲でのサービスが受けられればよい」が 58.0%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が 22.8%、「保険料の負担が今よりも重くなっても使いたいサービスが受けられるほうがよい」が 6.5%となっています。



## 6 在宅介護実態調査の分析

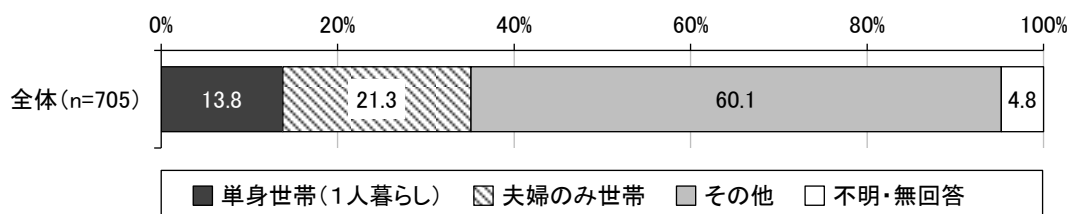
### A票 問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（いくつでも）

調査票の回答者についてみると、「主な介護者となっている家族・親族」が 56.6%と最も多く、次いで「調査対象者本人」が 35.2%、「主な介護者以外の家族・親族」が 6.4%となっています。



### A票 問2 世帯類型について、ご回答ください（1つに〇）

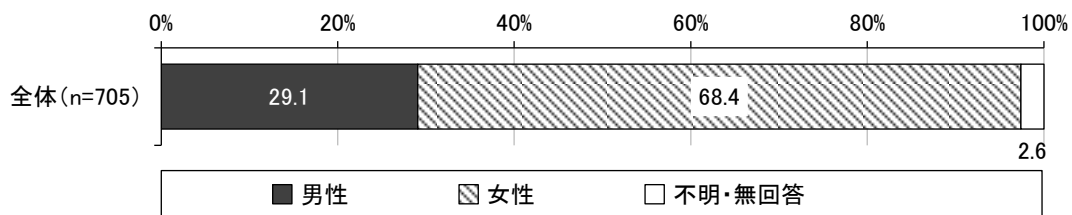
世帯類型についてみると、「その他」をのぞくと「夫婦のみ世帯」が 21.3%と最も多く、次いで、「単身世帯(1人暮らし)」が 13.8%となっています。





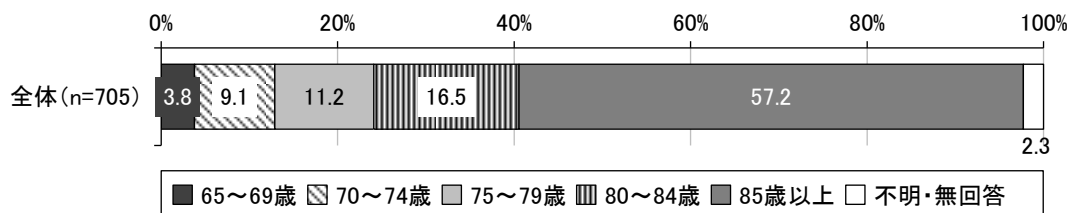
A票 問3 ご本人の性別について、ご回答ください（1つに○）

性別についてみると、「女性」が68.4%、「男性」が29.1%となっています。



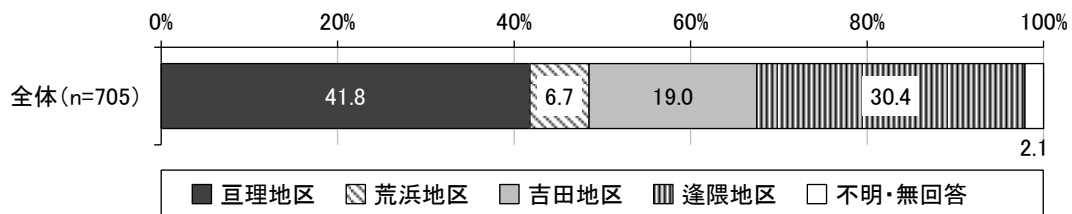
A票 問4 ご本人の年齢について、ご回答ください（1つに○）

年齢についてみると、「85歳以上」が57.2%と最も多く、次いで「80～84歳」が16.5%、「75～79歳」が11.2%となっています。



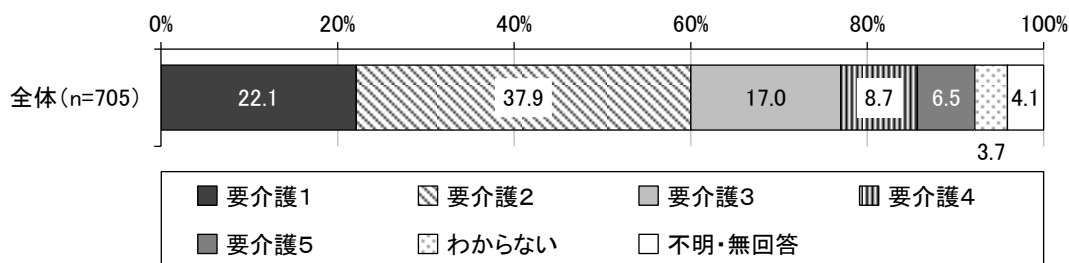
A票 問5 ご本人は現在どの地区にお住まいですか（1つに○）

お住まいの地区についてみると、「亘理地区」が41.8%と最も多く、次いで「逢隈地区」が30.4%、「吉田地区」が19.0%となっています。



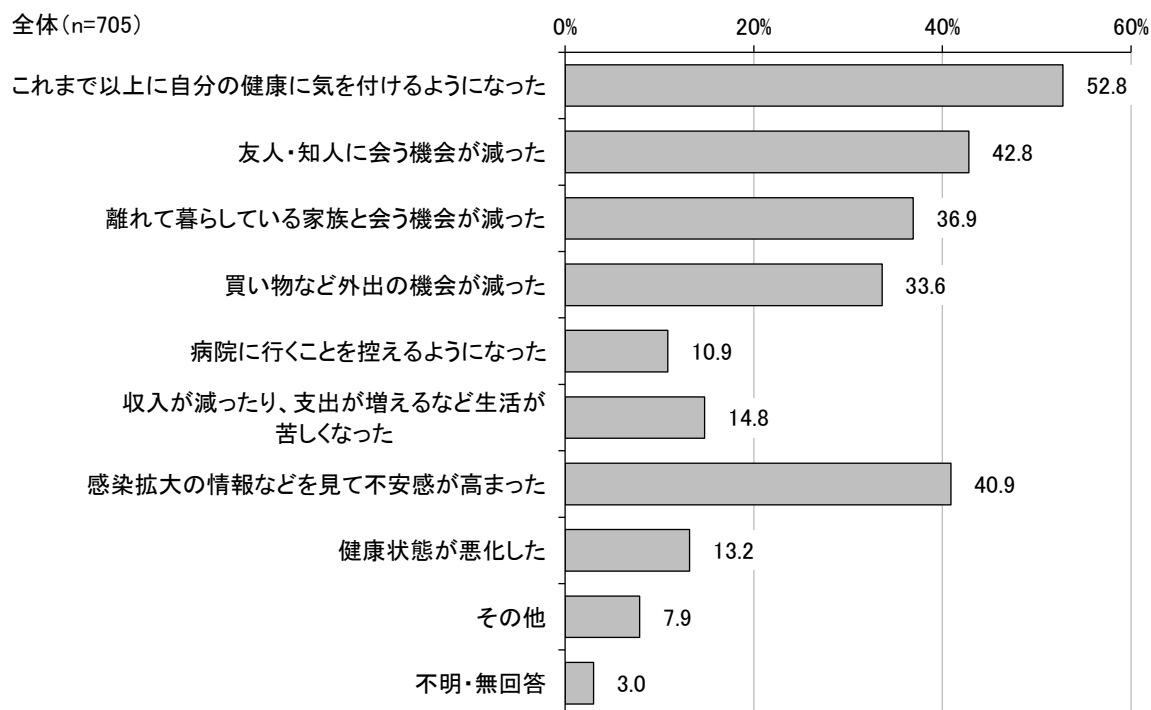
## A票 問6 ご本人の要介護度について、ご回答ください（1つに〇）

要介護度についてみると、「要介護2」が 37.9%と最も多く、次いで「要介護1」が 22.1%、「要介護3」が 17.0%となっています。



## A票 問7 新型コロナウイルス感染症の流行以降、あなたの生活や心身の状態はどう変わりましたか（いくつでも）

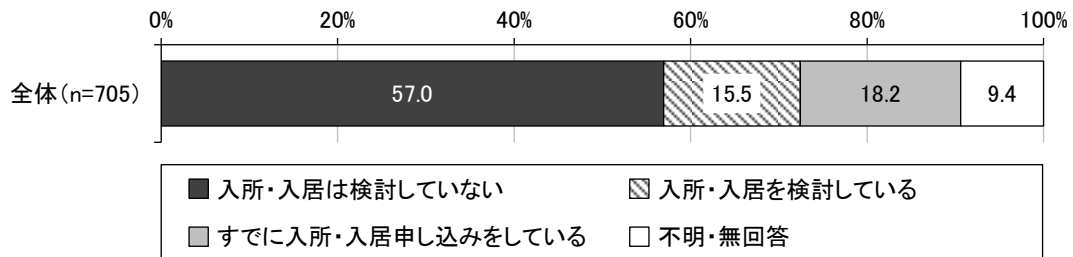
新型コロナウイルス感染症の流行以降、生活や心身の状態がどう変わったかについてみると、「これまで以上に自分の健康に気を付けるようになった」が 52.8%と最も多く、次いで「友人・知人に会う機会が減った」が 42.8%、「感染拡大の情報などを見て不安感が高まった」が 40.9%となっています。



A票 問8 現時点での、施設等<sup>※</sup>への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つに○）

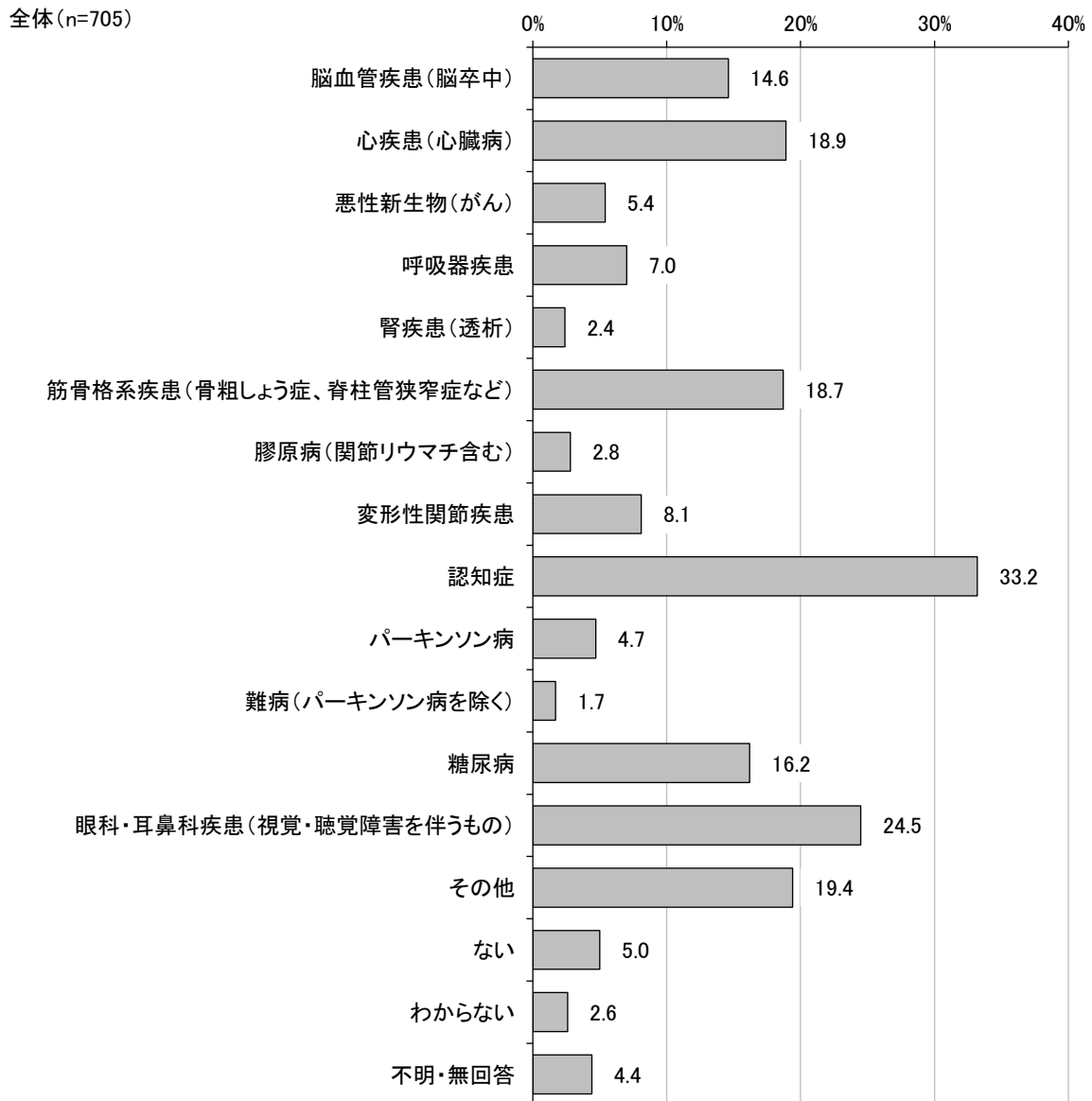
※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

施設等への入所・入居の検討状況についてみると、「入所・入居は検討していない」が57.0%と最も多く、次いで「すでに入所・入居申し込みをしている」が18.2%、「入所・入居を検討している」が15.5%となっています。



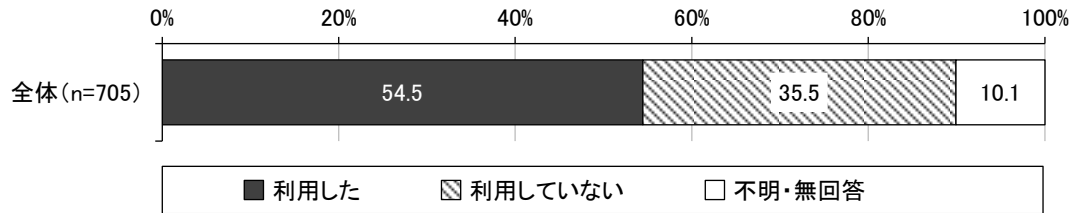
A票 問9 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください  
（いくつでも）

現在抱えている傷病についてみると、「その他」をのぞくと「認知症」が 33.2%と最も多く、次いで「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」が 24.5%、「心疾患(心臓病)」が 18.9%となっています。



A票 問10 令和4年12月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか(1つに○)

介護保険サービスの利用状況についてみると、「利用した」が54.5%、「利用していない」が35.5%となっています。

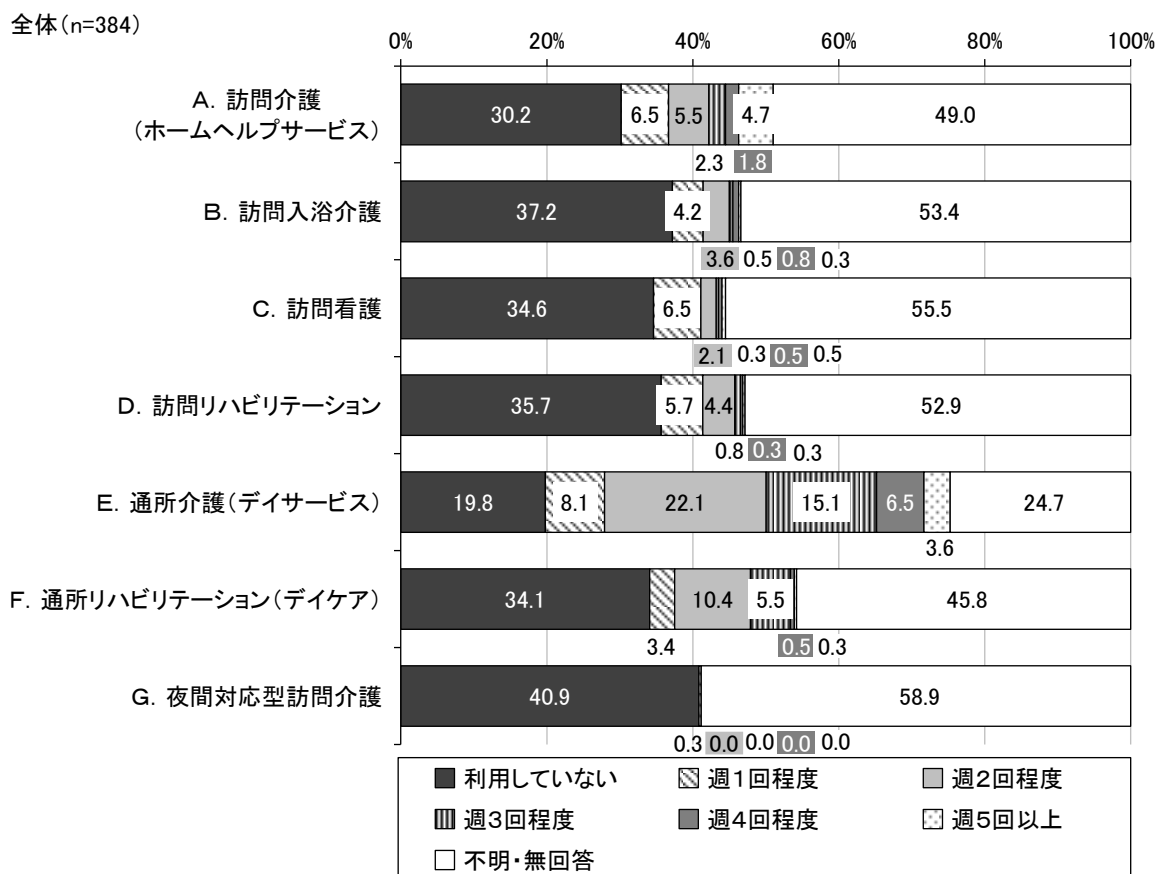


【問10で「利用した」と回答した方のみ】

A票 問11 以下の介護保険サービスについて、令和4年12月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0回、利用していない）」を選択してください（それぞれ1つに○）

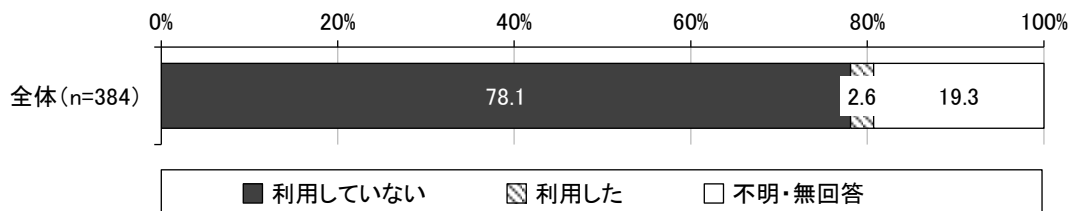
※夜間対応型訪問介護とは、PM6時～AM8時の時間帯に定期巡回での訪問や随時連絡を受けて利用者の自宅を訪問して介護等を行うことを指します。

介護保険サービスの利用状況についてみると、【E. 通所介護(デイサービス)】以外は「利用していない」が最も多くなっています。【E. 通所介護(デイサービス)】は、「週2回程度」が最も多くなっています。



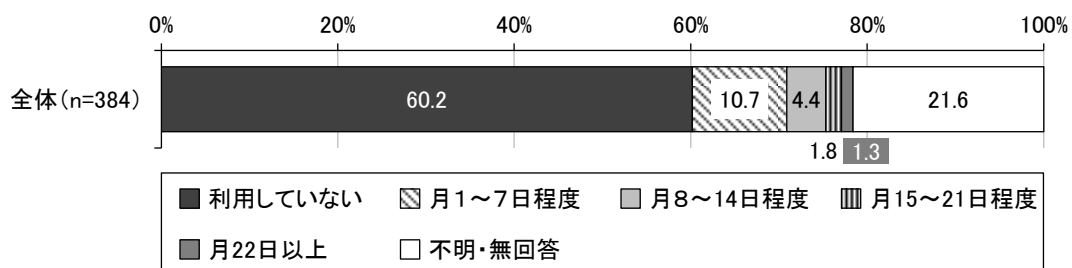
## H. 小規模多機能型居宅介護

小規模多機能型居宅介護における介護保険サービスの利用状況についてみると、「利用していない」が78.1%、「利用した」が2.6%となっています。



## I. ショートステイ

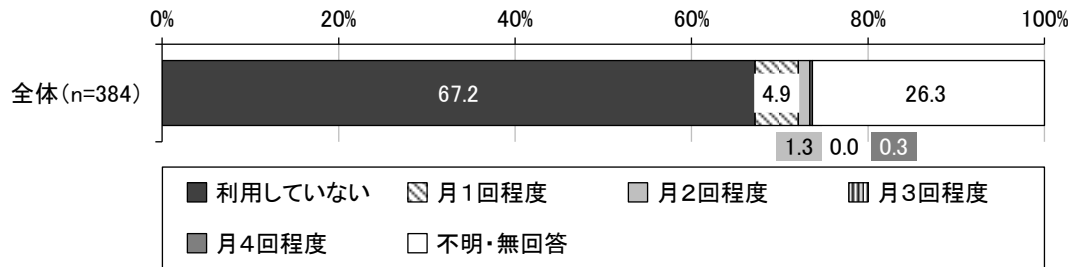
ショートステイにおける介護保険サービスの利用状況についてみると、「利用していない」が60.2%と最も多く、次いで「月1～7日程度」が10.7%、「月8～14日程度」が4.4%となっています。



## J. 居宅療養管理指導

※要介護状態となった場合でも自宅で自立した生活が送れるよう、医師、歯科医師、薬剤師、栄養管理士等が通院することが困難な方の自宅に訪問して介護方法や栄養指導等を行うことを指します。

居宅療養管理指導における介護保険サービスの利用状況についてみると、「利用していない」が67.2%と最も多く、次いで「月1回程度」が4.9%、「月2回程度」が1.3%となっています。

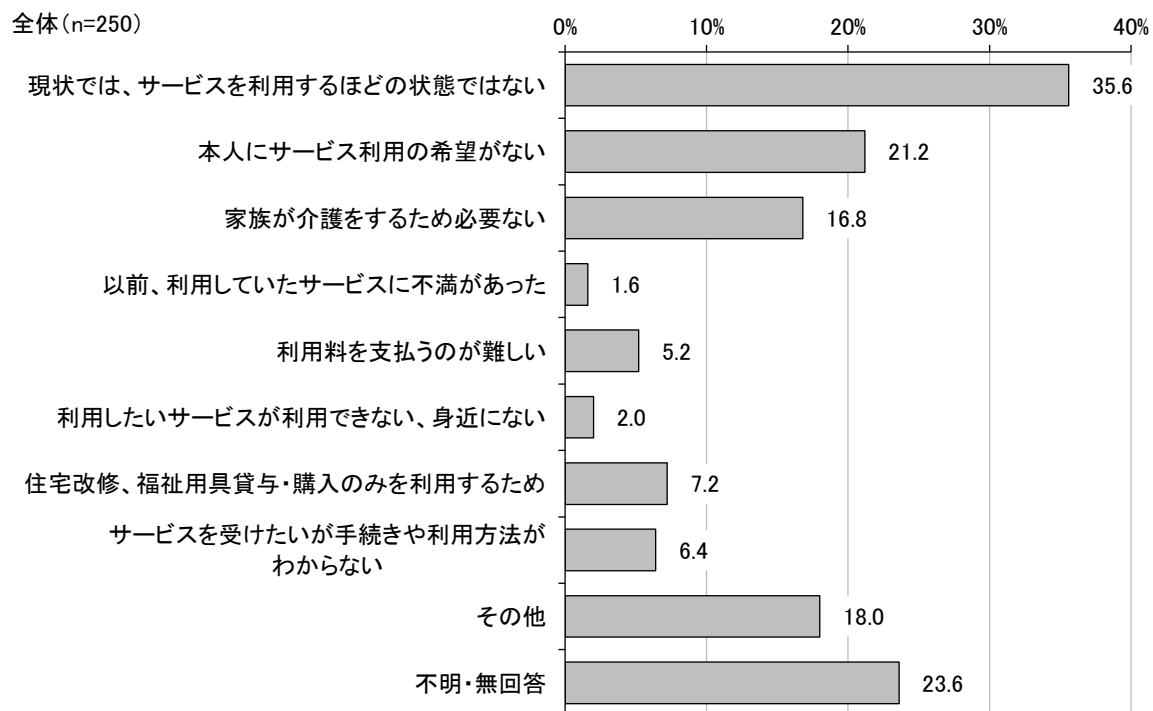




【問10で「利用していない」と回答した方のみ】

A票 問12 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（いくつでも）

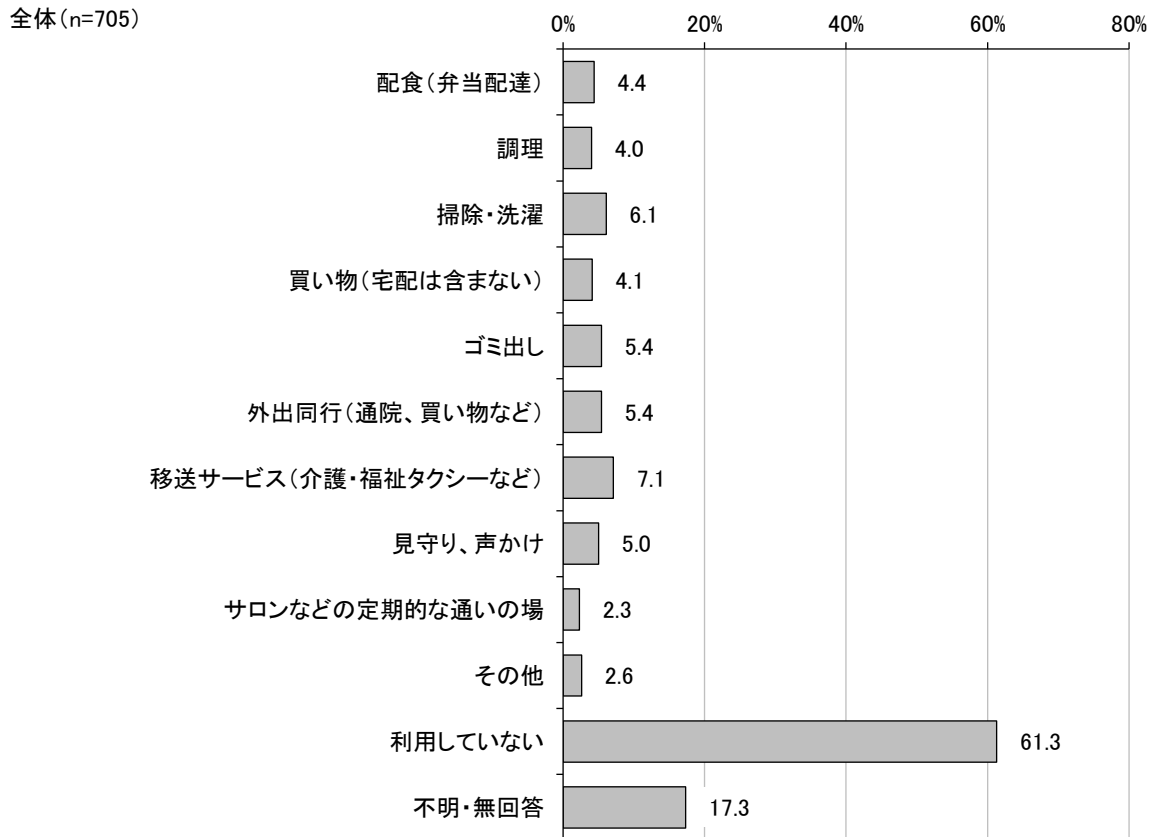
介護保険サービスを利用していない理由についてみると、「その他」をのぞくと「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が35.6%と最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が21.2%、「家族が介護をするため必要ない」が16.8%となっています。



A票 問 13 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービス※について、  
ご回答ください（いくつでも）

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

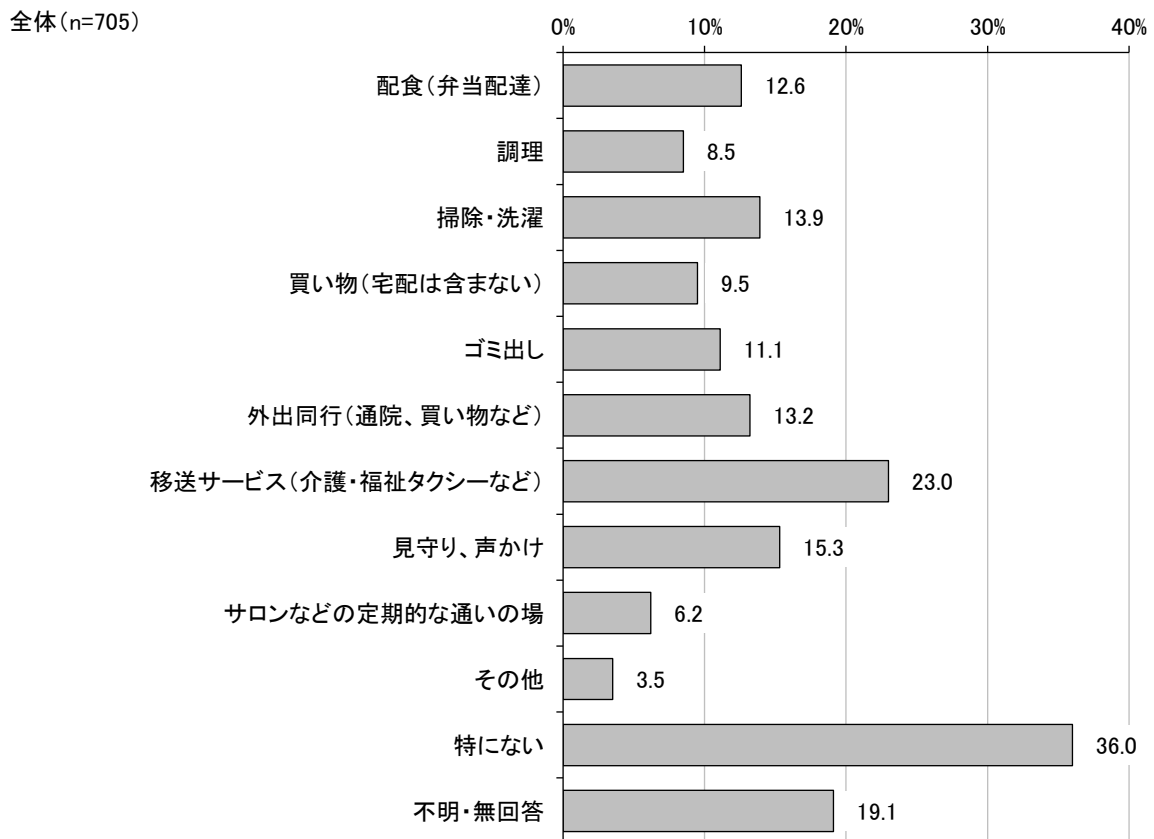
利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについてみると、「利用していない」が 61.3%と最も多く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシーなど)」が 7.1%、「掃除・洗濯」が 6.1%となっています。



A票 問 14 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス※(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む) について、ご回答ください (いくつでも)

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

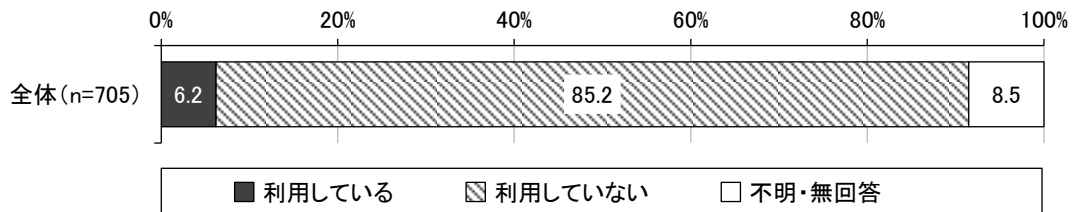
今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについてみると、「特にない」が 36.0%と最も多く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が 23.0%、「見守り、声かけ」が 15.3%となっています。



A票 問15 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療※を利用していますか  
（1つに○）

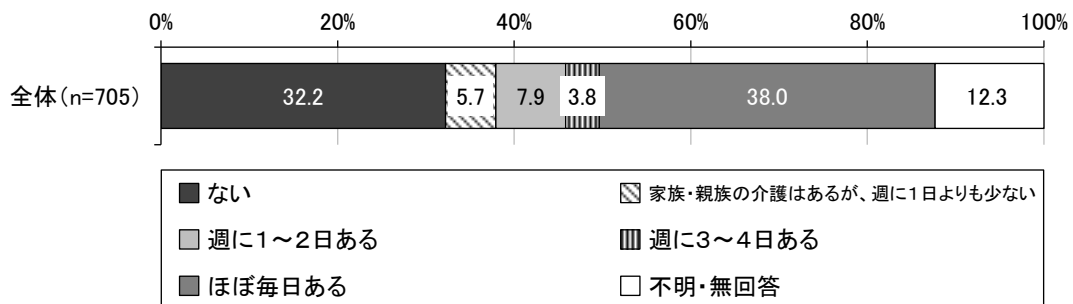
※ 医師が定期的に患者の自宅へ行き、診療することを指し、訪問歯科診療や居宅療養管理指導などは含みません。

訪問診療の利用状況についてみると、「利用していない」が85.2%、「利用している」が6.2%となっています。



A票 問16 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族などからの介護を含む）（1つに○）

家族や親族の方からの介護の頻度についてみると、「ほぼ毎日ある」が38.0%と最も多く、次いで「ない」が32.2%、「週に1～2日ある」が7.9%となっています。

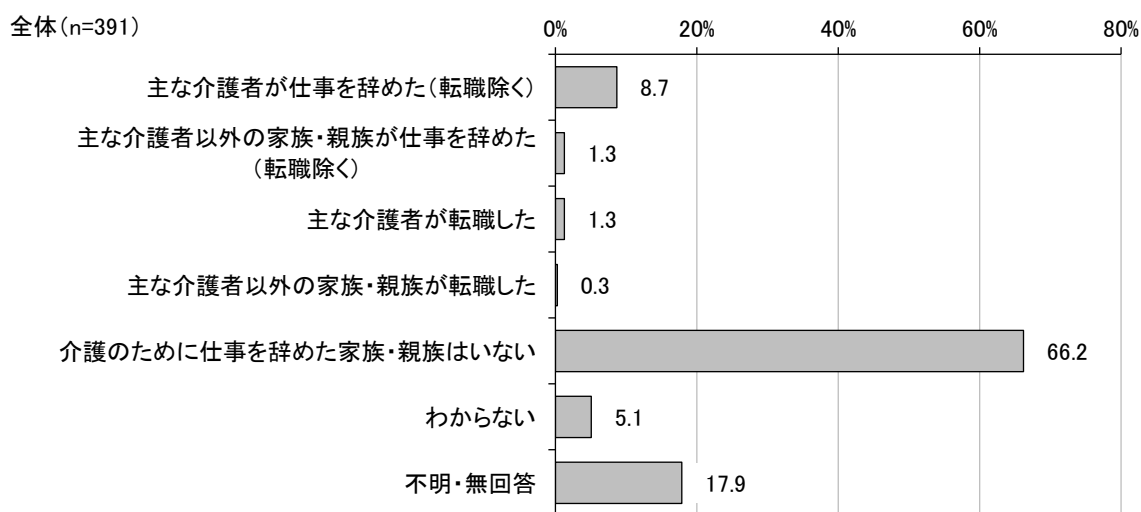


**【B票の回答について、A票 問 16 で「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」「ほぼ毎日ある」と回答した方のみ】**

**B票 問 1** ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方※はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（いくつでも）

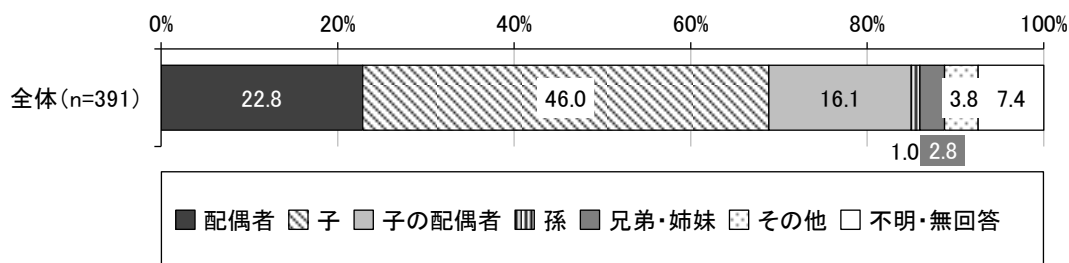
※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

介護を主な理由として過去1年の間に仕事を辞めた方がいるかについてみると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が66.2%と最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が8.7%、「わからない」が5.1%となっています。



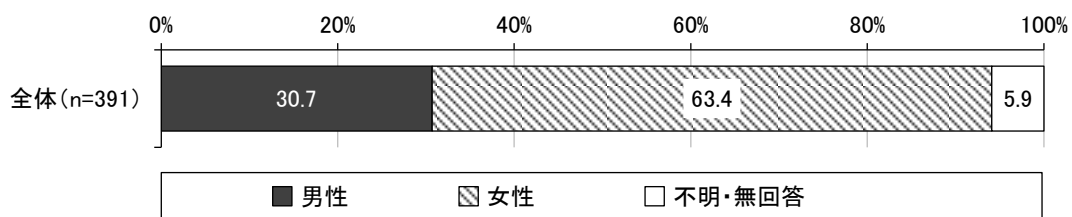
**B票 問 2** 主な介護者の方は、どなたですか（1つに○）

主な介護者の方についてみると、「子」が46.0%と最も多く、次いで「配偶者」が22.8%、「子の配偶者」が16.1%となっています。



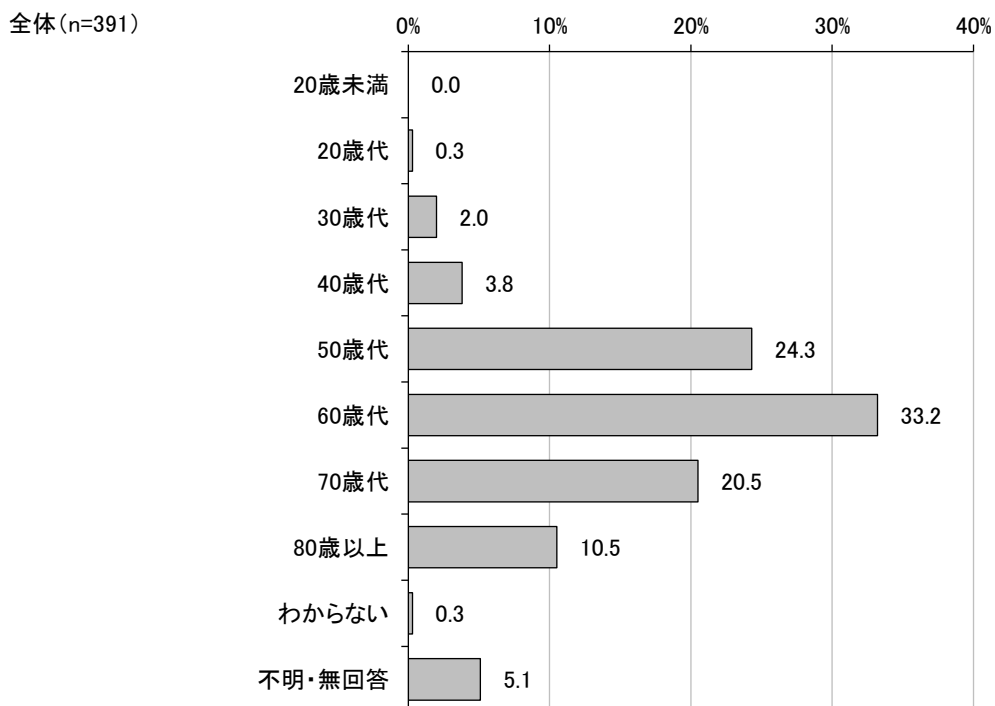
### B票 問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つに○）

主な介護者の方の性別についてみると、「女性」が63.4%、「男性」が30.7%となっています。



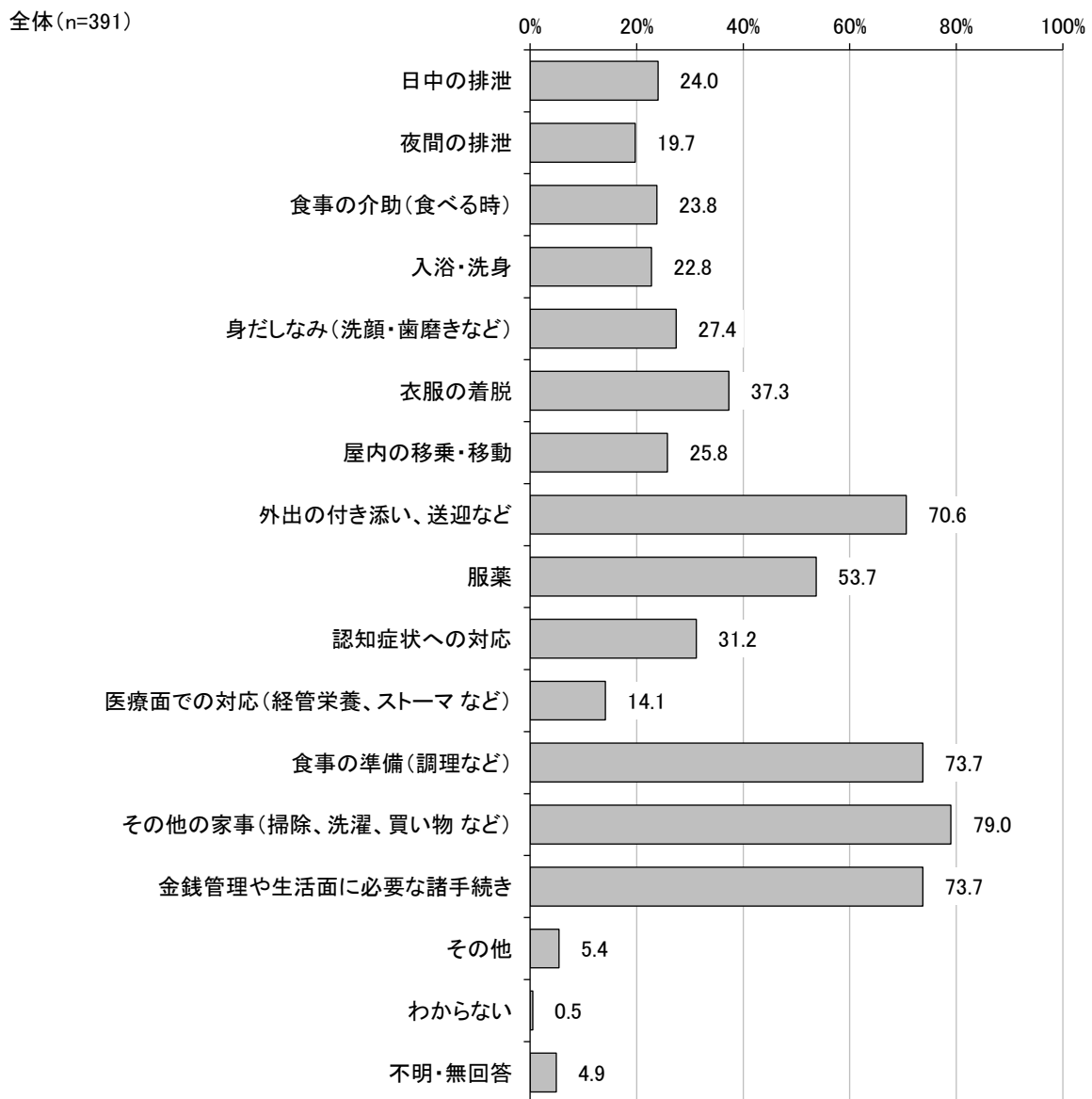
### B票 問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つに○）

主な介護者の方の年齢についてみると、「60歳代」が33.2%と最も多く、次いで「50歳代」が24.3%、「70歳代」が20.5%となっています。



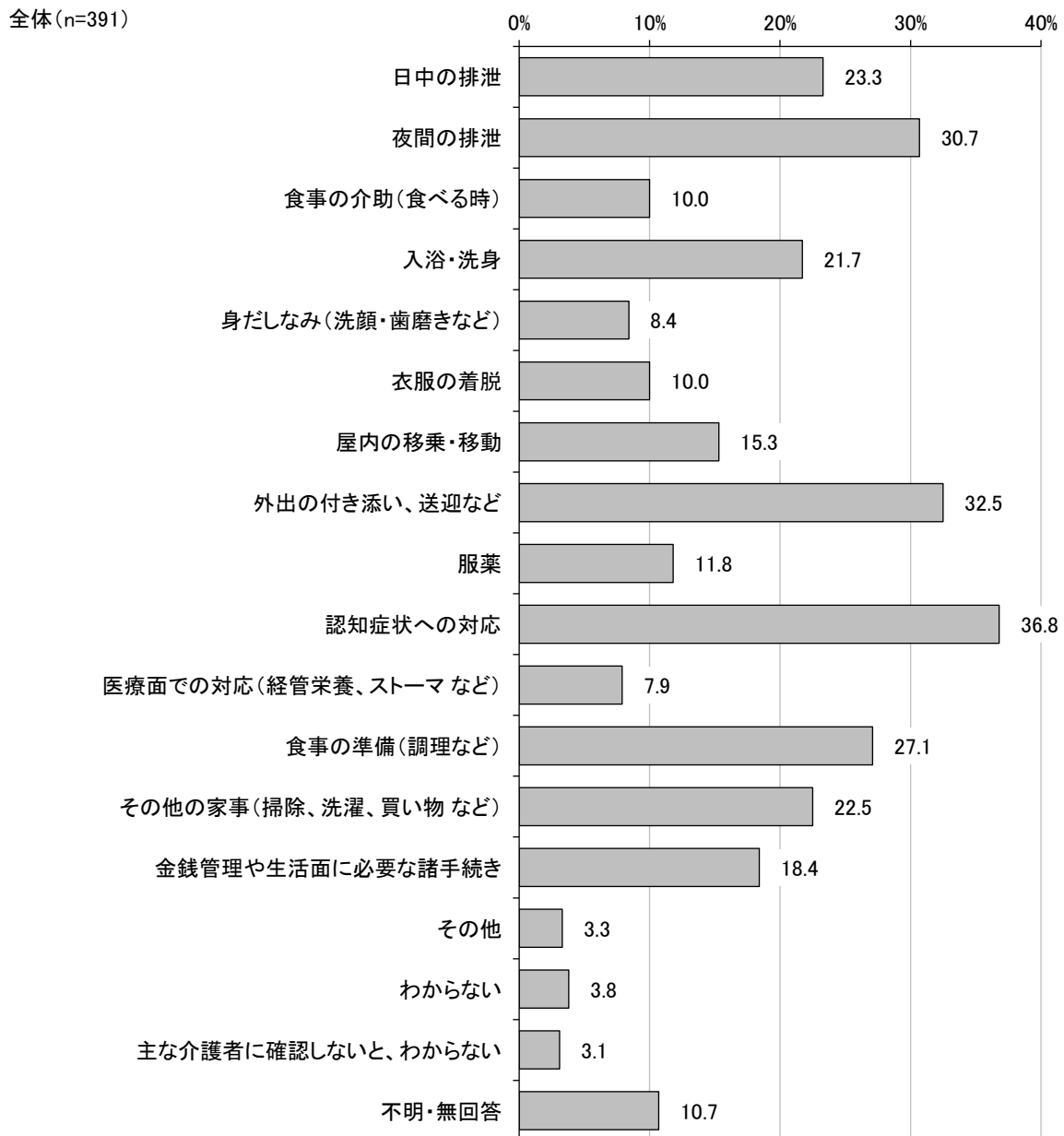
B票 問5 現在、主な介護者の方が行っている介護などについて、ご回答ください  
(いくつでも)

主な介護者の方が行っている介護についてみると、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物など)」が 79.0%と最も多く、次いで「食事の準備(調理など)」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 73.7%となっています。



**B票 問6** 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護などについて、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つ以内で選んで○）

主な介護者の方が不安に感じる介護についてみると、「認知症状への対応」が 36.8%と最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎など」が 32.5%、「夜間の排泄」が 30.7%となっています。

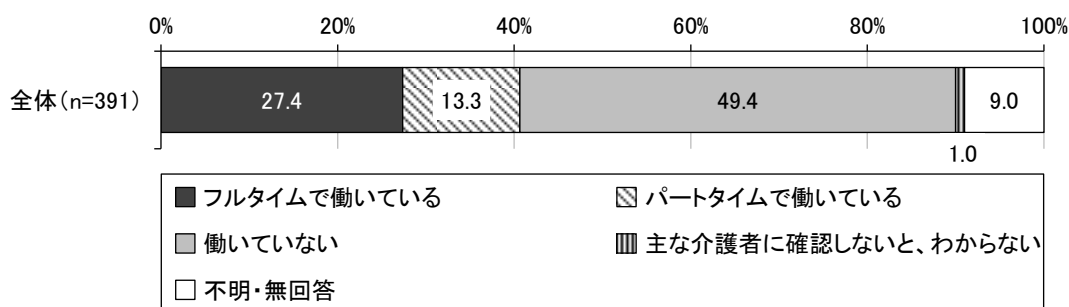




**B票 問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つに○）**

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」の方を含みます。自営業・フリーランスなどの場合も、就労時間・日数などから「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

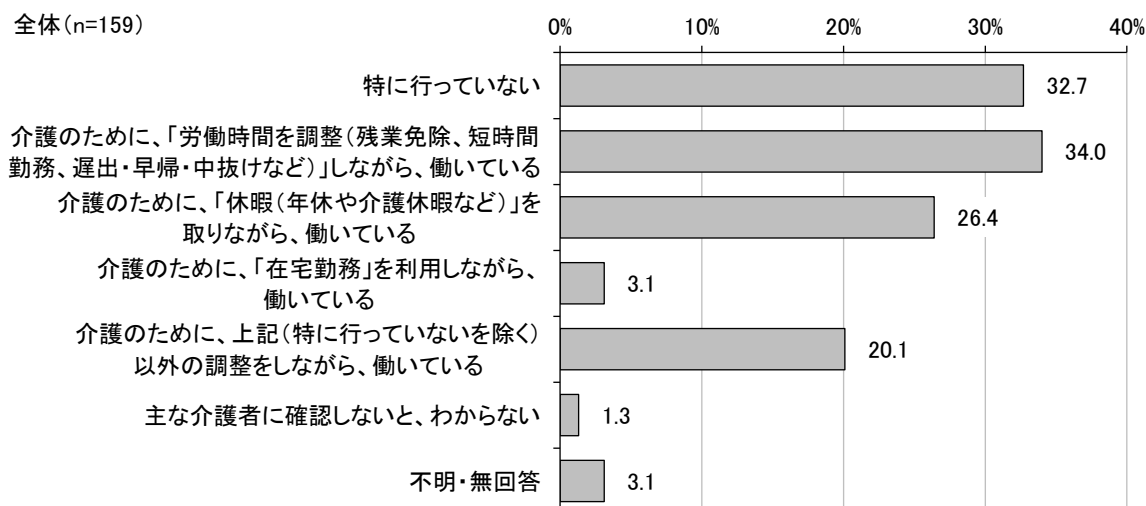
主な介護者の方の現在の勤務形態についてみると、「働いていない」が 49.4%と最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が 27.4%、「パートタイム※で働いている」が 13.3%となっています。



**【「B票 問7」で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方のみ】**

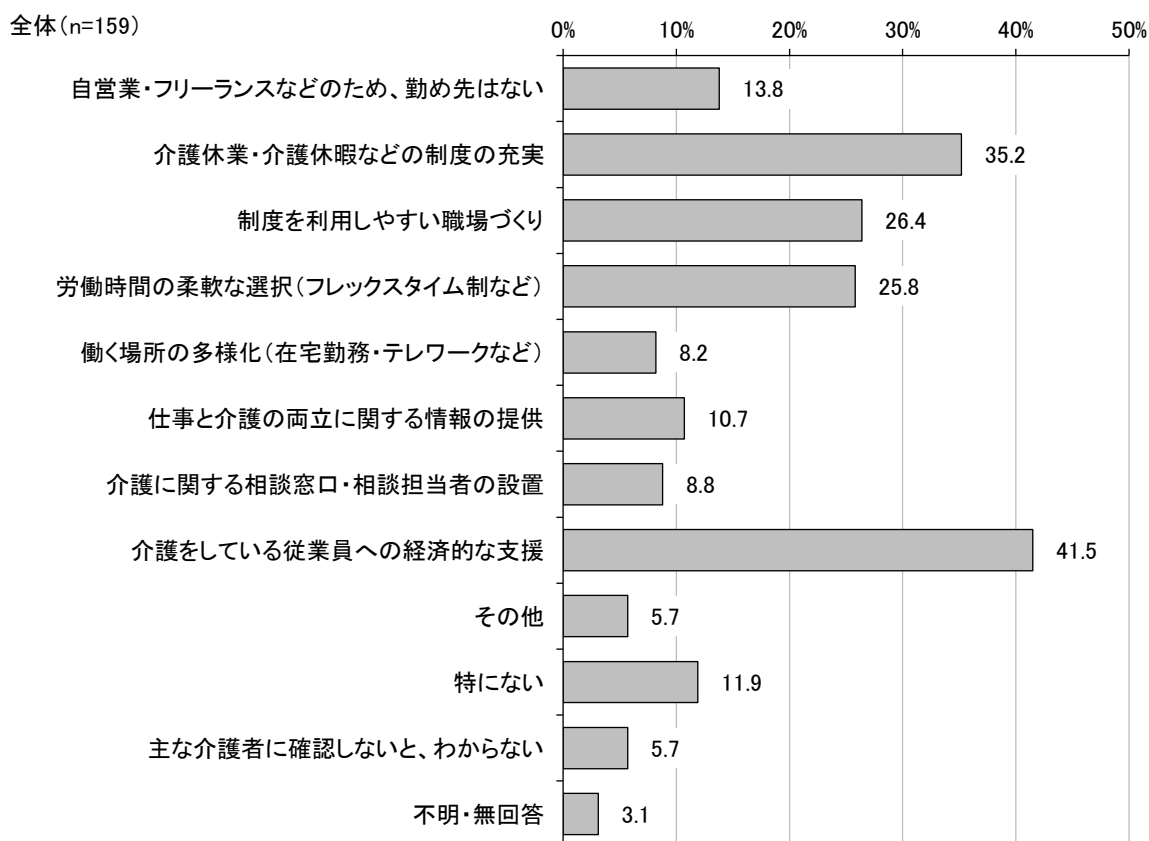
**B票 問8 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整などを行っていますか（いくつでも）**

主な介護者の方の働き方の調整についてみると、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）」しながら、働いている」が 34.0%と最も多く、次いで「特に行っていない」が 32.7%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇など）」を取りながら、働いている」が 26.4%となっています。



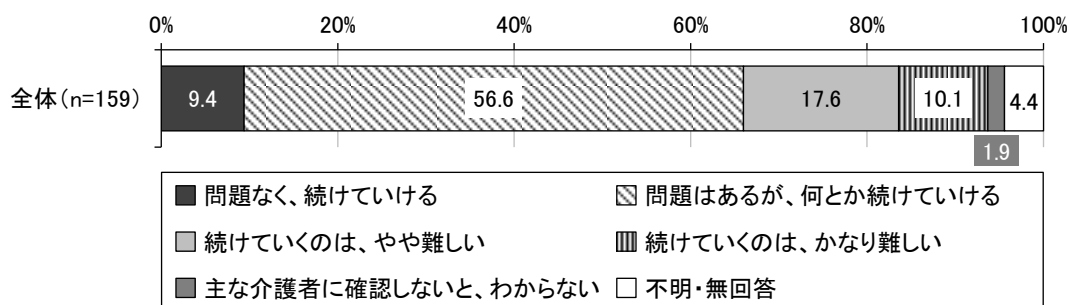
【「B票 問7」で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方のみ】  
 B票 問9 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つ以内で選んで○）

仕事と介護の両立に効果がある支援についてみると、「介護をしている従業員への経済的な支援」が41.5%と最も多く、次いで「介護休業・介護休暇などの制度の充実」が35.2%、「制度を利用しやすい職場づくり」が26.4%となっています。



【「B票 問7」で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方のみ】  
 B票 問10 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つに○）

働きながら介護を継続できるかについてみると、「問題はあるが、何とか続けていける」が56.6%と最も多く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が17.6%、「続けていくのは、かなり難しい」が10.1%となっています。



## 7 介護人材実態調査の分析

問1 貴施設等に所属する介護職員について、お伺いします。

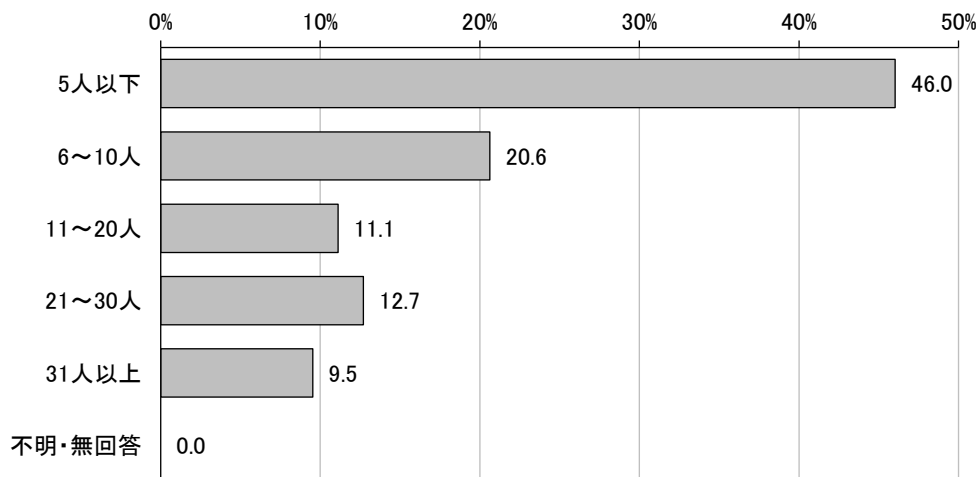
問1-1 職員総数を、お答えください。(数値を記入)

正規職員についてみると、「5人以下」が46.0%と最も多く、次いで「6～10人」が20.6%、「21～30人」が12.7%となっています。

非正規職員についてみると、「5人以下」が46.0%と最も多く、次いで「6～10人」が22.2%、「11～20人」が19.0%となっています。

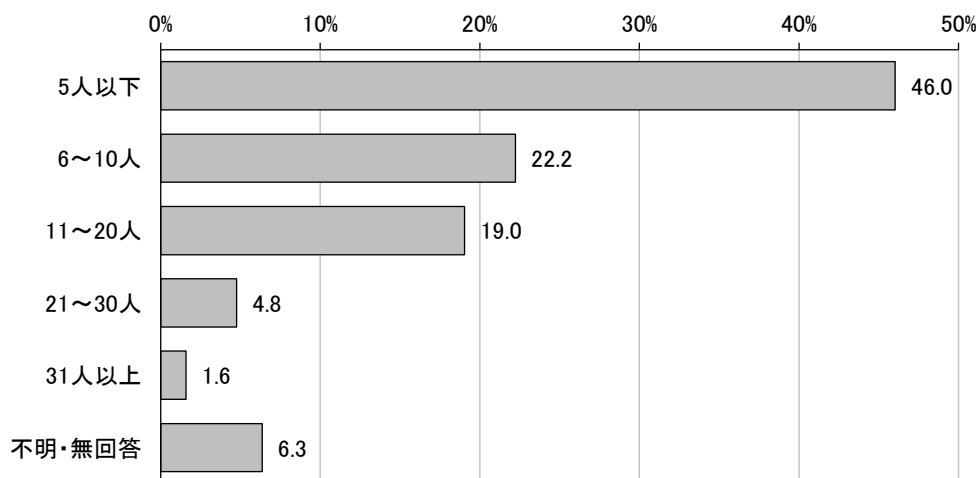
正規職員

全体(n=63)



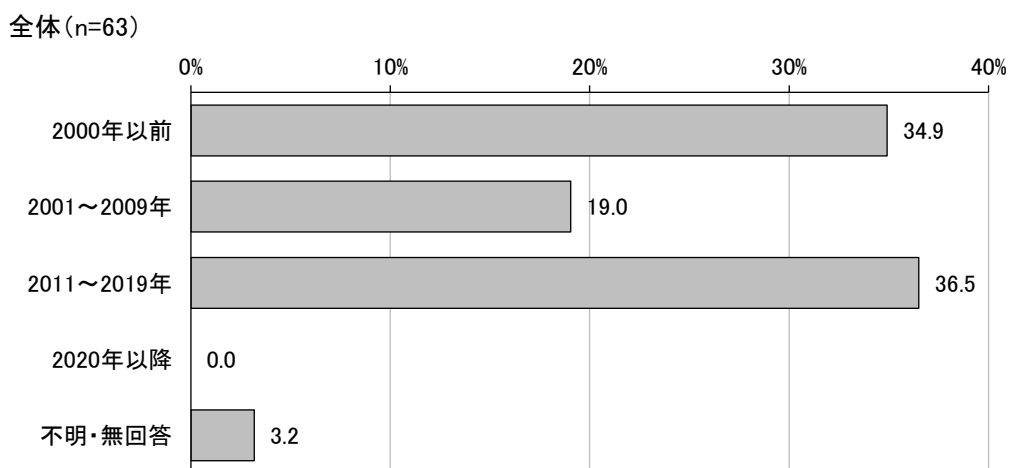
非正規職員

全体(n=63)



問1-2 貴事業所等の開設時期について、お答えください。(数値を記入)

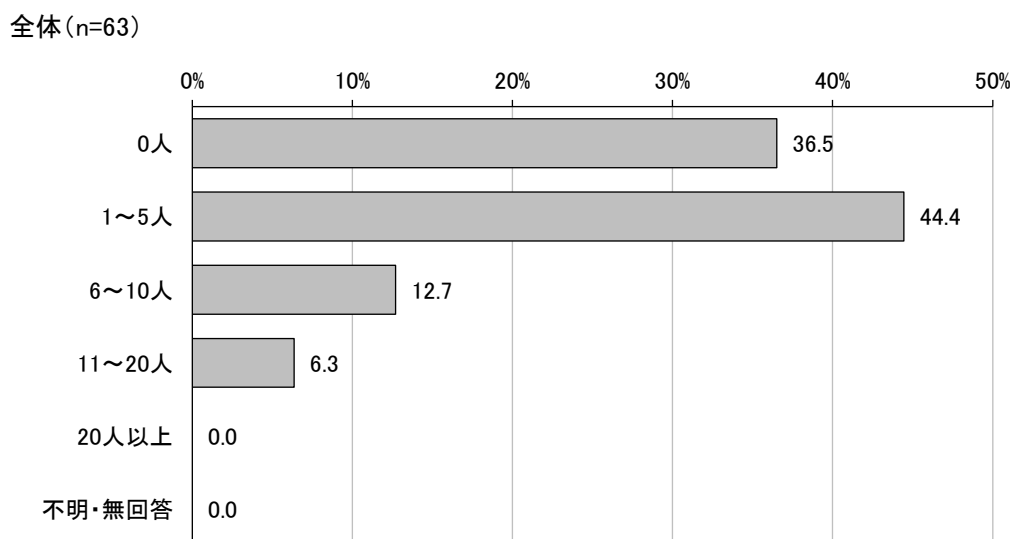
開設時期についてみると、「2011～2019年」が36.5%と最も多く、次いで「2000年以前」が34.9%、「2001～2009年」が19.0%となっています。



問1-3 過去1年間の職員の採用者数と離職者数をお答えください。(数値を記入)

採用者数

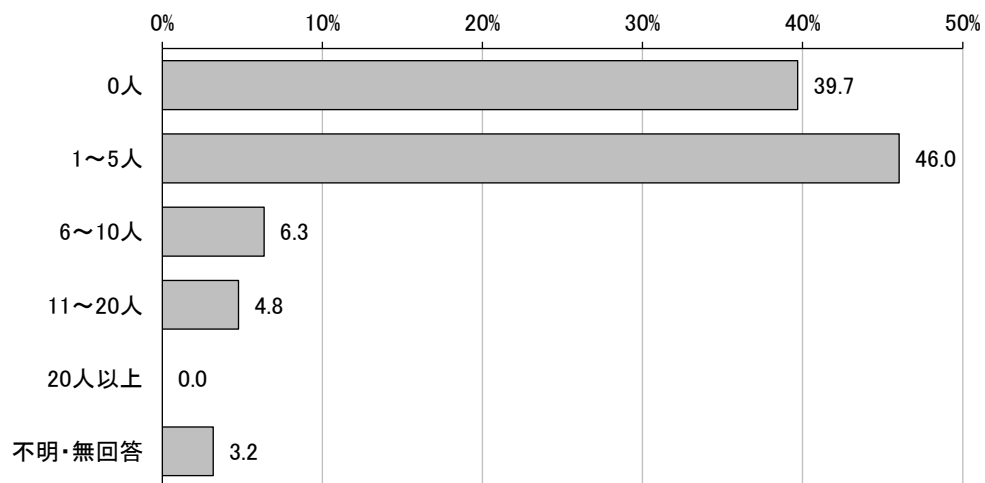
採用者数についてみると、「1～5人」が44.4%と最も多く、次いで「0人」が36.5%、「6～10人」が12.7%となっています。



## 離職者数

離職者数についてみると、「1～5人」46.0%と最も多く、次いで「0人」が39.7%、「6～10人」が6.3%となっています。

全体(n=63)



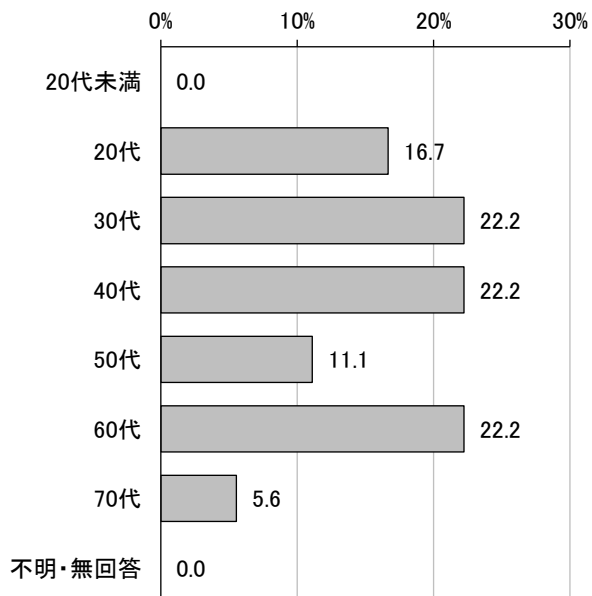
問1-4 採用者・離職者について、正規・非正規別、性別、年代別に人数をお答えください。(数値を記入)

採用者数

性別・年代別の採用者については以下のとおりです。

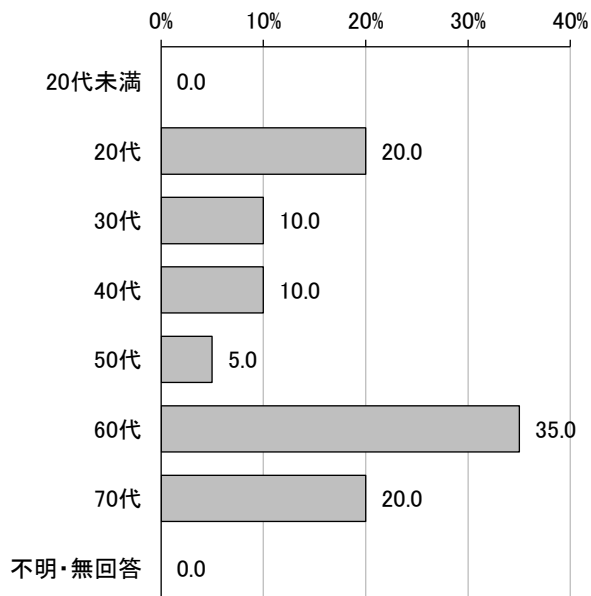
男性（正規職員）

合計：36人



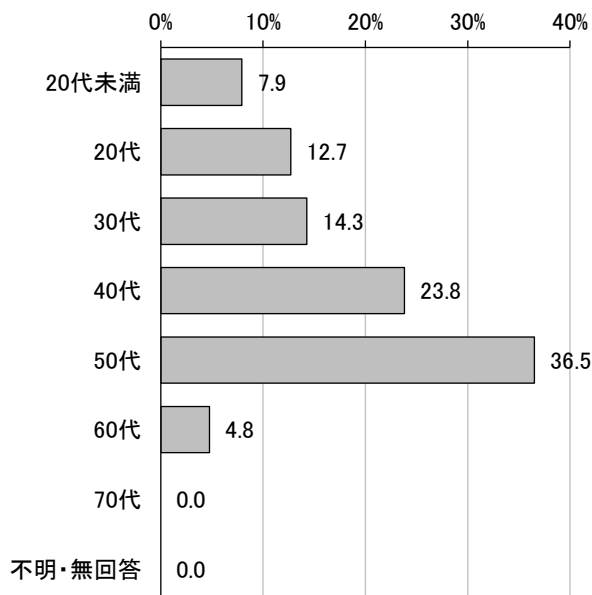
男性（非正規職員）

合計：20人



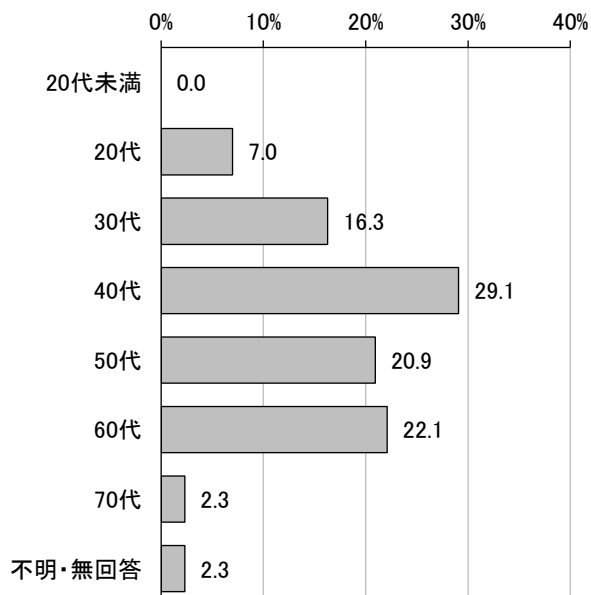
女性（正規職員）

合計：63人



女性（非正規職員）

合計：86人

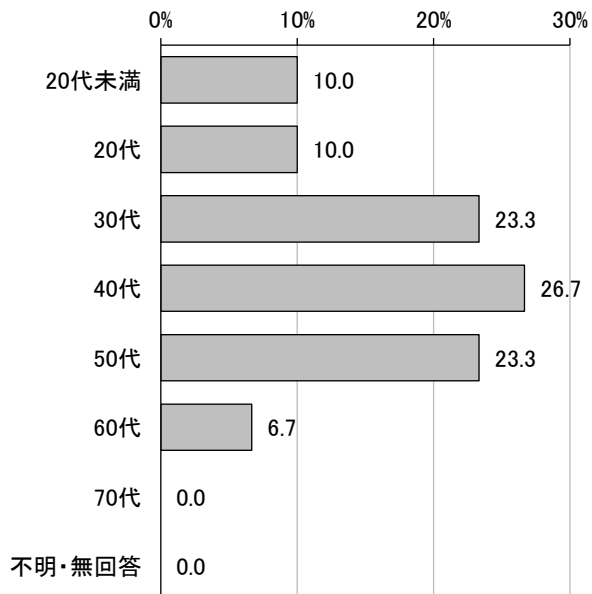


## 離職数

性別・年代別の採用者については以下のとおりです。

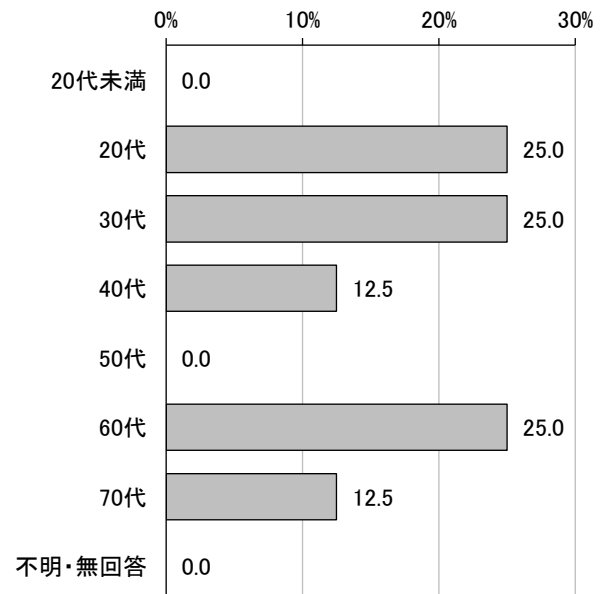
### 男性（正規職員）

合計：30人



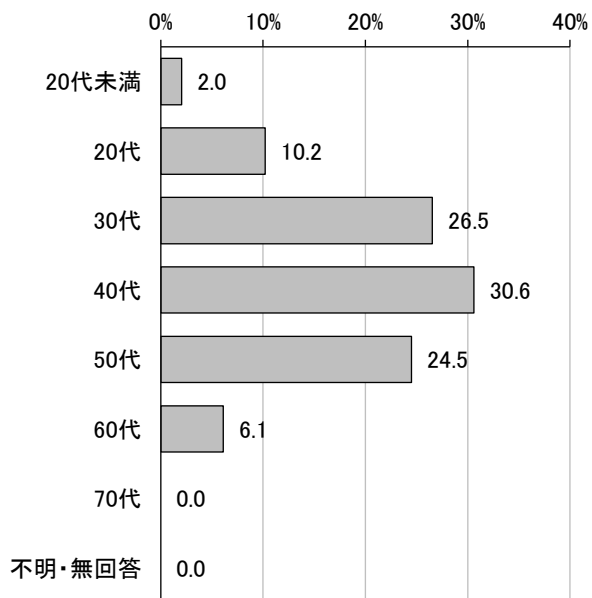
### 男性（非正規職員）

合計：8人



### 女性（正規職員）

合計：49人

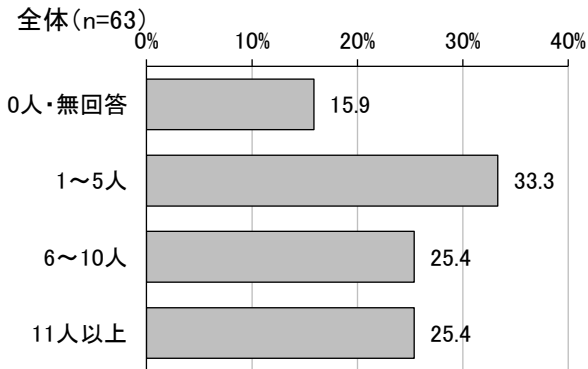


### 女性（非正規職員）

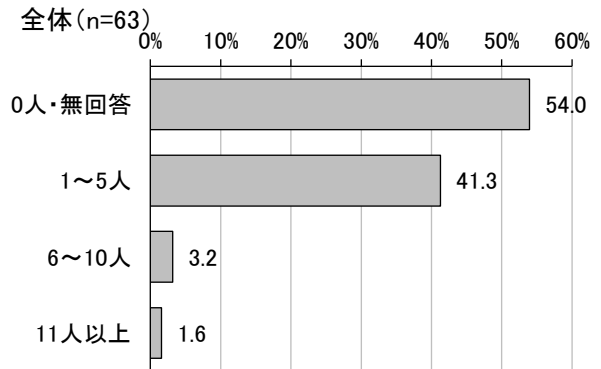
問1-5 職員の資格の有無について、人数をお答えください。(数値を記入)

職員の資格の有無については以下のとおりです。

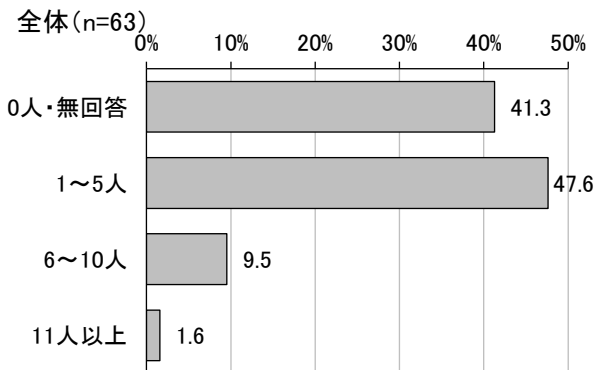
介護福祉士(認定介護福祉士含む)



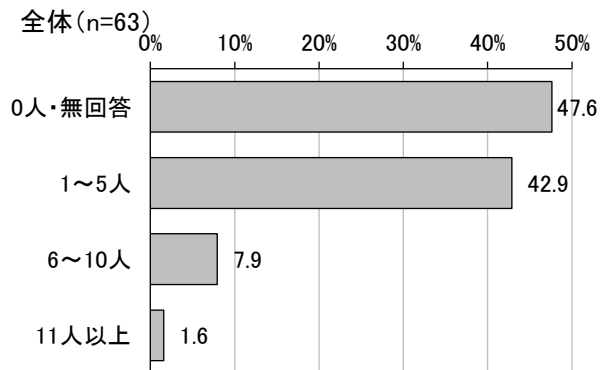
介護職員実務者研修修了



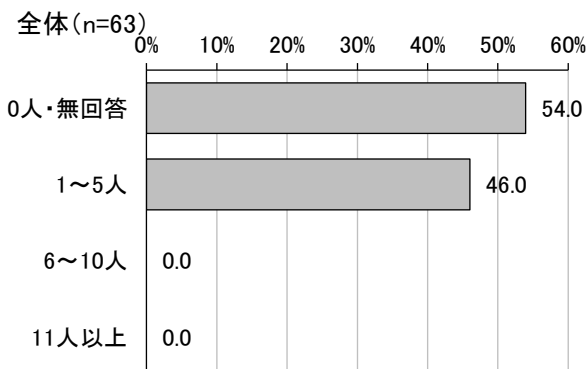
介護職員初任者研修修了



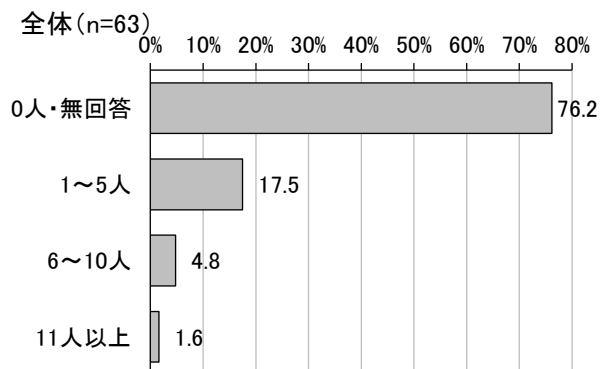
看護師



准看護師

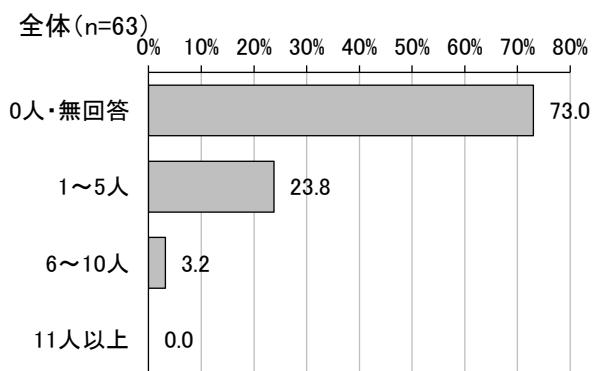


理学療法士

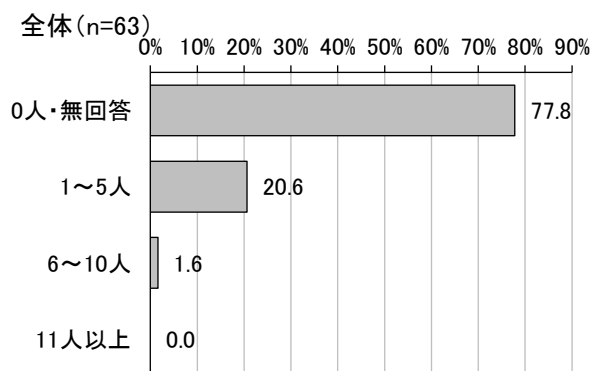




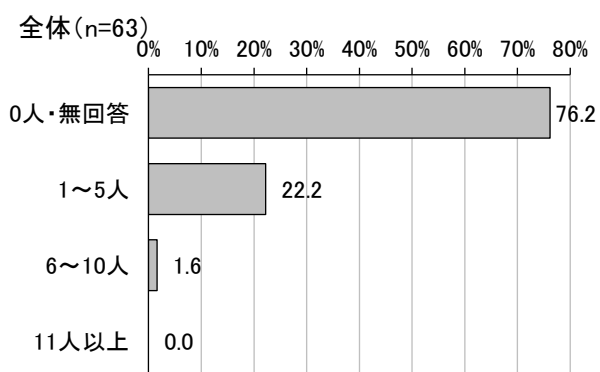
### 作業療法士



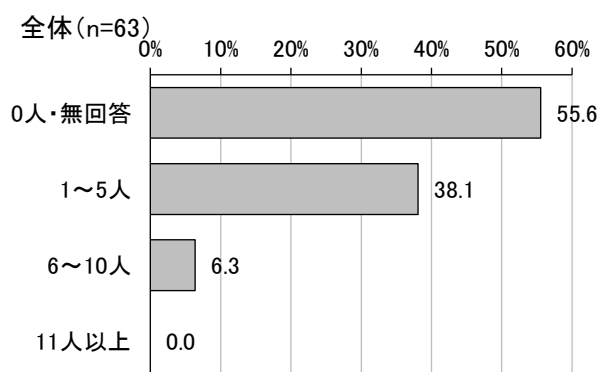
### 社会福祉士



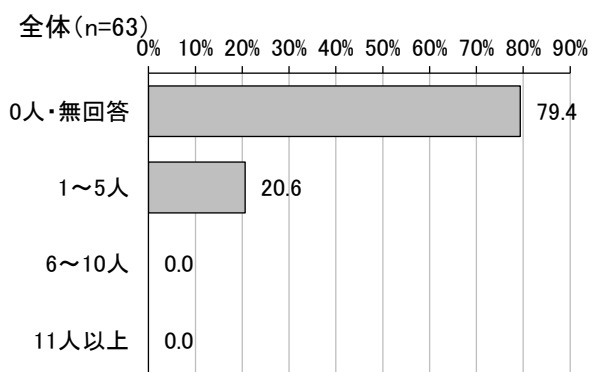
### 主任介護支援専門員



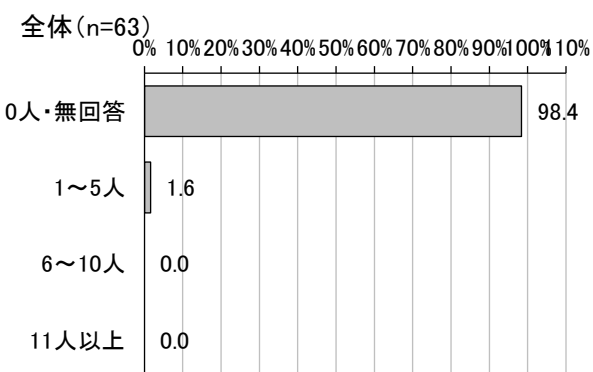
### 介護支援専門員



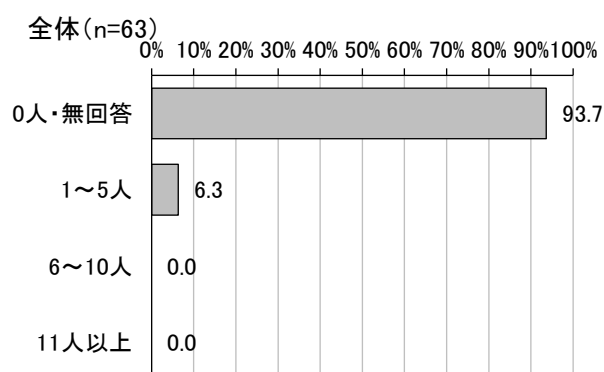
### 管理栄養士



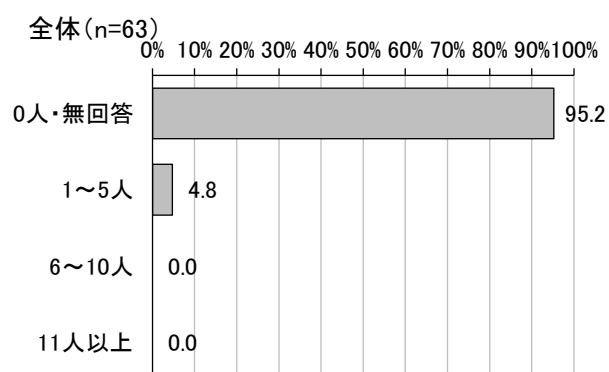
### 栄養士



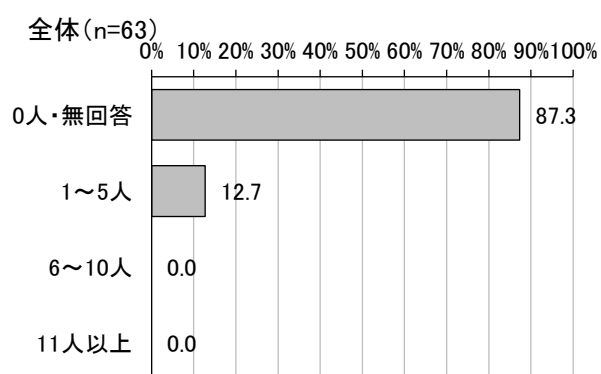
歯科衛生士



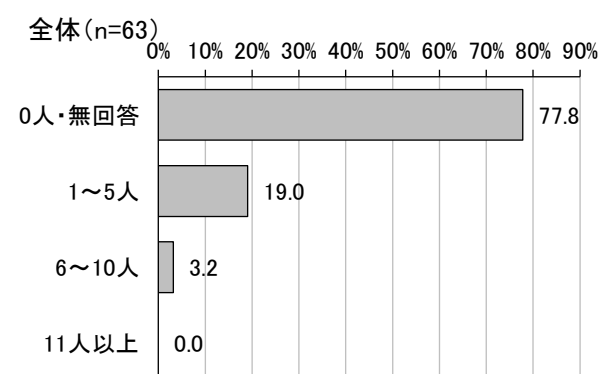
保健師



機能訓練指導員



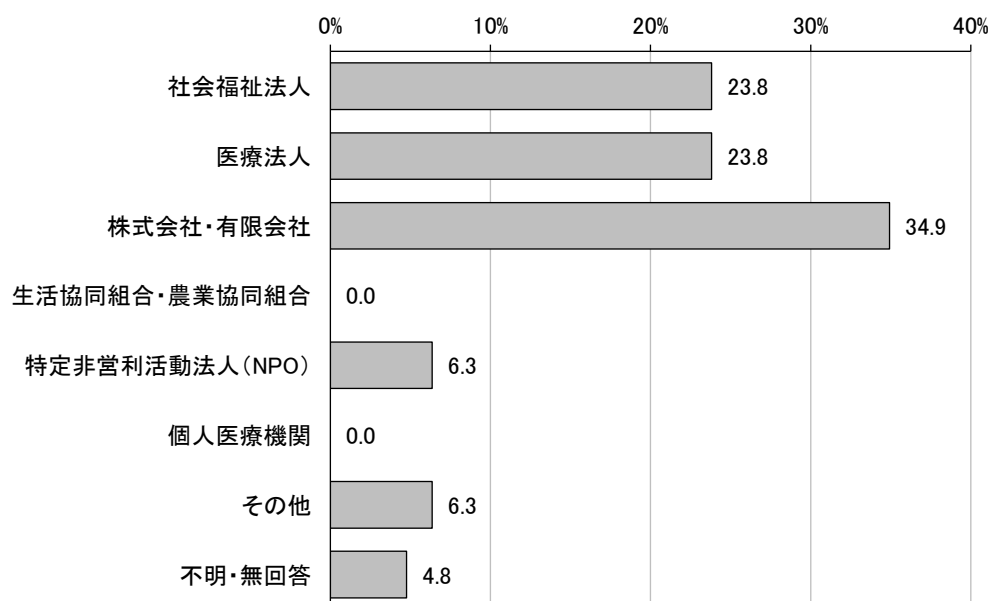
その他



問2 法人の種類について、お答えください。(あてはまるもの1つに○をつけてください。)

法人の種類についてみると、「株式会社・有限会社」が 34.9%と最も多く、次いで「社会福祉法人」が 23.8%、「%となっています。

全体 (n=63)

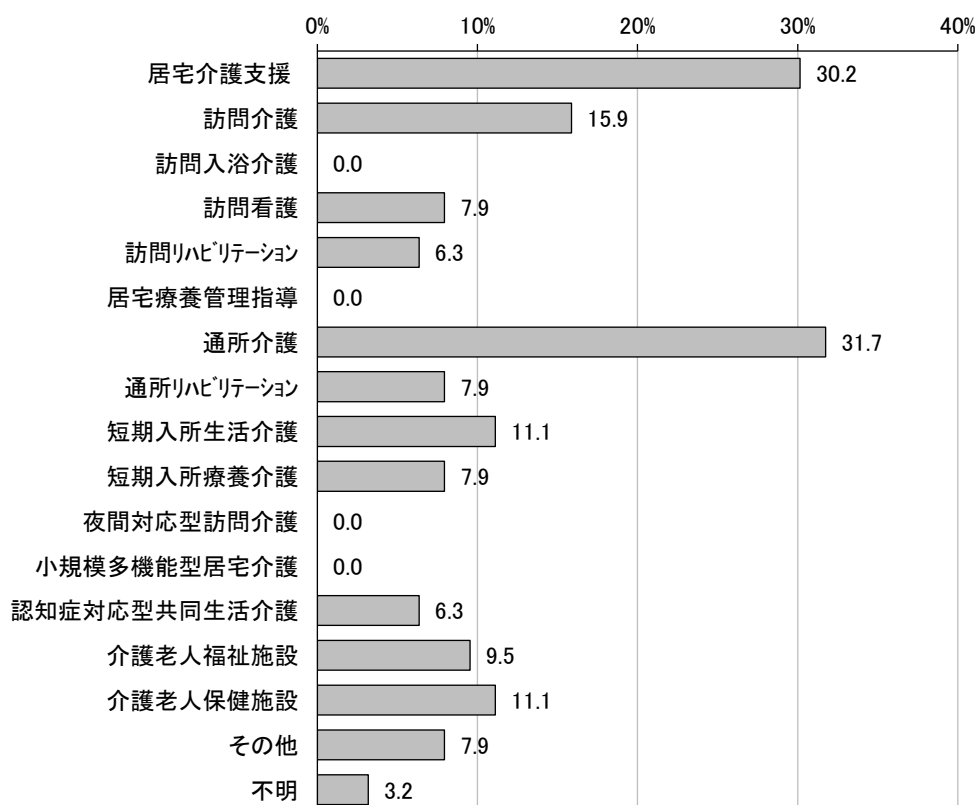


問3 実施している事業及び亙理町民の利用者数をお答えください。

実施している事業についてみると、「通所介護」が 31.7%と最も多く、次いで「居宅介護支援」が 30.2%、「訪問介護」が 15.9%となっています。

また、各サービスの利用人数は以下のとおりです。

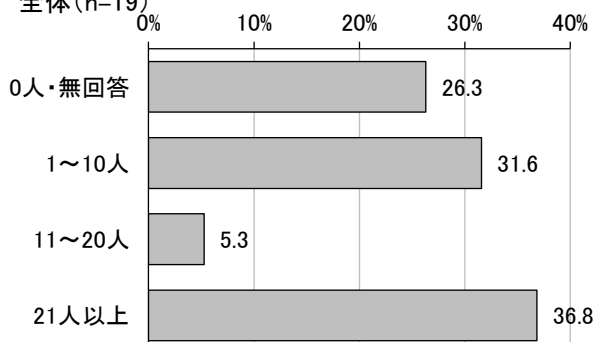
全体(n=63)



### 利用人数

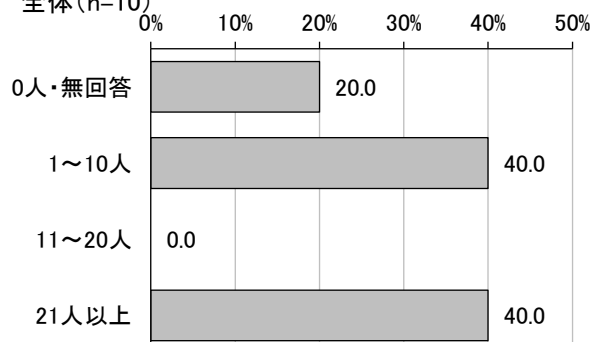
#### 1. 居宅介護支援

全体(n=19)



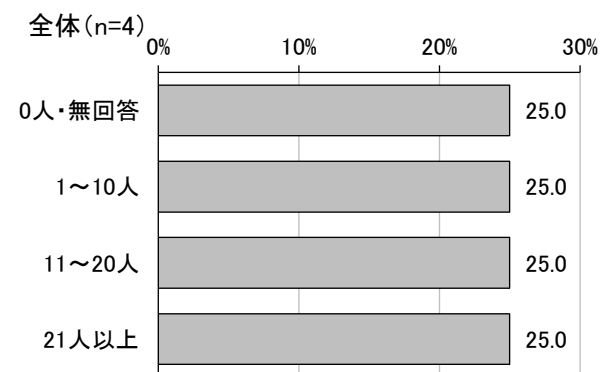
#### 2. 訪問介護

全体(n=10)



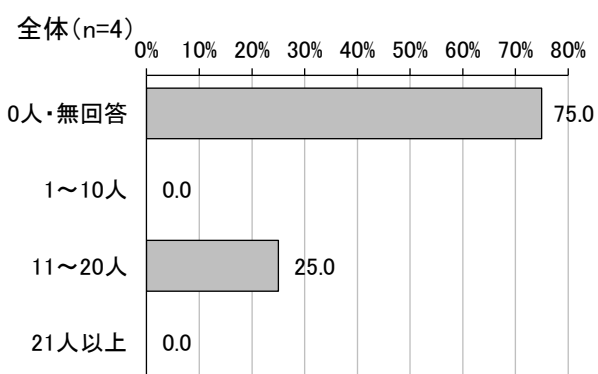
3. 訪問入浴介護(※該当なし)

4. 訪問看護(※回答なし)



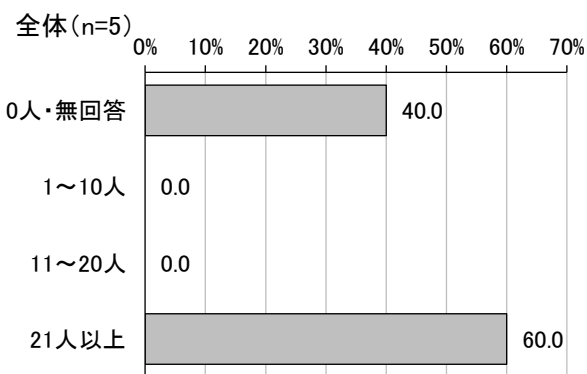
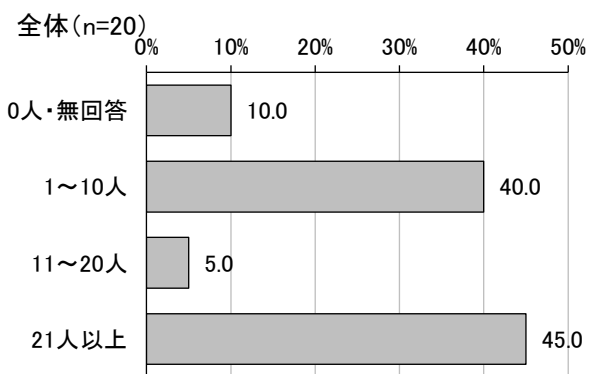
5. 訪問リハビリテーション

6. 居宅療養管理指導(※該当なし)



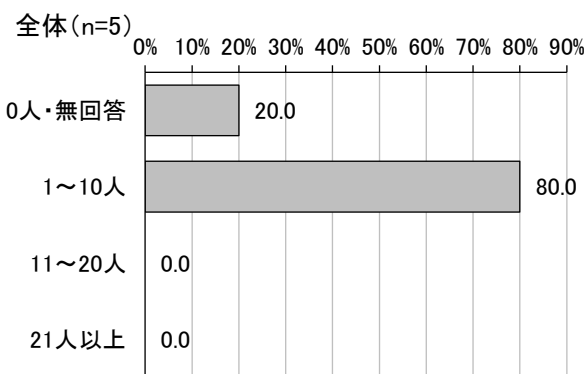
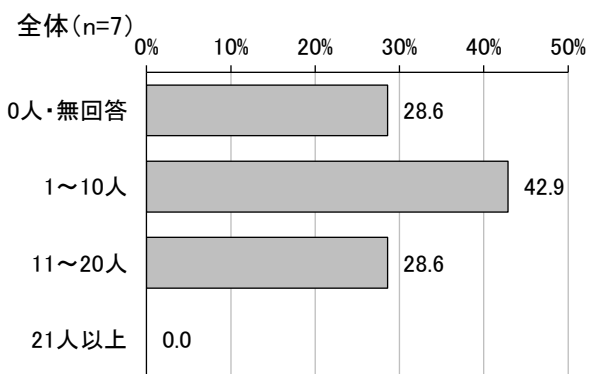
7. 通所介護

8. 通所リハビリテーション



9. 短期入所生活介護

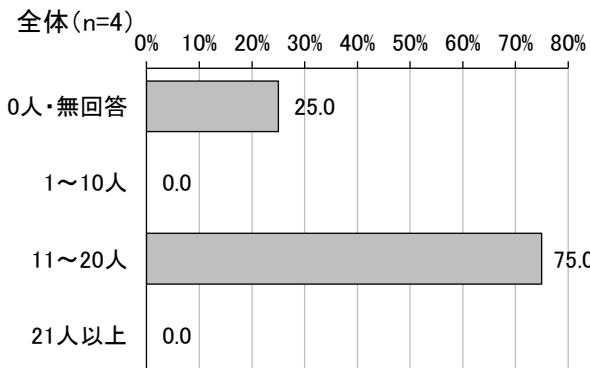
10. 短期入所療養介護



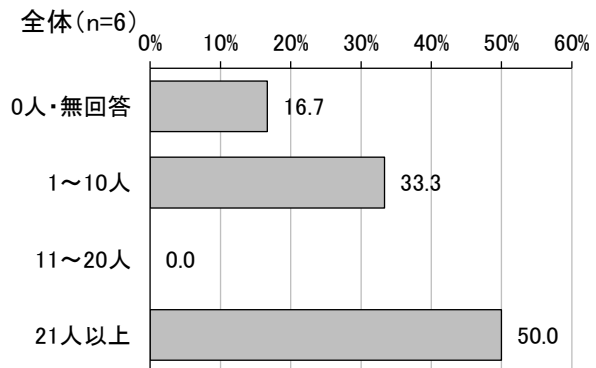
11. 夜間対応型訪問介護(※回答なし)

12. 小規模多機能型居宅介護(※回答なし)

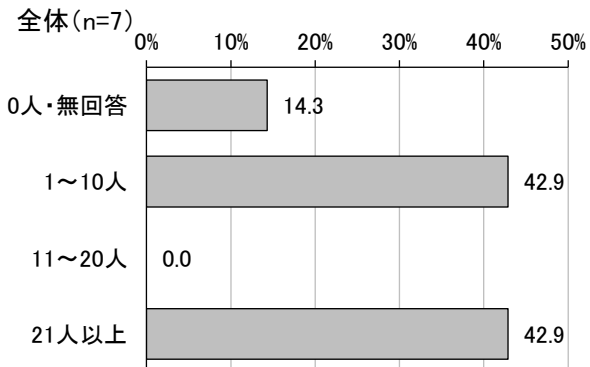
13. 認知症対応型共同生活介護



14. 介護老人福祉施設



15. 介護老人保健施設



問4 各施設の待機者、待機者の待機期間等をお答えください。(亶理町内の方限定で①～③それぞれに数字をご記入ください。)

回答件数と回答の内容は以下のとおりです。

①認知症対応型共同生活介護

回答件数	待機者数	待機者の平均的な待機期間	待機者の最大の待機期間
4件	27人	21ヶ月間	40ヶ月間
	8人	5ヶ月間	8ヶ月間
	15人	12ヶ月間	24ヶ月間
	2人	4ヶ月間	12ヶ月間

②介護老人福祉施設

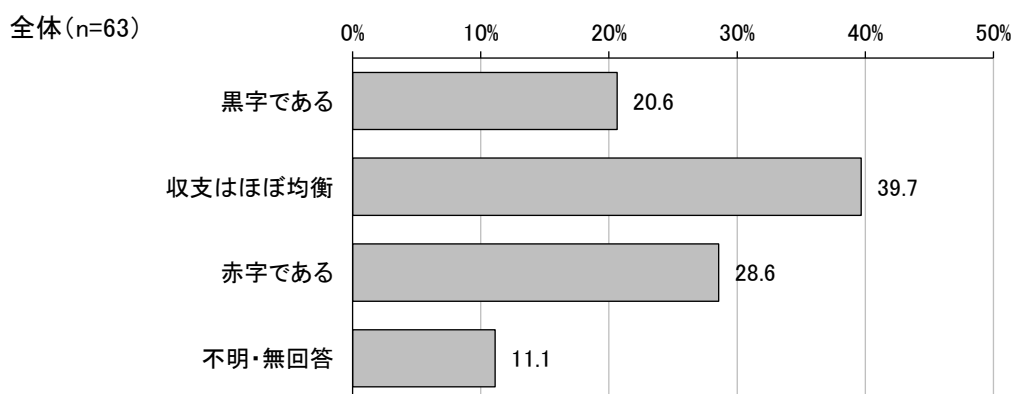
回答件数	待機者数	待機者の平均的な待機期間	待機者の最大の待機期間
5 件	20 人	12 ヶ月間	20 ヶ月間
	36 人	15 ヶ月間	73 ヶ月間
	124 人	-	-
	121 人	15.2 ヶ月間	135 ヶ月間
	24 人	1.7 ヶ月間	144 ヶ月間

③介護老人保健施設

回答件数	待機者数	待機者の平均的な待機期間	待機者の最大の待機期間
3 件	2 人	0.5 ヶ月間	1 ヶ月間
	4 人	1 ヶ月間	3 ヶ月間
	4 人	1 ヶ月間	3 ヶ月間

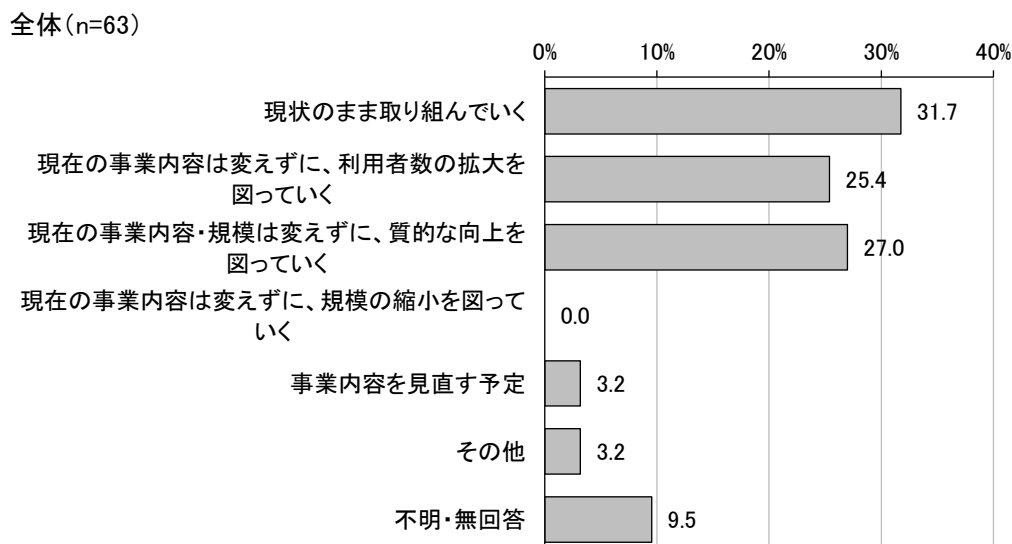
問5 直近の決算状況の収支について、お答えください。(あてはまるもの1つに○をつけてください。)

直近の決算状況の収支についてみると、「収支はほぼ均衡」が 39.7%と最も多く、次いで「赤字である」が 28.6%、「黒字である」が 20.6%となっています。



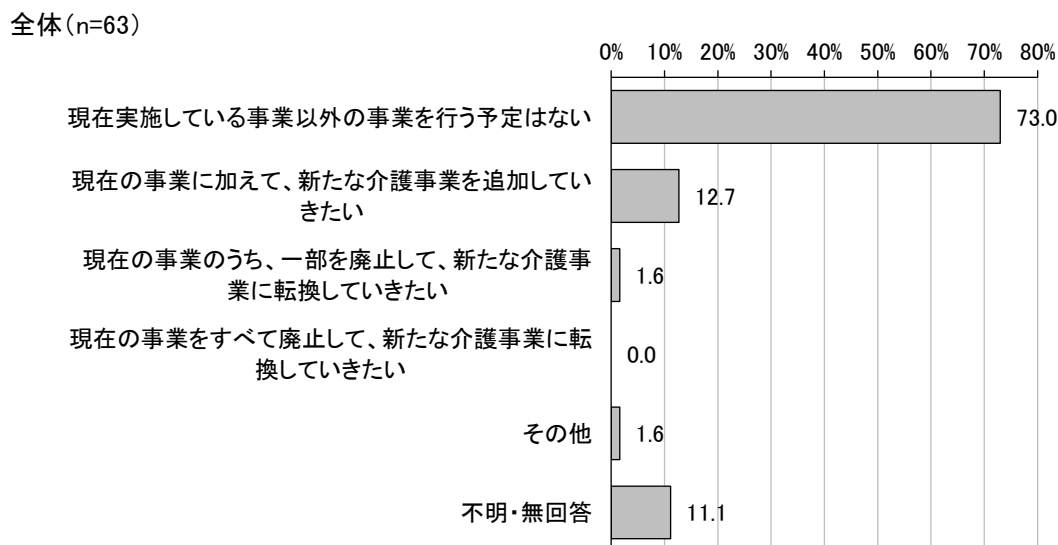
問6 現在実施している事業について、お答えください。(あてはまるもの1つに○をつけてください。)

現在実施している事業についてみると、「現状のまま取り組んでいく」が 31.7%と最も多く、次いで「現在の事業内容・規模は変えずに、質的な向上を図っていく」が 27.0%、「現在の事業内容を変えずに、利用者数の拡大を図っていく」が 25.4%となっています。



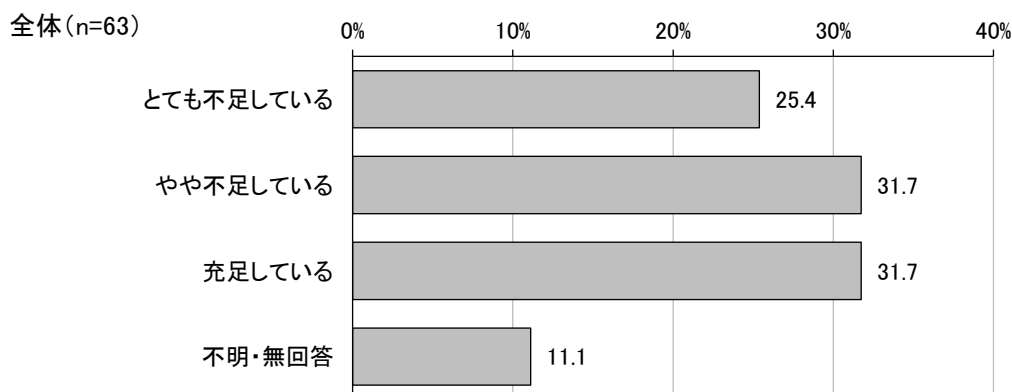
問7 新規事業について、お答えください。(あてはまるもの1つに○をつけてください。)

新規事業についてみると、「現在実施している事業以外の事業を行う予定はない」が 73.0%と最も多く、次いで「現在の事業に加えて、新たな介護事業を追加していきたい」が 12.7%、「現在の事業のうち、一部を廃止して、新たな介護事業に転換していきたい」が 1.6%となっています。



問8 この1年間、貴事業所における介護人材の確保について、おおむねどのように感じておられますか。(あてはまるもの1つに○をつけてください。)

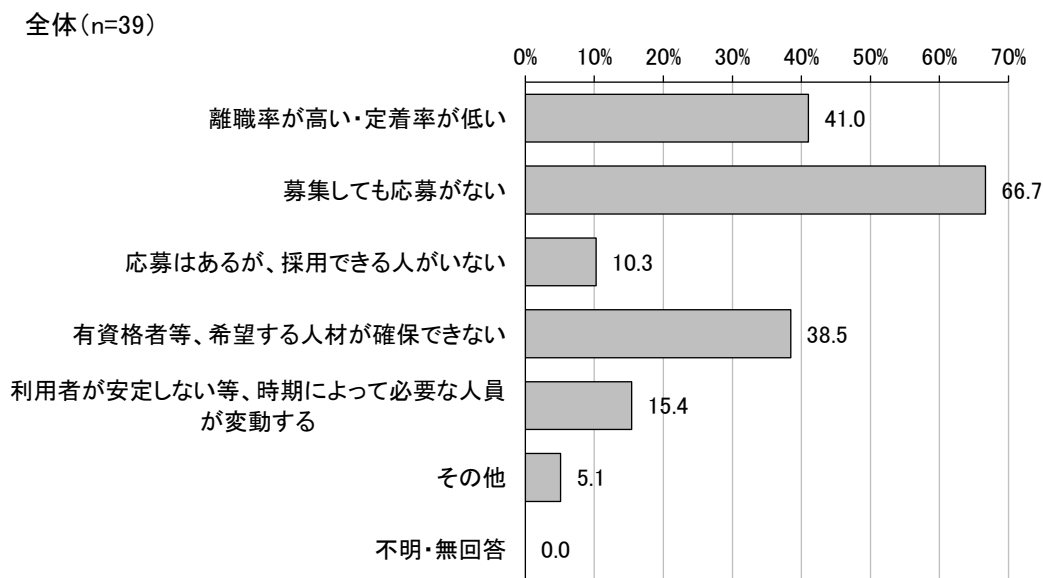
事業所における介護人材の確保についてみると、が「やや不足している」「充足している」31.7%と最も多く、次いで「とても不足している」が 25.4%となっています。



問8で「1」、「2」を選択された方

問9 介護人材が不足している主な理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

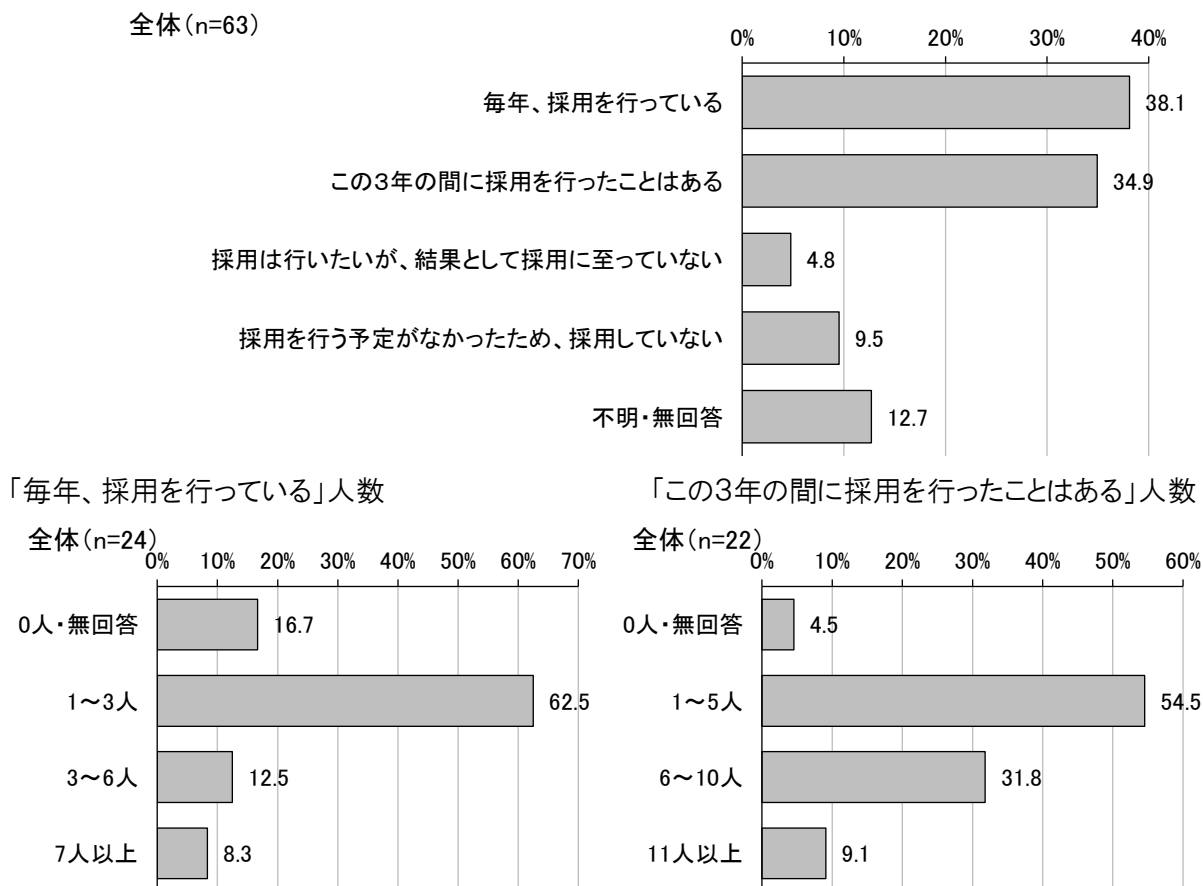
介護人材が不足している主な理由についてみると、「募集しても応募がない」が 66.7%と最も多く、次いで「離職率が高い・定着率が低い」が 41.0%、「有資格者等、希望する人材が確保できない」が 38.5%となっています。





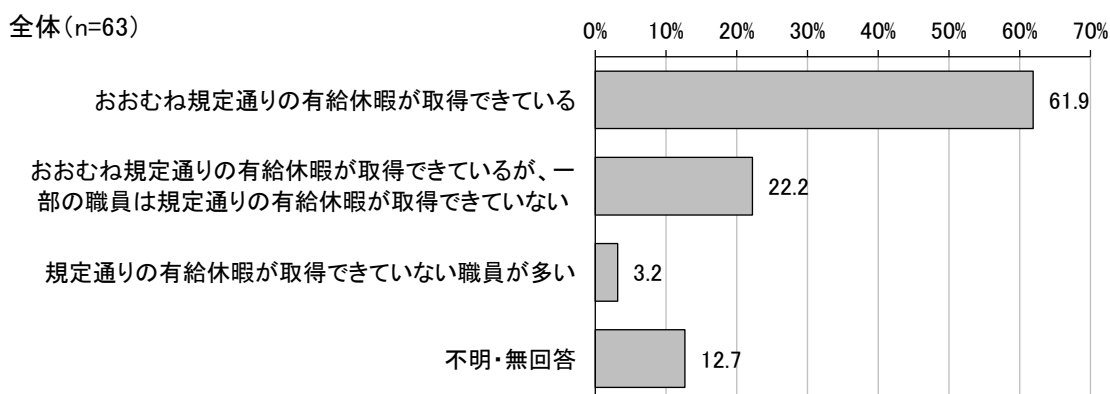
問 10 採用の状況(直近の3年間)について、お答えください。(あてはまるもの1つに○をつけ、採用人数、採用していない理由等をご記入ください。)

採用の状況についてみると、「毎年、採用を行っている」が38.1%と最も多く、次いで「この3年の間に採用を行ったことはある」が34.9%、「採用を行う予定がなかったため、採用していない」が9.5%となっています。



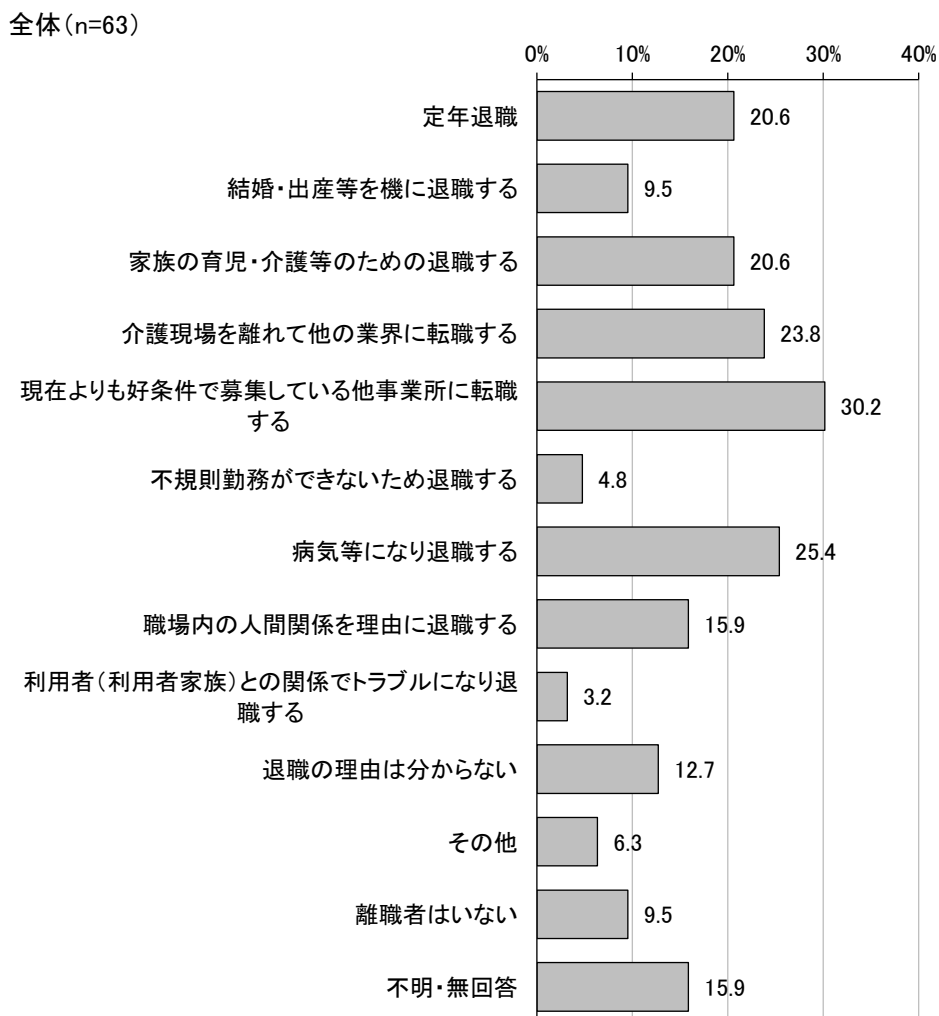
問 11 有給休暇の取得状況について、お答えください。(あてはまるもの1つに○をつけてください。)

有給休暇の取得状況についてみると、「おおむね規定通りの有給休暇が取得できている」が61.9%と最も多く、次いで「おおむね規定通りの有給休暇が取得できているが、一部の職員は規定通りの有給休暇が取得できていない」が22.2%となっています。



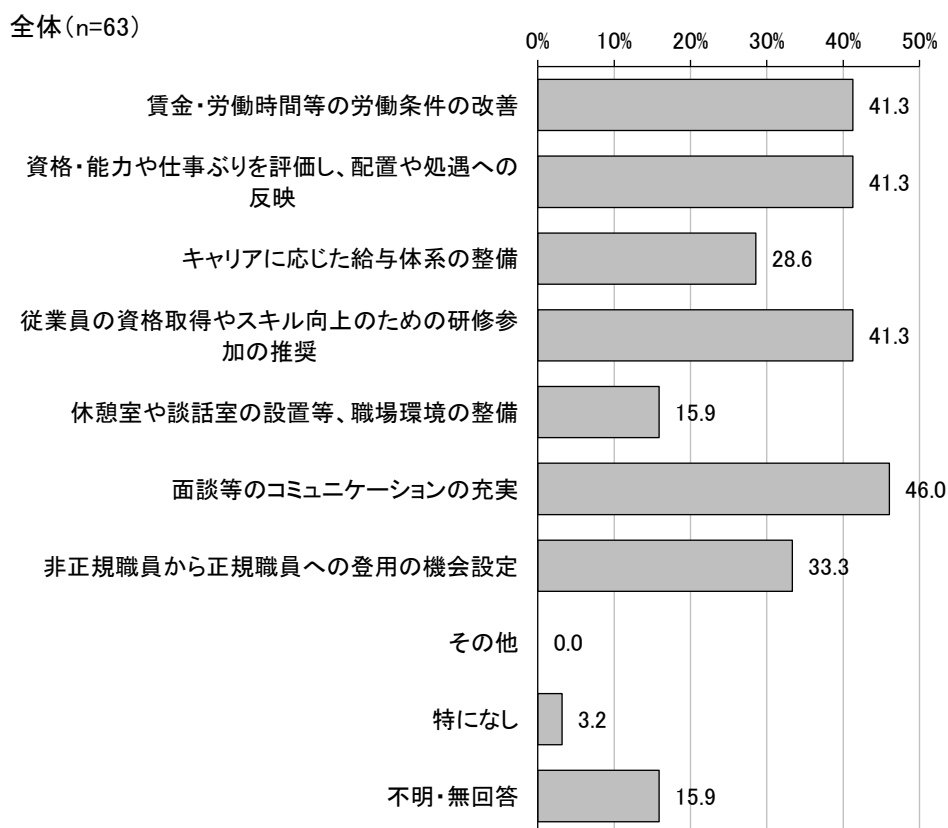
問 12 離職の理由について、お答えください。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

離職の理由についてみると、「現在よりも好条件で募集している他事業所に転職する」が 30.2%と最も多く、次いで「病気等になり退職する」が 25.4%、「介護現場を離れて他の業界に転職する」が 23.8%となっています。



問 13 離職防止のために行っていることについて、お答えください。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

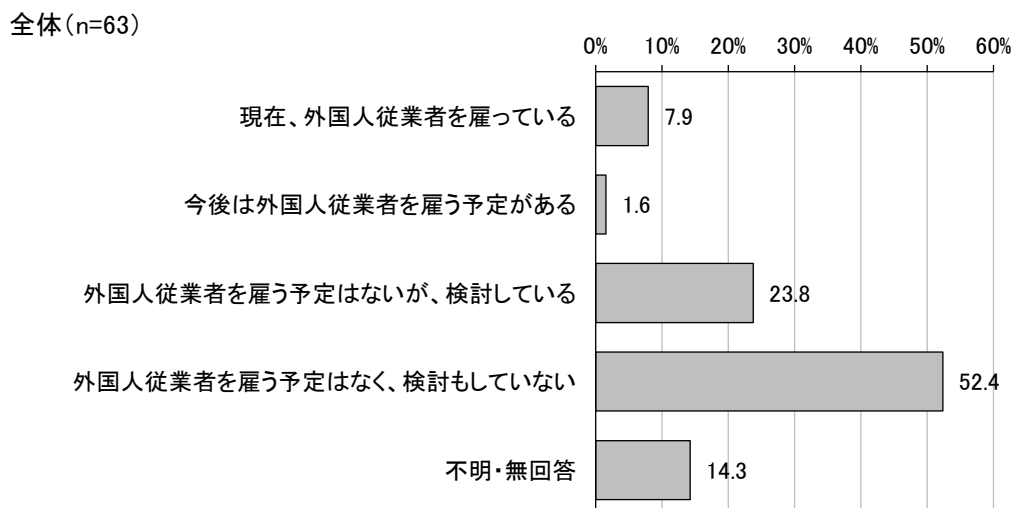
離職防止のために行っていることについてみると、「面談等のコミュニケーションの充実」が 46.0%と最も多く、次いで「賃金・労働時間等の労働条件の改善」「資格・能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇への反映」「従業員の資格取得やスキル向上のための研修参加の推奨」が 41.3%となっています。



問 14 外国人従業員について、お答えください。(あてはまるもの1つに○をつけ、雇員人数、雇用予定人数等をご記入ください。)

外国人従業員についてみると、「外国人従業員を雇う予定はなく、検討もしていない」が 52.4%と最も多く、次いで「外国人従業員を雇う予定はないが、検討している」が 23.8%、「現在、外国人従業員を雇っている」が 7.9%となっています。

また、「現在、外国人従業員を雇っている」の回答のうち、雇員人数について、「1 人」が 3 件、「3 人」が 1 件、「6 人」が 1 件の回答がありました。(グラフ省略)



問14で「1」を選択された方

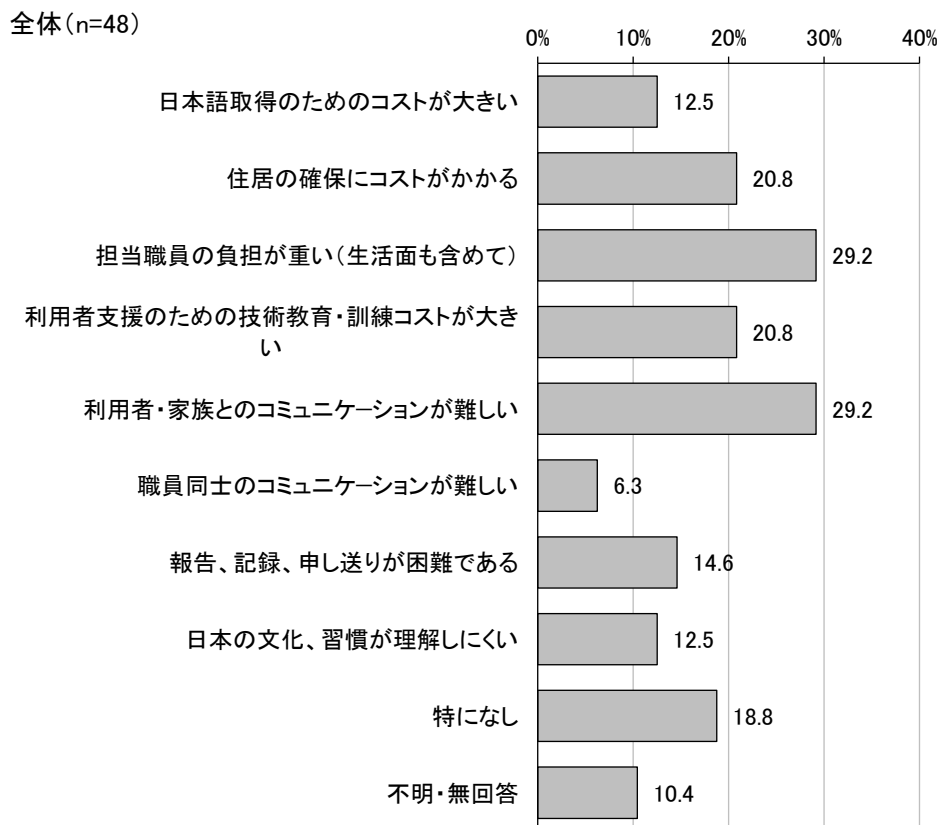
問 14-1 受入れ人数をお答えください。(外国人従業員の該当する資格に○をつけ、数字をご記入ください。)

受入れ人数については、『在留資格「介護」』が3名となっています。(グラフ省略)

問14で「3」、「4」を選択された方

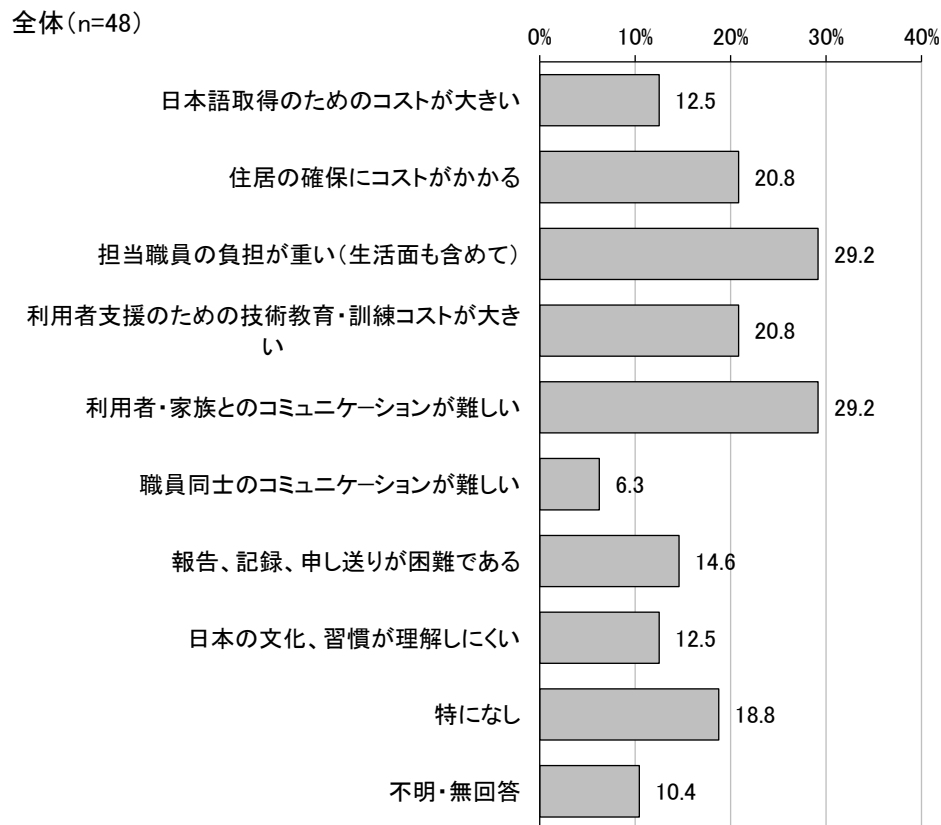
問 14-2 雇用しない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

雇用しない理由についてみると、「担当職員の負担が重い(生活面も含めて)」「利用者・家族とのコミュニケーションが難しい」が29.2%と最も多く、次いで「利用者支援のための技術教育・訓練コストが大きい」「住居の確保にコストがかかる」となっています。



問 15 事業上の課題について、お答えください。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

事業上の課題についてみると、「利用者の確保」が 57.1%と最も多く、次いで「従業員の雇用の確保」が 54.0%、「介護報酬が低い」が 52.4%となっています。

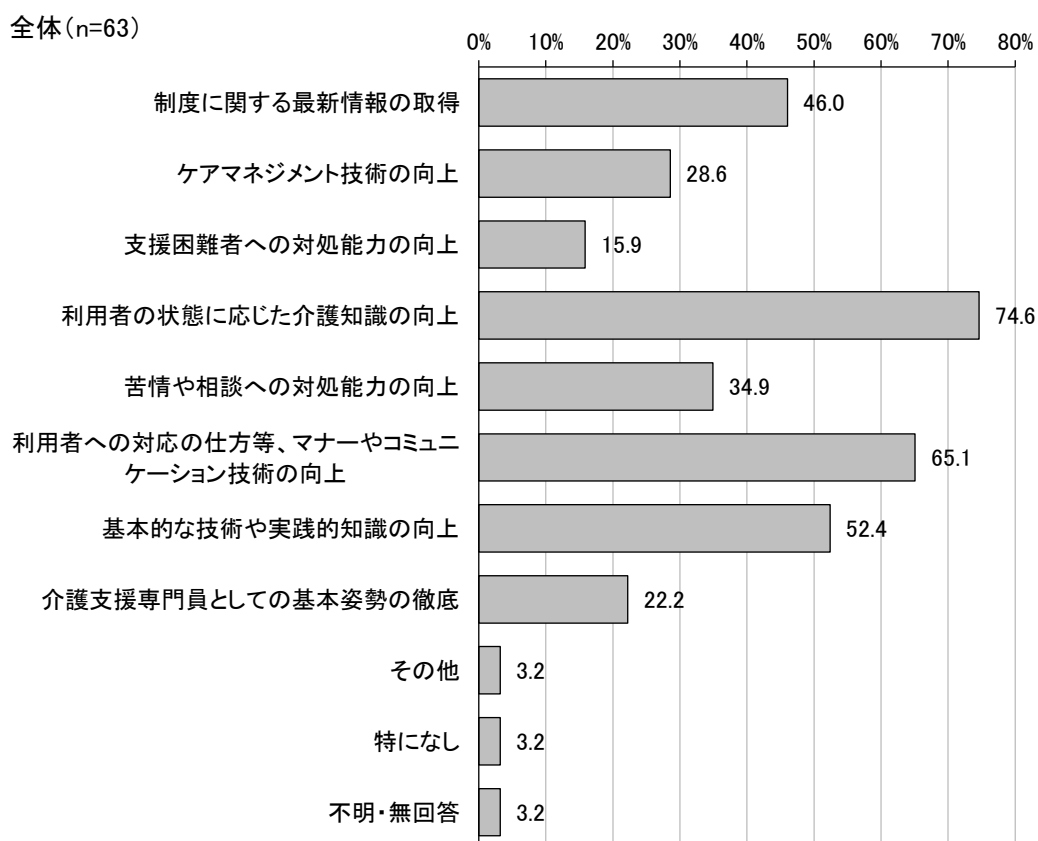


問 16 上記の選択肢以外に課題があれば、お答えください。

具体的な回答はありませんでした。

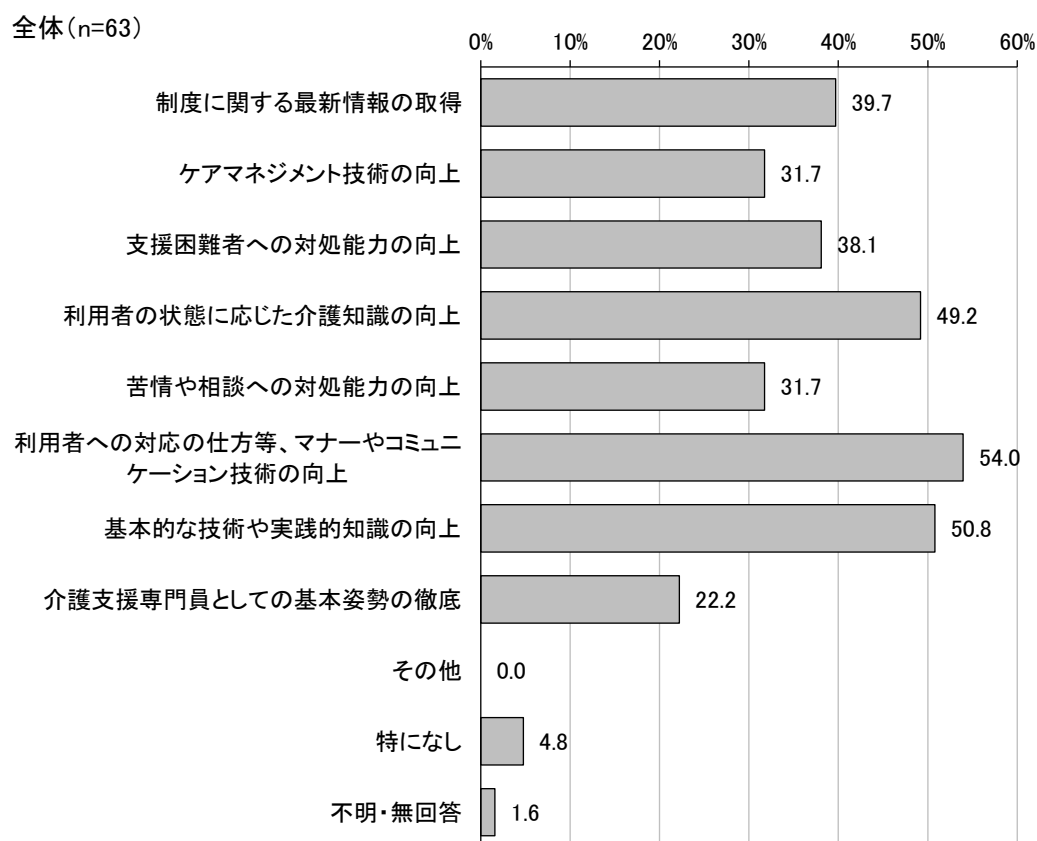
問 17 事業の質を上げていくために、「取り組んでいること」について、お答えください。  
(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

事業の質を上げていくために「取り組んでいること」についてみると、「利用者の状態に応じた介護知識の向上」が 74.6%と最も多く、次いで「利用者への対応の仕方等、マナーやコミュニケーション技術の向上」が 65.1%、「基本的な技術や実践的知識の向上」が 52.4%となっています。



問 18 事業の質を上げていくために、「取り組みたいこと」について、お答えください。（あてはまるものすべてに○をつけてください。）

事業の質を上げていくために「取り組みたいこと」についてみると、「利用者への対応の仕方等、マナーやコミュニケーション技術の向上」が 54.0%と最も多く、次いで「基本的な技術や実践的知識の向上」が 50.8%、「利用者の状態に応じた介護知識の向上」が 49.2%となっています。

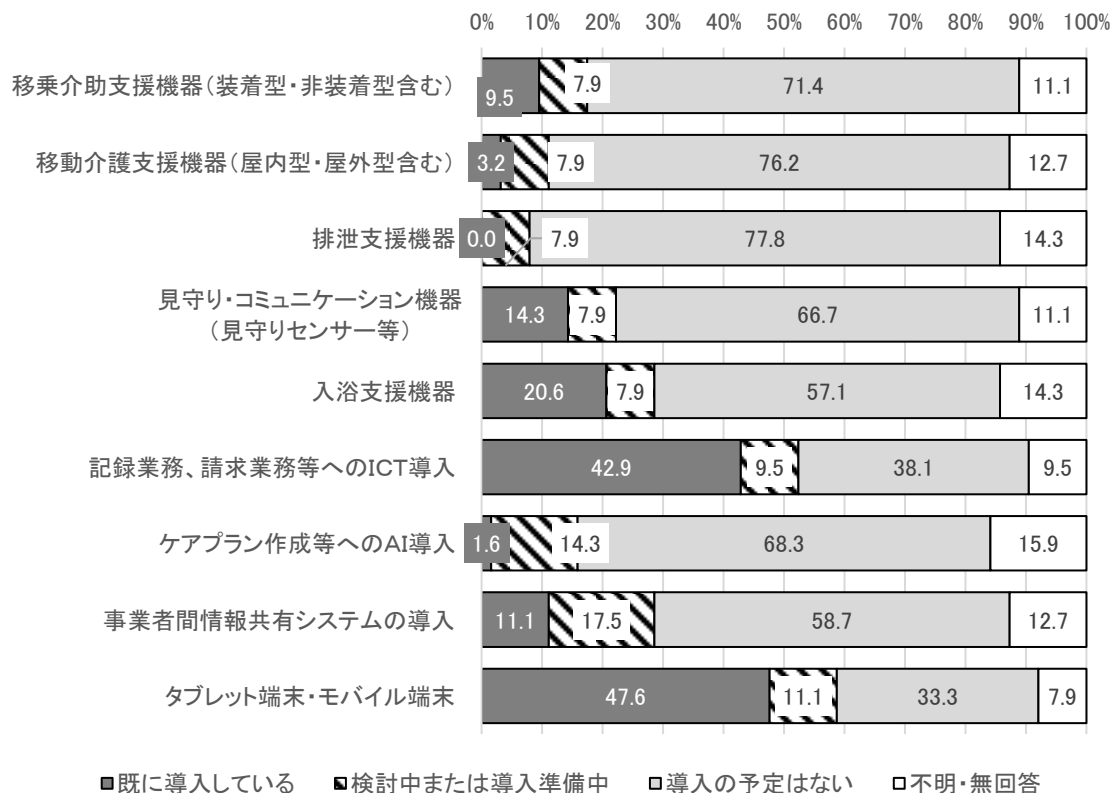




問 19 貴事業所において、介護現場へのICT、AI、ロボット技術等の導入予定はありますか。  
 (各項目1つずつ○をつけてください。)

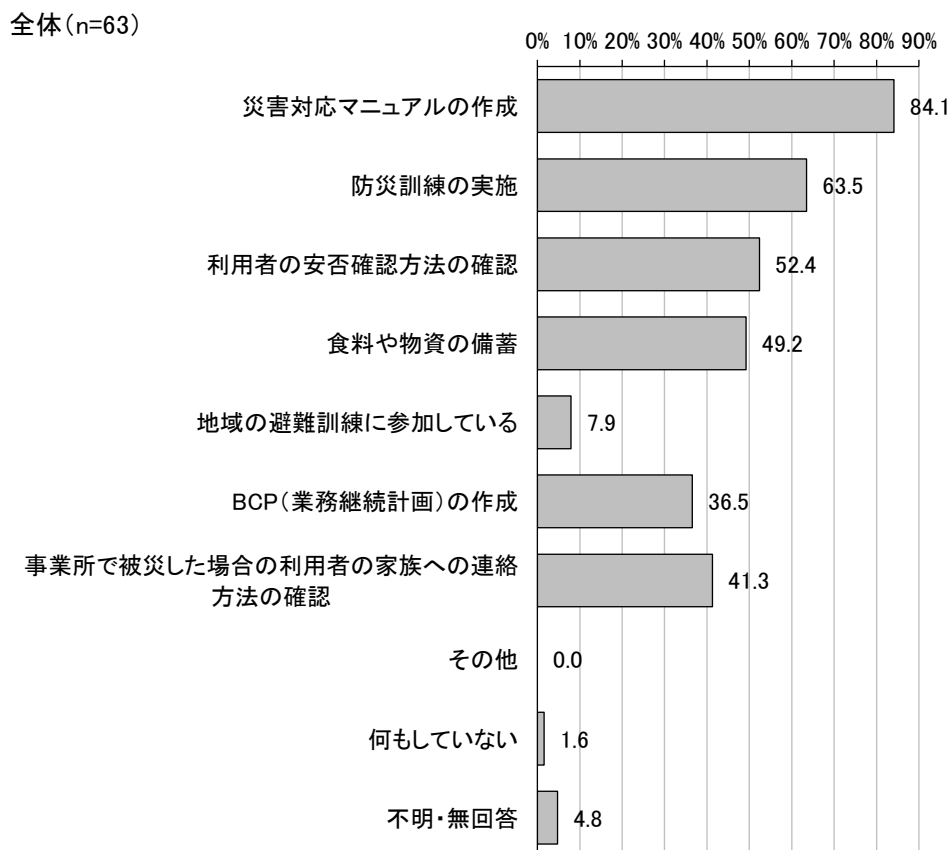
介護現場へのICT、AI、ロボット技術等の導入予定についてみると、「種別 既に導入している」では、〈タブレット端末・モバイル端末〉が47.6%と最も多く、次いで〈記録業務、請求業務等へのICT導入〉が42.9%、〈入浴支援機器〉が20.6%となっています。

全体(n=63)



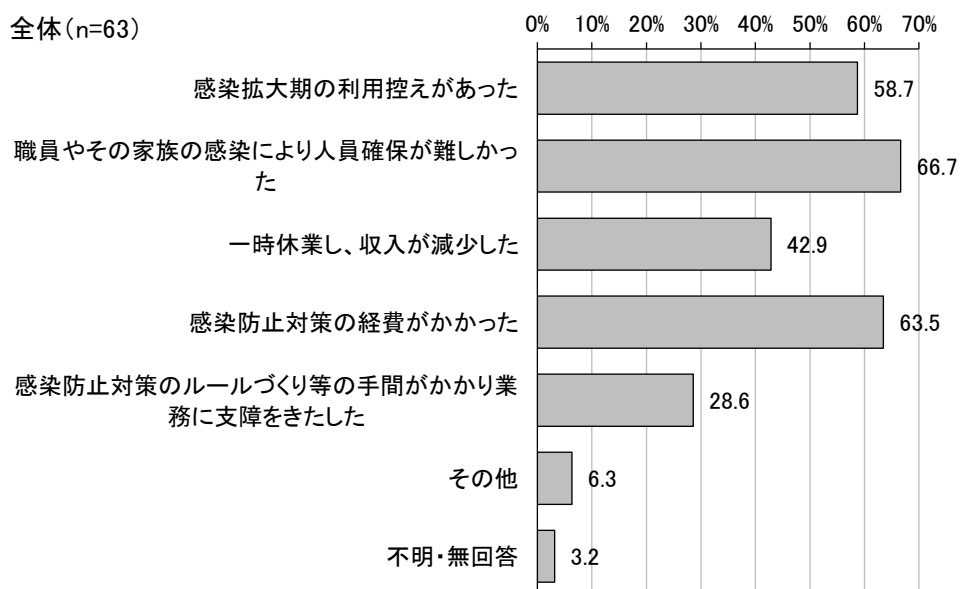
問 20 災害が発生したときのための対策として行っていることについて、お答えください。  
(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

災害が発生したときのための対策として行っていることについてみると、「災害対応マニュアルの作成」が84.1%と最も多く、次いで「防災訓練の実施」が63.5%、「利用者の安否確認方法の確認」が52.4%となっています。



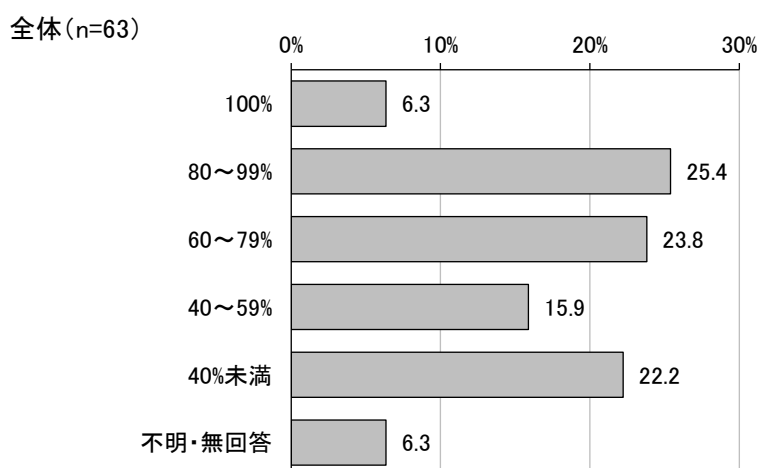
問 21 新型コロナウイルス感染症の流行により、事業所運営にどんな影響がありましたか。  
 (あてはまるものすべてに○をつけてください。)

新型コロナウイルス感染症の流行による事業所運営への影響についてみると、「職員やその家族の感染により人員確保が難しかった」が 60.3%と最も多く、次いで「感染防止対策の経費がかかった」が 52.4%、「感染拡大期の利用控えがあった」が 50.8%となっています。



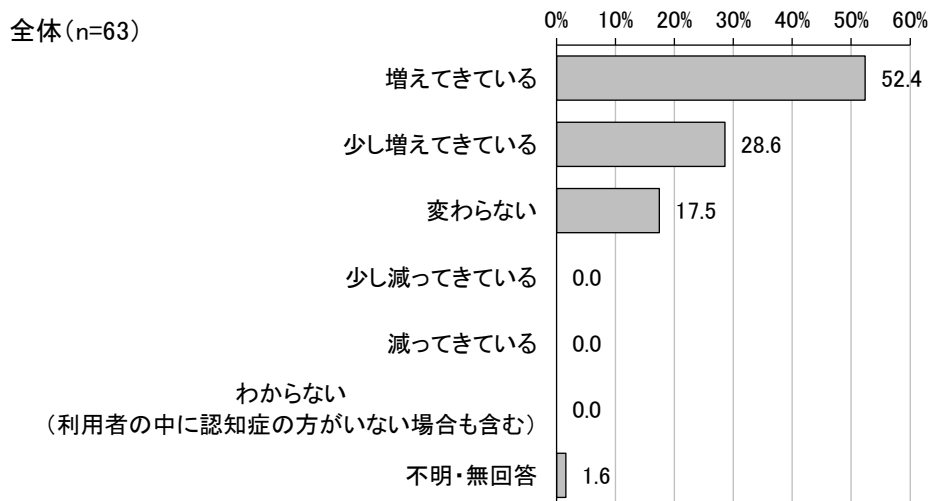
問 22 サービス利用者の中の認知症の方の割合について、お答えください。(おおよその割合をご記入ください。)

サービス利用者の中の認知症の方の割合についてみると、「80～99%」が 25.4%と最も多く、次いで「60～79%」が 23.8%、「40%未満」が 22.2%となっています。



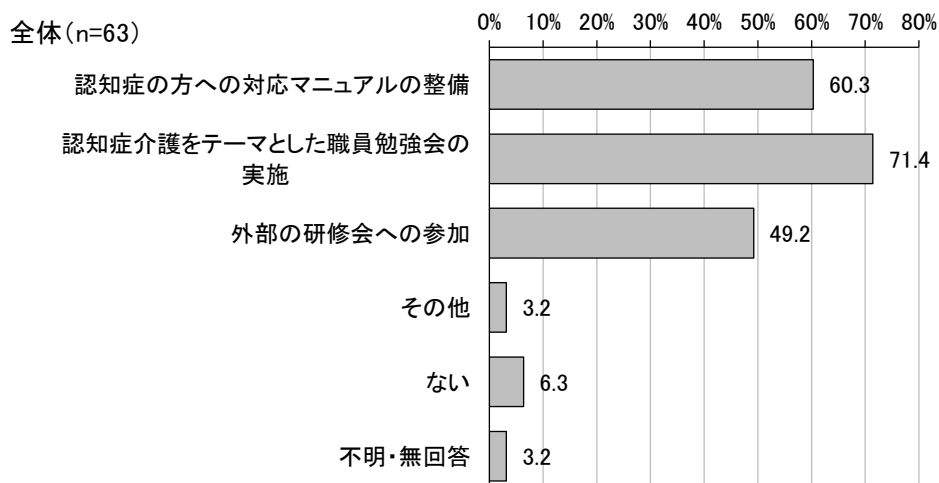
問 23 サービス利用者の中の認知症の方の状況について、お答えください。（あてはまるものの1つに○をつけてください。）

サービス利用者の中の認知症の方の状況についてみると、「増えてきている」が 52.4%と最も多く、次いで「少し増えてきている」が 28.6%、「変わらない」が 17.5%となっています。



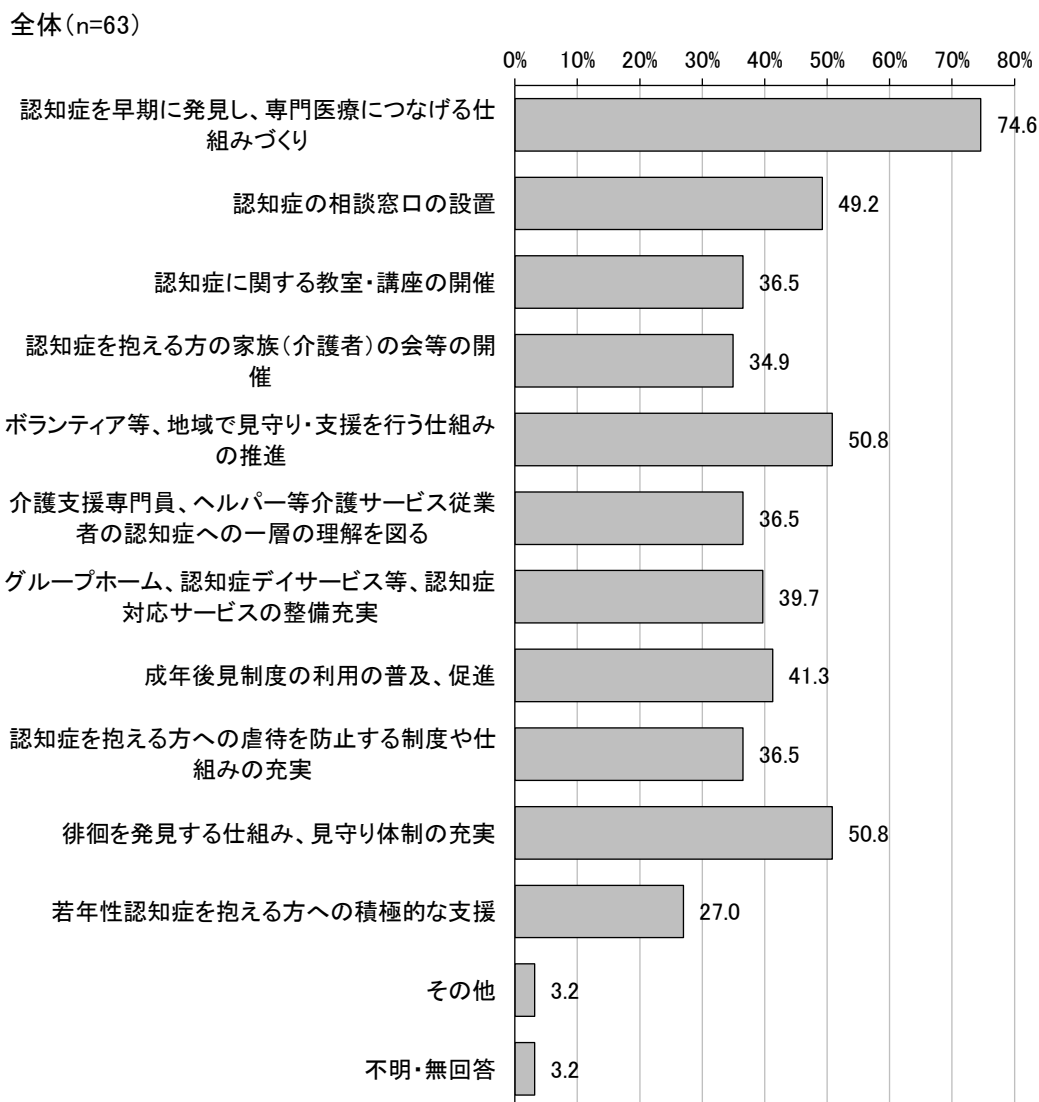
問 24 認知症の方への対応のための取り組みとして行っていることについて、お答えください。（あてはまるものすべてに○をつけてください。）

認知症の方への対応のための取り組みとして行っていることについてみると、「認知症介護をテーマとした職員勉強会の実施」が 71.4%と最も多く、次いで「認知症の方への対応マニュアルの整備」が 60.3%、「外部の研修会への参加」が 49.2%となっています。



問 25 今後の認知症対策として重要だと思うことについて、お答えください。（あてはまるものすべてに○をつけてください。）

今後の認知症対策として重要だと思うことについてみると、「認知症を早期に発見し、専門医療につなげる仕組みづくり」が74.6%と最も多く、次いで「ボランティア等、地域で見守り・支援を行う仕組みの推進」「徘徊を発見する仕組み、見守り体制の充実」が50.8%、「認知症の相談窓口の設置」が49.2%となっています。



問 26 関係機関、職種（同一職種同士も含む）との連携状況について、最も近いものを選んでください。（各項目1つずつ○をつけてください。）

関係機関、職種との連携状況についてみると、「よく連携がとれている」と「ある程度連携がとれている」を合わせた『連携がとれている』では、〈介護支援専門員〉〈利用者家族〉が9割半ばと最も多く、次いで〈地域包括支援センター〉が85.7%となっています。

